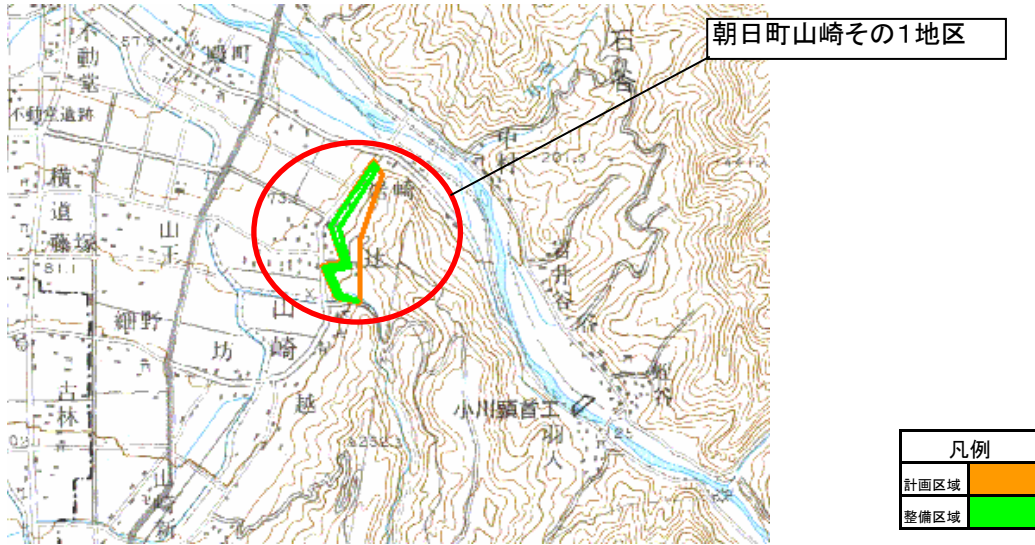


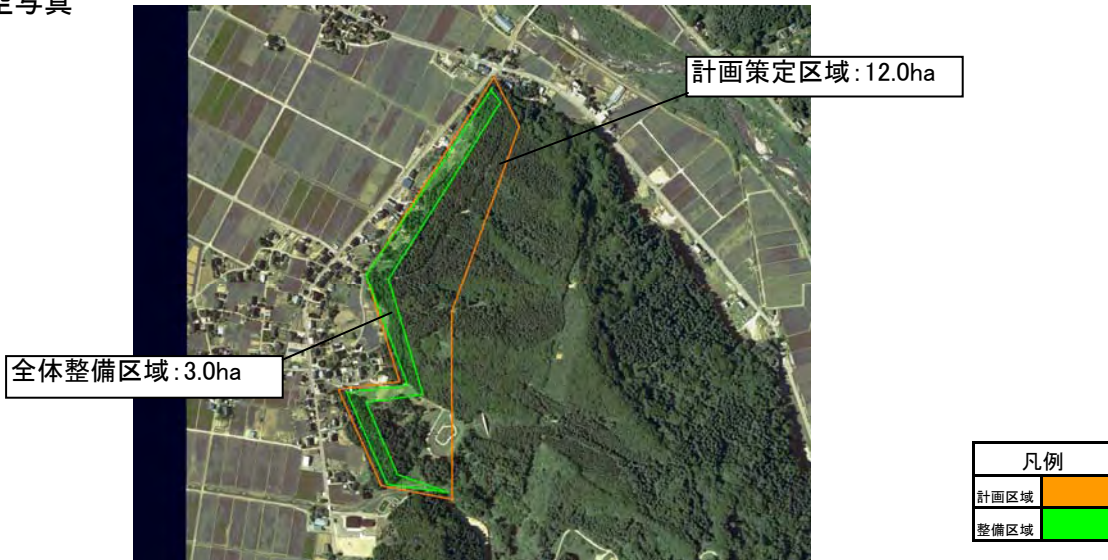
## 里山再生整備事業 地区別実施調書

No.	1	地区名	朝日町 山崎その1		(辻岩崎)
全体計画					
区域面積					
区 分	人工林	天然林	その他 (竹林等)	合計	
面 積	3.4ha	8.4ha	0.2ha	12.0ha	
整備の目的					
サルによる農作物被害の軽減やクマ出没による人身被害の危険回避等、野生生物との棲み分けを図るため、林内を明るく見通しの良い里山を目指す。					
管理利用の計画					
区 分	内 容				
管 理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山崎地区有害鳥獣対策協議会が主体となって、ボランティアの協力を得ながら林縁部の定期的な刈り払いを行う。</li> <li>・管理は整備の翌年から3年以上行う。</li> </ul>				
利 用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山崎地区有害鳥獣対策協議会が主体となって、有害鳥獣対策を行う。</li> <li>・伐採した木は、有害鳥獣対策(柵)等の材料として活用を図る。</li> </ul>				
年度別事業計画					
事業期間:平成 19 年度 ~ 平成 21 年度					
年 度	全体計画	H19 計画 実績	H20 計画 実績	H21 計画 実績	備 考
管理利用計画策定	12.0ha	12.0ha 12.0ha	<del>12.0ha</del>	<del>12.0ha</del>	
里 山 林 整 備	広葉樹林等 整備	3.0ha 3.6ha			
	竹林整備				
	被害林等整備				
	そ の 他				
	合 計	3.0ha	3.0ha 3.6ha		
県民参加の森づくり		3回 240名	1	1	
里山活用促進事業					

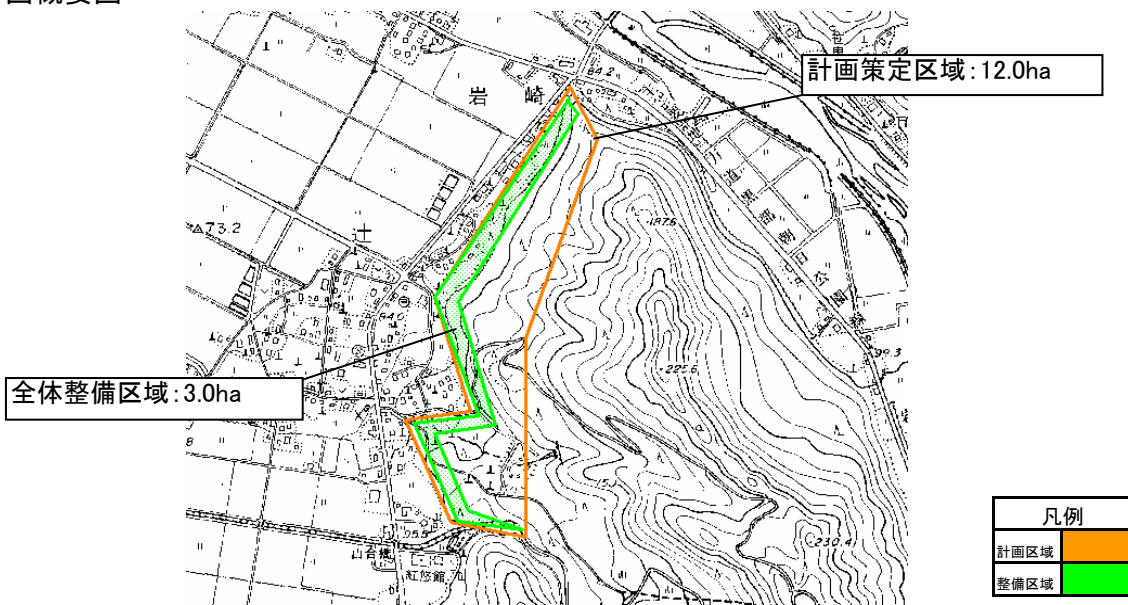
位置図



航空写真

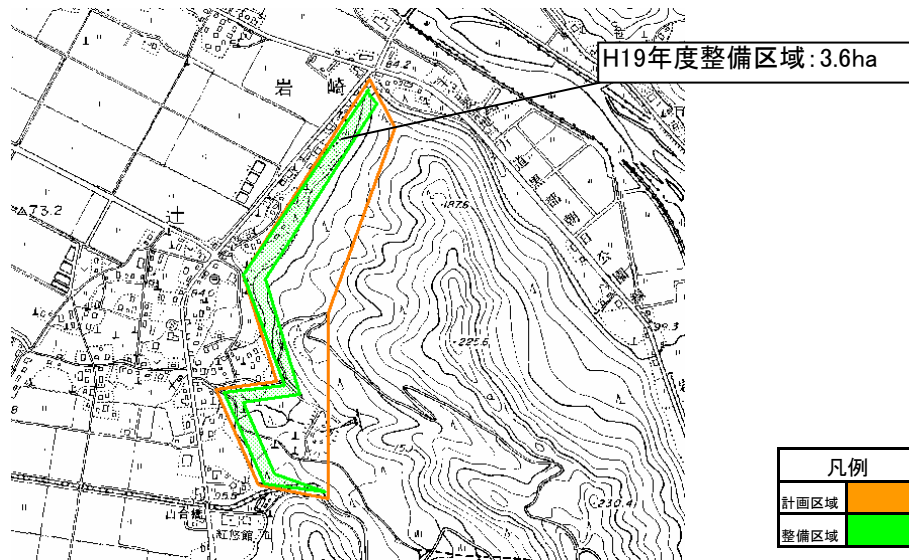


計画概要図



## 年度別実施状況

### 平面図



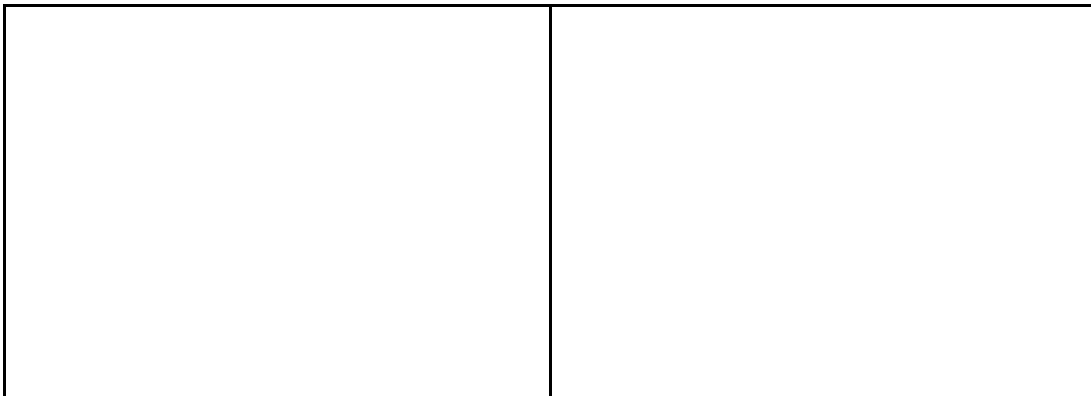
### 実施状況写真



整備後の状況



整備後の状況



### 特記事項

#### (整備の方針)

・サルによる農作物被害の軽減やクマ出没による人身被害の危険回避等、野生生物との棲み分けを図るため、林内を明るく見通しの良い里山を目指す。

#### (事業の実績)

・山崎地区有害鳥獣対策協議会が主体となって、ボランティアの協力を得ながら林縁部の刈り払い及び枝打ち等を実施した。  
 ・県民参加の森づくりとして県民協働による森づくりを実践した。

里山再生整備事業 地区別実施調書

No.	2	地区名	朝日町 山崎その2	(越・坊)
-----	---	-----	-----------	-------

全体計画

区域面積

区 分	人工林	天然林	その他 (竹林等)	合計
面 積	5.3ha	6.0ha	0.7ha	12.0ha

整備の目的

サルによる農作物被害の軽減やクマ出没による人身被害の危険回避等、野生生物との棲み分けを図るため、林内を明るく見通しの良い里山を目指す。

管理利用の計画

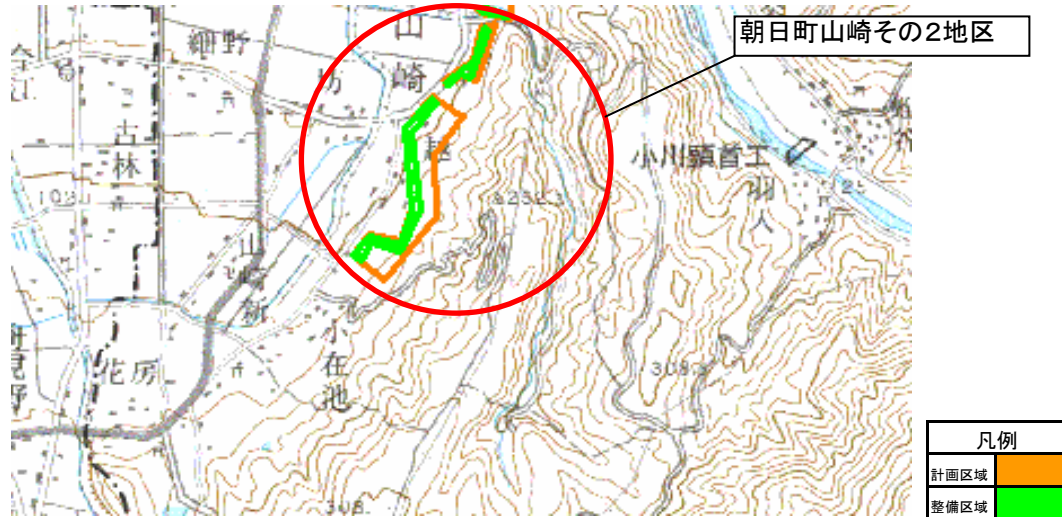
区 分	内 容
管 理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山崎地区有害鳥獣対策協議会が主体となって、ボランティアの協力を得ながら林縁部の定期的な刈り払いを行う。</li> <li>・管理は整備の翌年から3年以上行う。</li> </ul>
利 用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山崎地区有害鳥獣対策協議会が主体となって、有害鳥獣対策を行う。</li> <li>・伐採した木は、有害鳥獣対策(柵)等の材料として活用を図る。</li> </ul>

年度別事業計画

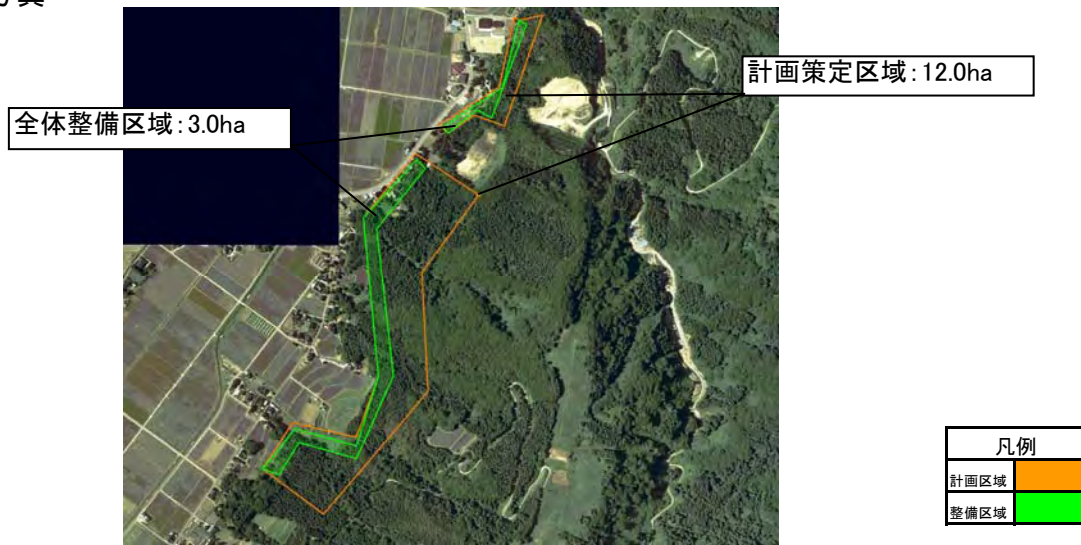
事業期間:平成 19 年度 ~ 平成 21 年度

年 度	全体計画	H19 計画 実績	H20 計画 実績	H21 計画 実績	備 考
管理利用計画策定	12.0ha	12.0ha 12.0ha	<del>12.0ha</del>	<del>12.0ha</del>	
里 山 林 整 備	広葉樹林等整備	3.0ha 3.6ha			
	竹林整備				
	被害林等整備				
	その他				
	合計	3.0ha	3.0ha 3.6ha		
県民参加の森づくり		3回 158名			
里山活用促進事業					

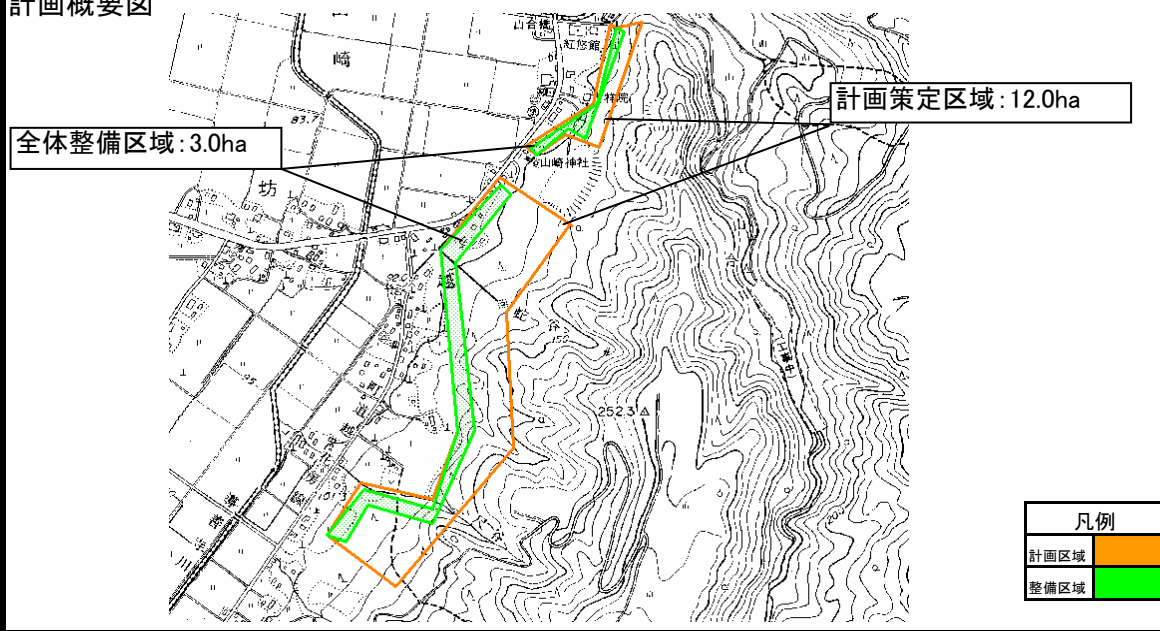
位置図



航空写真



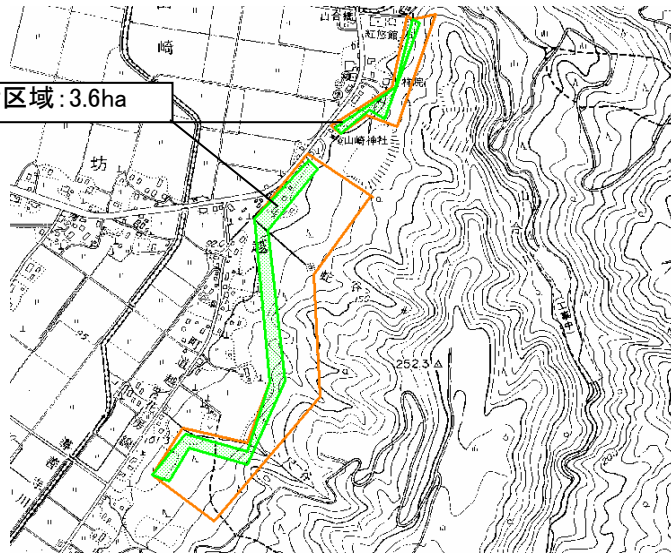
計画概要図



## 年度別実施状況

平面図

H19年度整備区域: 3.6ha



凡例	
計画区域	オレンジ
整備区域	緑

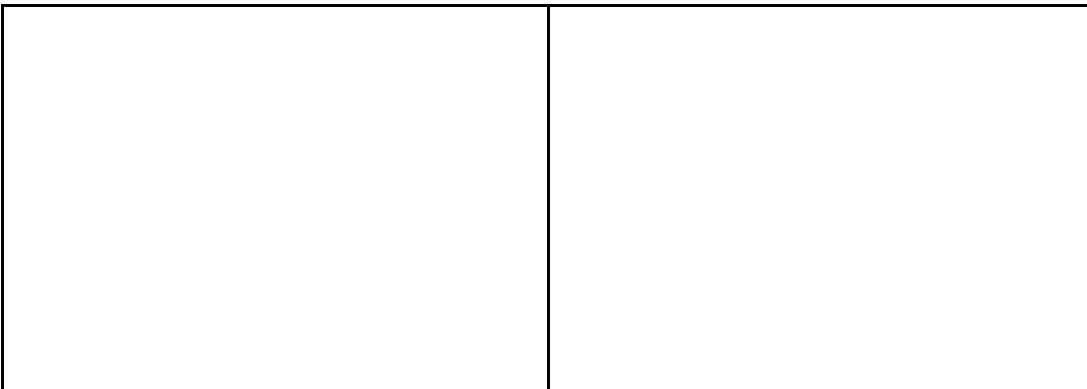
実施状況写真



整備後の状況



整備後の状況



特記事項

(整備の方針)

・サルによる農作物被害の軽減やクマ出没による人身被害の危険回避等、野生生物との棲み分けを図るため、林内を明るく見通しの良い里山を目指す。

(事業の実績)

・山崎地区有害鳥獣対策協議会が主体となって、ボランティアの協力を得ながら林縁部の刈り払い及び枝打ち等を実施した。  
・県民参加の森づくりとして県民協働による森づくりを実践した。

里山再生整備事業 地区別実施調書

No. 3	地区名	朝日町 山崎その3	(小在池・花房)
-------	-----	-----------	----------

全体計画

区域面積

区 分	人工林	天然林	その他 (竹林等)	合計
面 積	4.8ha	5.5ha	0.7ha	11.0ha

整備の目的

サルによる農作物被害の軽減やクマ出没による人身被害の危険回避等、野生生物との棲み分けを図るため、林内を明るく見通しの良い里山を目指す。

管理利用の計画

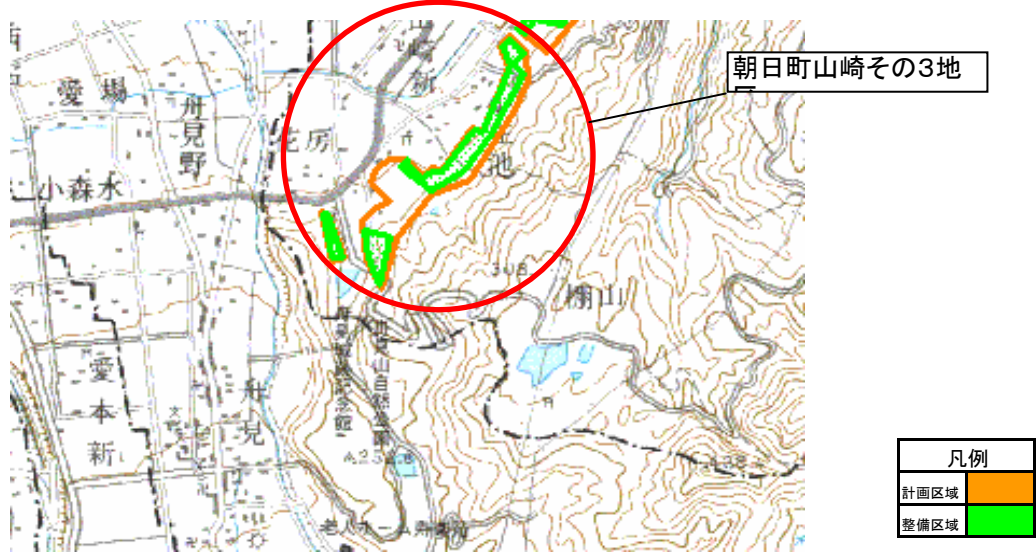
区 分	内 容
管 理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山崎地区有害鳥獣対策協議会が主体となって、ボランティアの協力を得ながら林縁部の定期的な刈り払いを行う。</li> <li>・管理は整備の翌年から3年以上行う。</li> </ul>
利 用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山崎地区有害鳥獣対策協議会が主体となって、有害鳥獣対策を行う。</li> <li>・伐採した木は、有害鳥獣対策(柵)等の材料として活用を図る。</li> </ul>

年度別事業計画

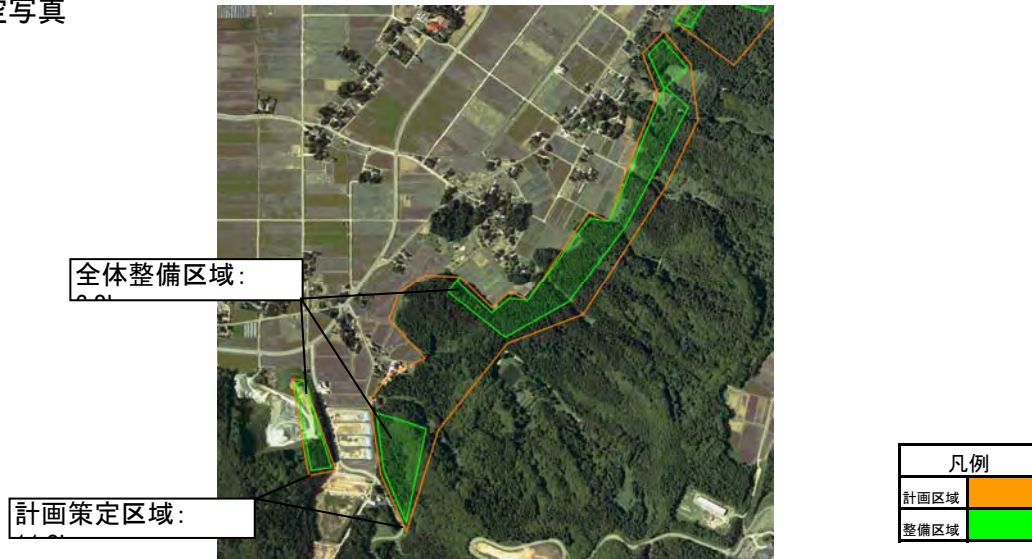
事業期間: 平成 19 年度 ~ 平成 21 年度

年 度	全体計画	H19 計画 実績	H20 計画 実績	H21 計画 実績	備 考
管理利用計画策定	11.0ha	11.0ha 11.0ha	<del>11.0ha</del>	<del>11.0ha</del>	
里山整備	広葉樹林等整備	6.8ha	3.0ha 6.2ha		
	竹林整備				
	被害林等整備				
	その他				
備 計	6.8ha	3.0ha 6.2ha			
県民参加の森づくり		3回 154名			
里山活用促進事業					

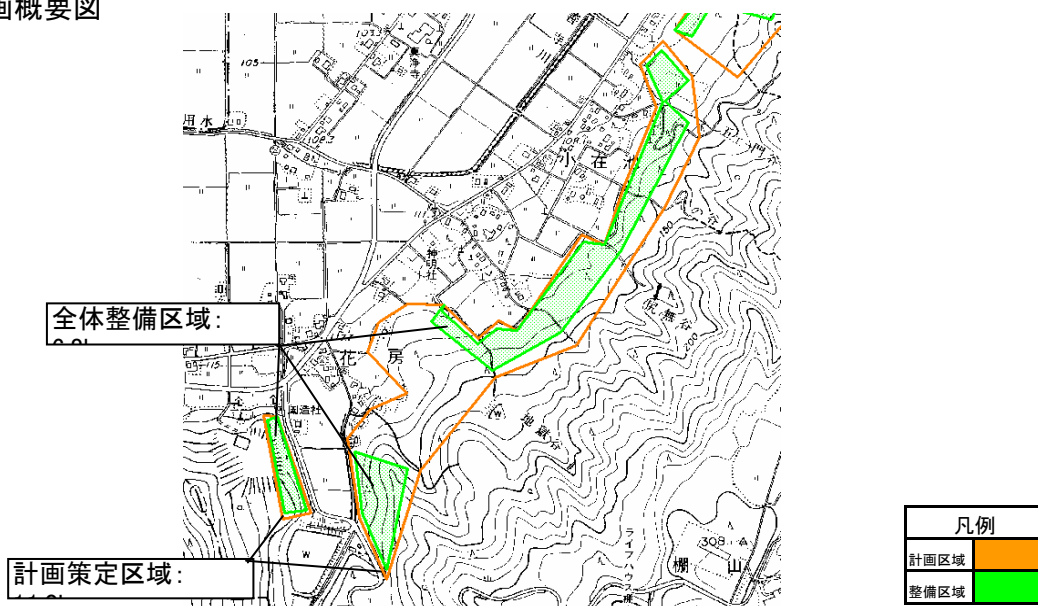
位置図



航空写真



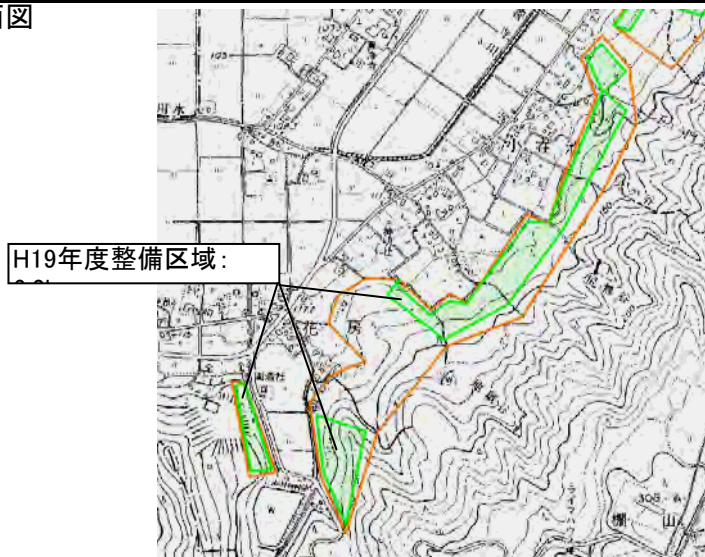
計画概要図





## 年度別実施状況

平面図



凡例	
計画区域	オレンジ
整備区域	緑

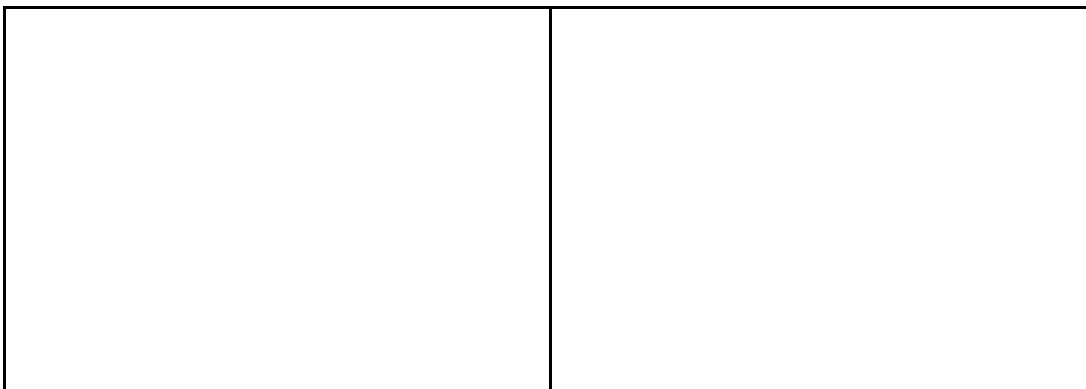
実施状況写真



整備後の状況



整備後の状況



特記事項

(整備の方針)

・サルによる農作物被害の軽減やクマ出没による人身被害の危険回避等、野生生物との棲み分けを図るため、林内を明るく見通しの良い里山を目指す。

(事業の実績)

・山崎地区有害鳥獣対策協議会が主体となって、ボランティアの協力を得ながら林縁部の刈り払い及び枝打ち等を実施した。  
 ・県民参加の森づくりとして県民協働による森づくりを実践した。

里山再生整備事業 地区別実施調書

No.	4	地区名	朝日町 南保
-----	---	-----	--------

全体計画

区域面積

区 分	人工林	天然林	その他 (竹林等)	合計
面 積	4.5ha	2.8ha	0.7ha	8.0ha

整備の目的

サルによる農作物被害の軽減やクマ出没による人身被害の危険回避等、野生生物との棲み分けを図るため、林内を明るく見通しの良い里山を目指す。

管理利用の計画

区 分	内 容
管 理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山崎地区有害鳥獣対策協議会が主体となって、ボランティアの協力を得ながら林縁部の定期的な刈り払いを行う。</li> <li>・管理は整備の翌年から3年以上行う。</li> </ul>
利 用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・山崎地区有害鳥獣対策協議会が主体となって、有害鳥獣対策を行う。</li> <li>・伐採した木は、有害鳥獣対策(柵)等の材料として活用を図る。</li> </ul>

年度別事業計画

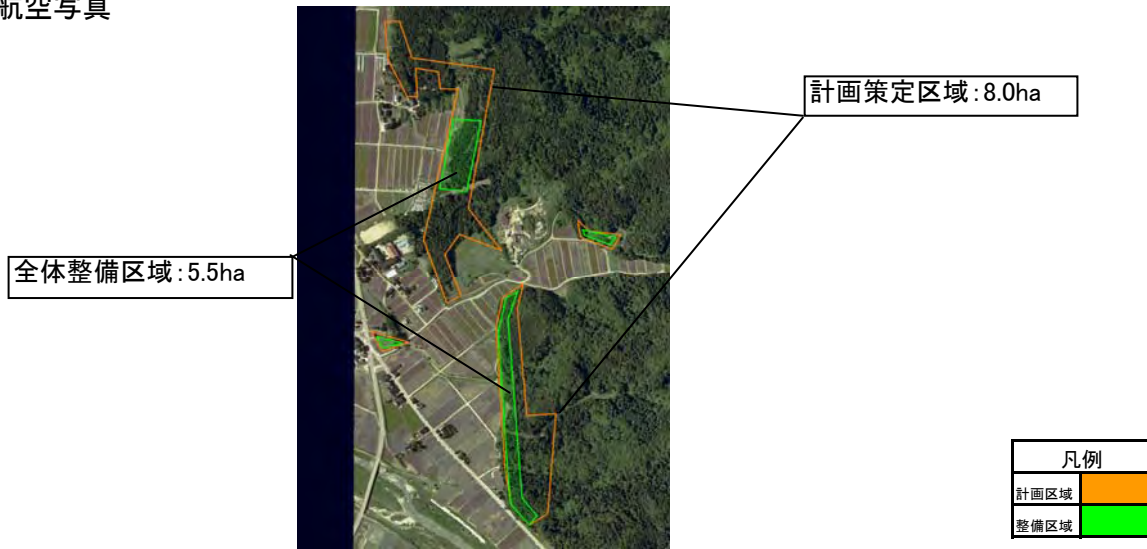
事業期間:平成 19 年度 ~ 平成 21 年度

年 度	全体計画	H19 計画 実績	H20 計画 実績	H21 計画 実績	備 考
管理利用計画策定	8.0ha	8.0ha 8.0ha	<del>8.0ha</del>	<del>8.0ha</del>	
里山整備	広葉樹林等整備	5.5ha	2.5ha 2.0ha		
	竹林整備				
	被害林等整備				
	その他				
	合計	5.5ha	2.5ha 2.0ha		
県民参加の森づくり		3回 150名			
里山活用促進事業					

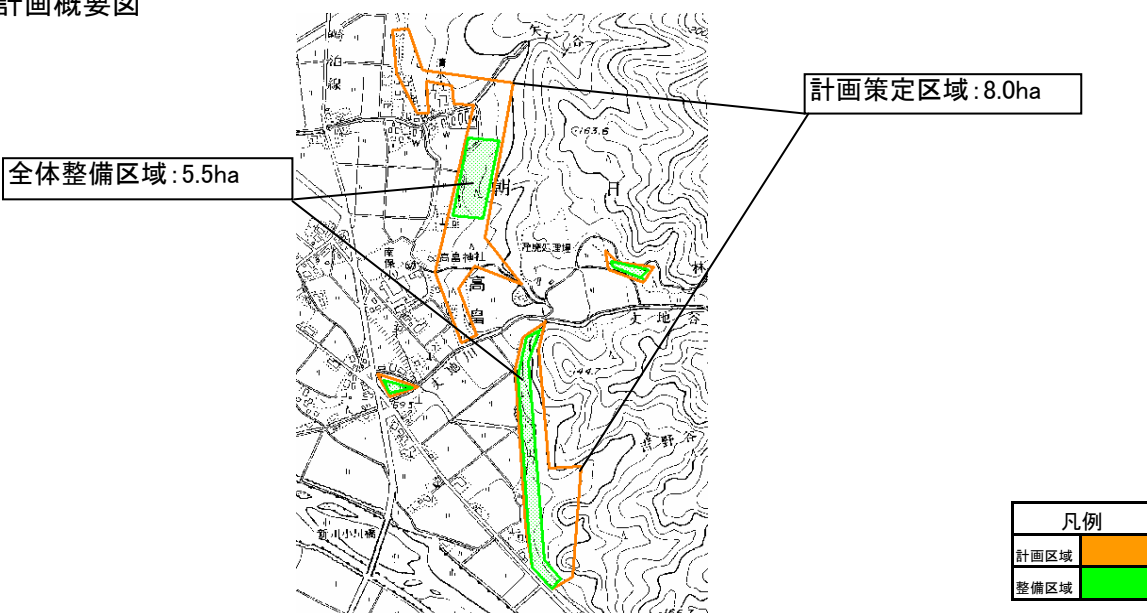
位置図



航空写真



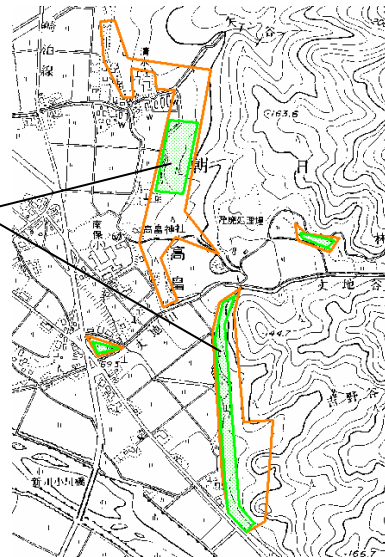
計画概要図



## 年度別実施状況

平面図

H19年度整備区域: 2.0ha



凡例	
計画区域	オレンジ色
整備区域	緑色

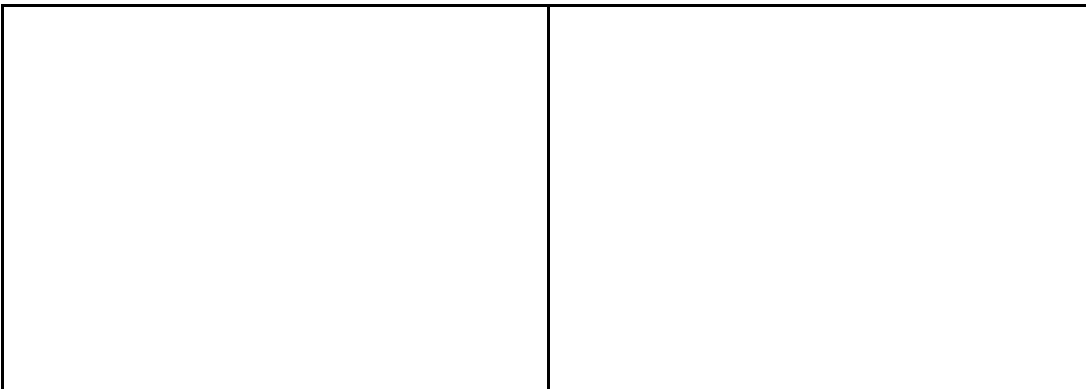
実施状況写真



整備後の状況



整備後の状況



特記事項

(整備の方針)

・サルによる農作物被害の軽減やクマ出没による人身被害の危険回避等、野生生物との棲み分けを図るため、林内を明るく見通しの良い里山を目指す。

(事業の実績)

・山崎地区有害鳥獣対策協議会が主体となって、ボランティアの協力を得ながら林縁部の刈り払い及び枝打ち等を実施した。  
 ・県民参加の森づくりとして県民協働による森づくりを実践した。

里山再生整備事業 地区別実施調書

No.	5	地区名	入善町 舟見
-----	---	-----	--------

全体計画

区域面積

区 分	人工林	天然林	その他 (竹林等)	合計
面 積	11.3ha	6.4ha		17.7ha

整備の目的

サルによる農作物被害の軽減やクマ出没による人身被害の危険回避等、野生生物との棲み分けを図るため、林内を明るく見通しの良い里山を目指す。

管理利用の計画

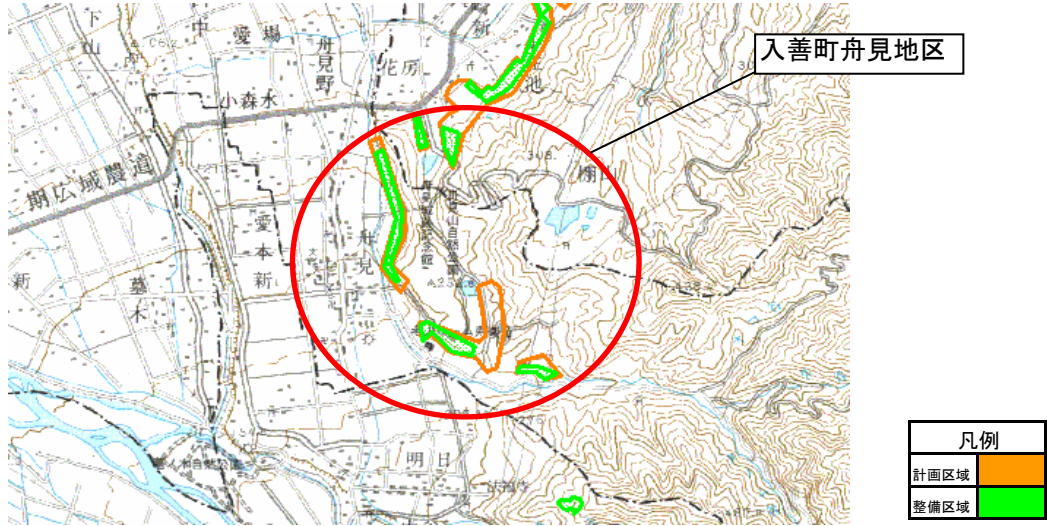
区 分	内 容
管 理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民が主体となって、ボランティアの協力を得ながら林縁部の定期的な刈り払いを行う。</li> <li>・管理は整備の翌年から3年以上行う。</li> </ul>
利 用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民等の交流の場として活用する。</li> <li>・舟見山自然公園までの遊歩道(既設)を利用し、レクリエーションや自然観察の場として活用する。</li> </ul>

年度別事業計画

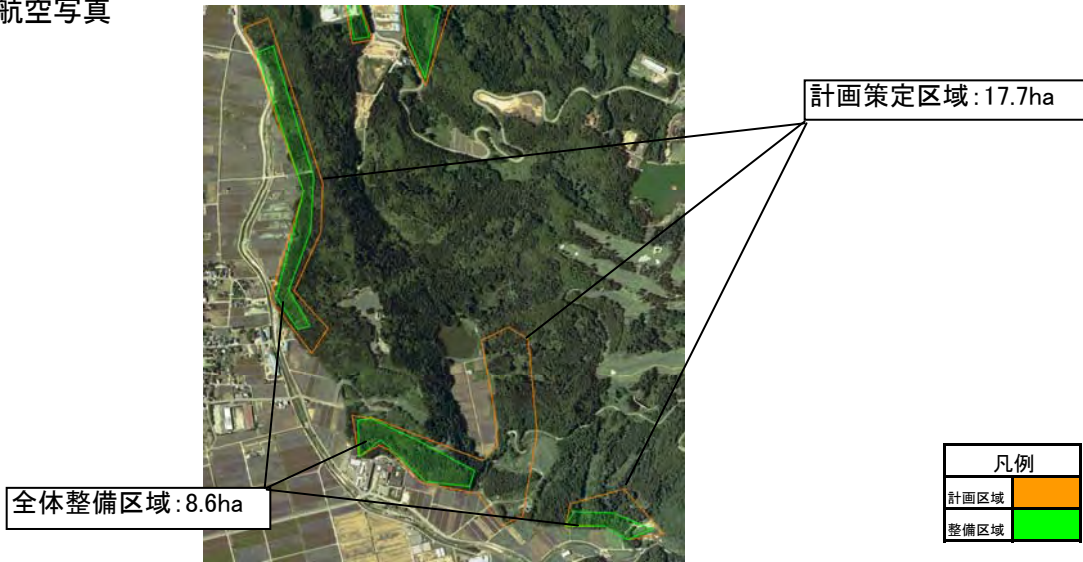
事業期間:平成 19 年度 ~ 平成 21 年度

年 度	全体計画	H19	H20	H21	備 考	
		計画 実績	計画 実績	計画 実績		
管理利用計画策定	17.7ha	17.7ha 17.7ha	<del>17.7ha</del>	<del>17.7ha</del>		
里 山 林 整 備	広葉樹林等整備	8.6ha	2.6ha 2.6ha	3.0ha	3.0ha	
	竹林整備					
	被害林等整備					
	そ の 他					
	合 計	8.6ha	2.6ha 2.6ha	3.0ha	3.0ha	
県民参加の森づくり						
里山活用促進事業						

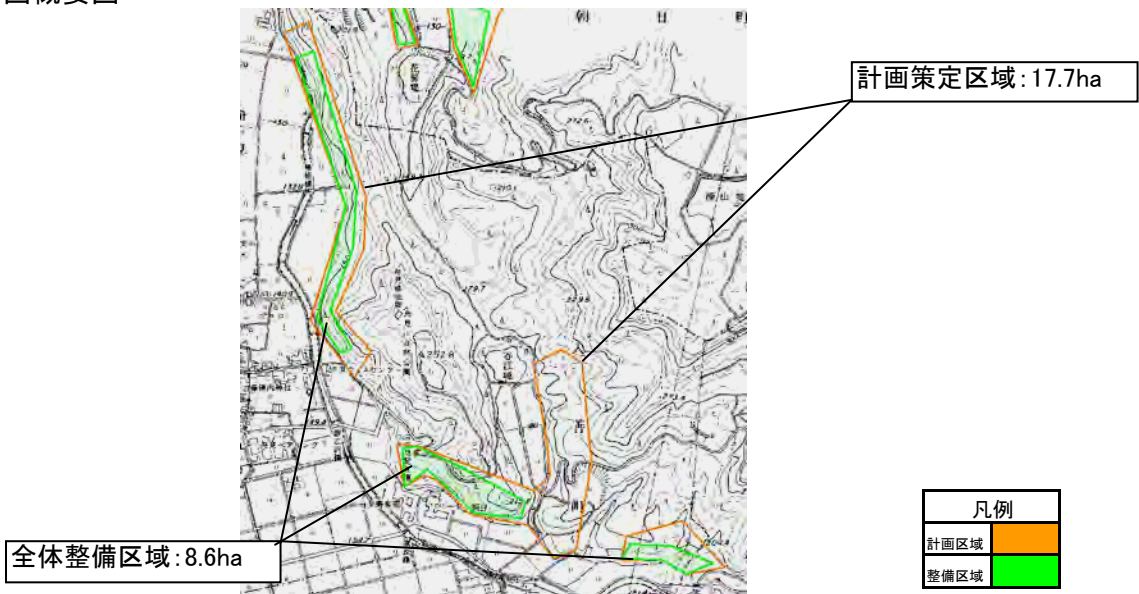
位置図



航空写真

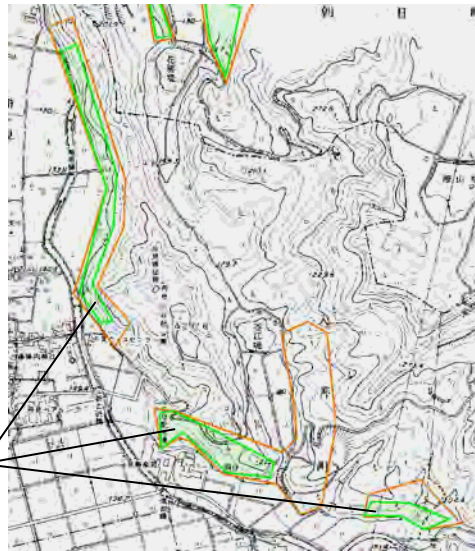


計画概要図



## 年度別実施状況

平面図



H19年度整備区域: 2.6ha

凡例	
計画区域	オレンジ
整備区域	緑

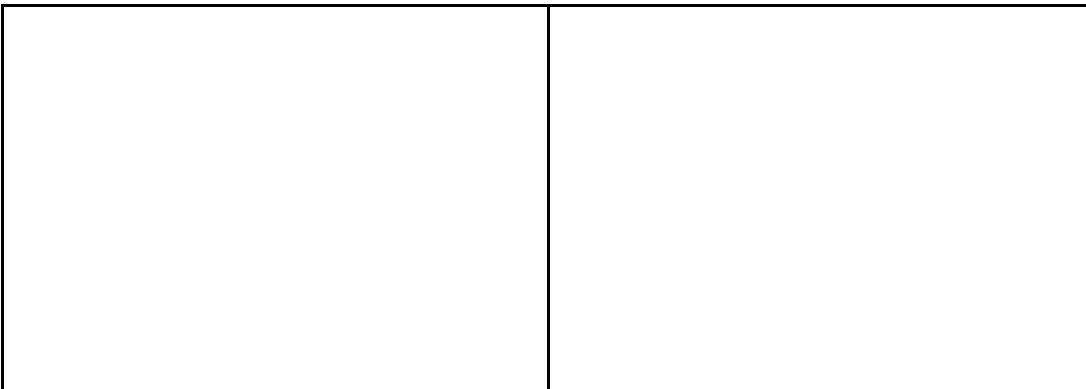
実施状況写真



整備後の状況



整備後の状況



特記事項

(整備の方針)

・サルによる農作物被害の軽減やクマ出没による人身被害の危険回避等、野生生物との棲み分けを図るため、林内を明るく見通しの良い里山を目指す。

(事業の実績)

・舟見山自然公園周辺において、地域住民が主体となり、林縁部の刈り払い及び枝打ち等を実施した。  
・既存の遊歩道周辺で刈り払いを実施し、見通しをよくすることで、自然公園への来訪者の増加を

## 里山再生整備事業 地区別実施調書

No. 6	地区名	黒部市 若栗			
全体計画					
区域面積					
区 分	人工林	天然林	その他 (竹林等)	合計	
面 積	1.1ha	6.9ha		8.0ha	
整備の目的					
<p>・サルによる農作物被害の深刻化、クマ出没による人身被害の危険回避等、野生生物との棲み分けを図るため、林内を明るくし、見通しのよい里山を目指すもの。</p>					
管理利用の計画					
区 分	内 容				
管 理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民が主体となって、ボランティアの協力を得ながら林縁部の定期的な刈り払いを行う。</li> <li>・管理は整備の翌年から3年以上行う。</li> </ul>				
利 用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民等との交流の場として活用する。</li> <li>・宮野運動公園までの既存の遊歩道を利用し、レクリエーションや自然観察の場として活用する。</li> </ul>				
年度別事業計画					
事業期間: 平成 19 年度 ~ 平成 21 年度					
年 度	全体計画	H19 計画 実績	H20 計画 実績	H21 計画 実績	備 考
管理利用計画策定	8.0ha	8.0ha 8.0ha	<del>8.0ha</del>	<del>8.0ha</del>	
里 山 林 整 備	広葉樹林等整備	3.6ha	2.6ha 2.6ha	1.0ha	整理伐 70% (19は県営)
	竹林整備				
	被害林等整備				
	そ の 他				
備 計	3.6ha	2.6ha 2.6ha	1.0ha		
県民参加の森づくり	3年	1 160名	1	1	住民等の参加 実績
里山活用促進事業					



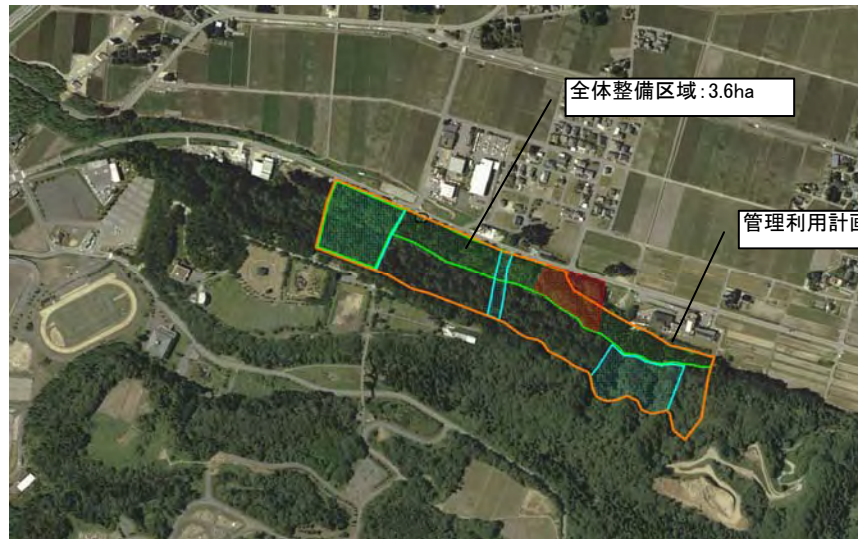
位置図



凡例

計画区域	オレンジ
整備区域	緑
保安林	青
対象外区域	赤

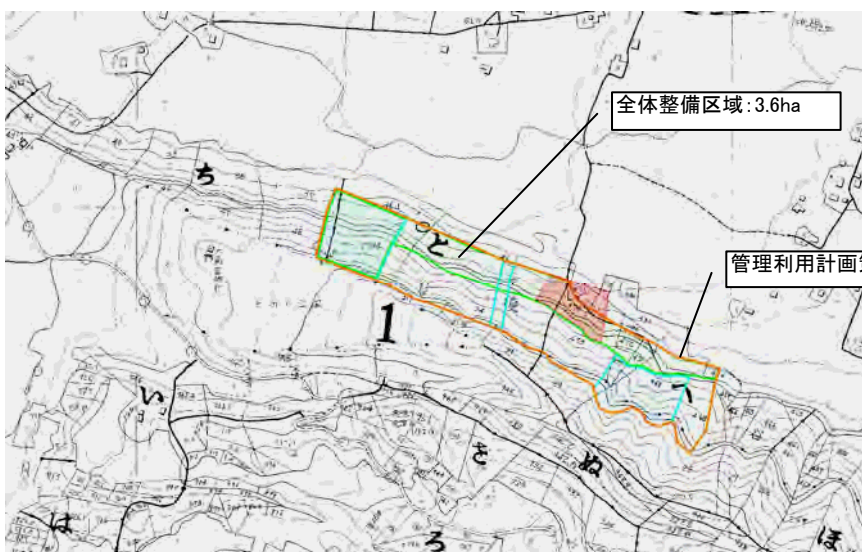
航空写真



凡例

計画区域	オレンジ
整備区域	緑
保安林	青
対象外区域	赤

計画概要図

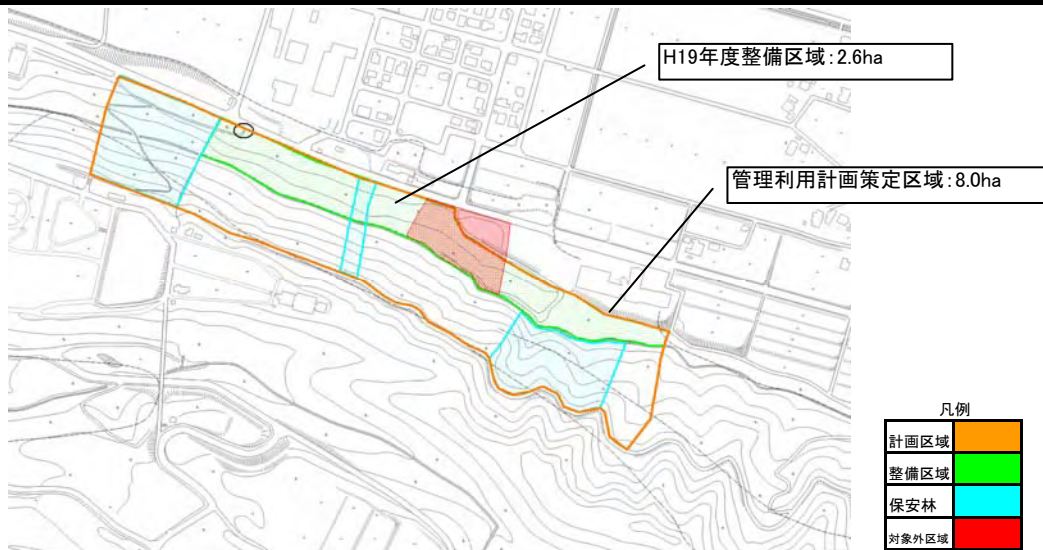


凡例

計画区域	オレンジ
整備区域	緑
保安林	青
対象外区域	赤

# 平成19年度実施状況

平面図



実施状況写真



森林整備開始式(知事出席)



住民参加による森林整備の実施状況



整備後の状況



事業PR看板の設置

## 特記事項

(整備方針)

・広域農道に面した林縁部から斜面下部については野生生物との棲み分けを目指す「見通しのよい森づくりエリア」、宮野運動公園に至る遊歩道が整備されている周辺については「散策の森づくりエリア」、斜面中腹から上部の急峻な斜面においては、自然の遷移により安定した森林となっていることから「保全の森エリア」として整備することとする。

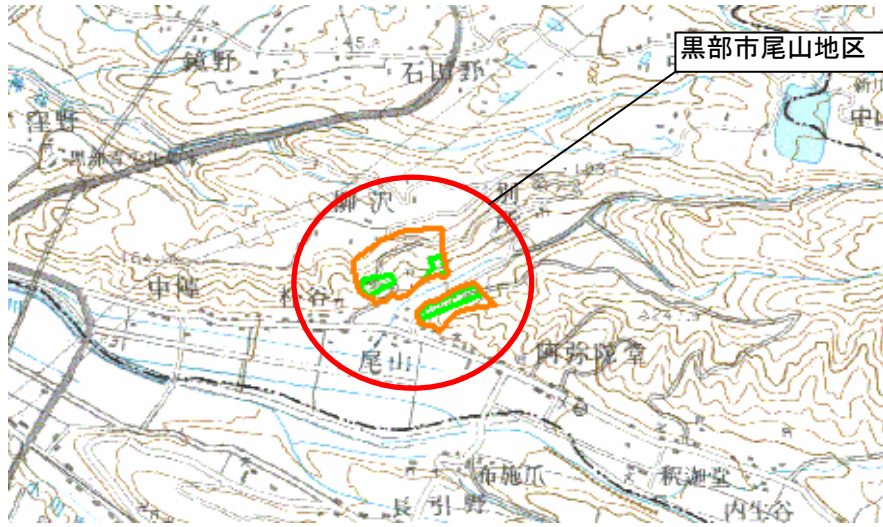
(事業実施内容)

・本地区は、里山再生整備事業のモデル林として整備を行なった。また、本事業をPRする看板を設置した。  
 ・8月4日の整備の開始式には、地域住民やボランティアも参加し、県民協働による森づくりを実践した。

里山再生整備事業 地区別実施調書

No. 7	地区名	黒部市 尾山			
全体計画					
区域面積					
区 分	人工林	天然林	その他 (竹林等)	合計	
面 積	4.7ha	8.8ha		13.5ha	
整備の目的					
<p>・サルによる農作物被害の軽減やクマ出没による人身被害の危険回避等、野生生物との棲み分けを図るため、林内を明るくし、見通しのよい里山を目指す</p>					
管理利用の計画					
区 分	内 容				
管 理	<p>・地域住民が主体となって、ボランティアの協力を得ながら林縁部の定期的な刈り払いを行う。 ・管理は整備の翌年から3年以上行う。</p>				
利 用	<p>・地域住民等との交流の場として活用する。 ・伐採した木は薪炭材として活用する。</p>				
年度別事業計画					
事業期間:平成 19 年度 ~ 平成 20 年度					
年 度	全体計画	H19 計画 実績	H20 計画 実績	H21 計画 実績	備 考
管理利用計画策定	13.5ha	13.5ha 13.5ha	<del>13.5ha</del>	<del>13.5ha</del>	
里 山 林 整 備	広葉樹林等整備	2.0ha	1.0ha 1.0ha	1.0ha	整理伐70%
	竹林整備				
	被害林等整備				
	その他				
備 計	2.0ha	1.0ha 1.0ha	1.0ha		
県民参加の森づくり			1	1	
里山活用促進事業					

位置図



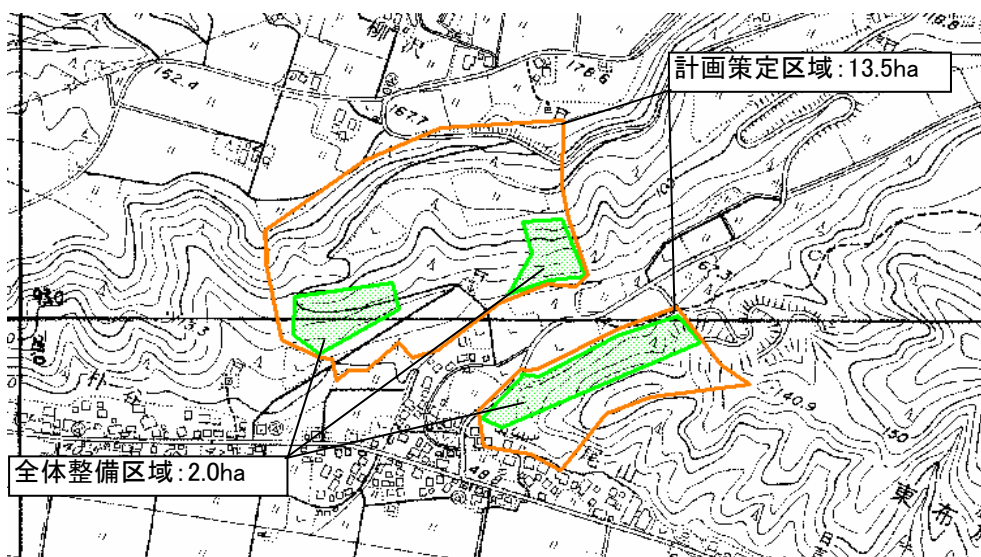
凡例	
計画区域	<span style="display:inline-block; width:10px; height:10px; background-color:orange;"></span>
整備区域	<span style="display:inline-block; width:10px; height:10px; background-color:green;"></span>

航空写真



凡例	
計画区域	<span style="display:inline-block; width:10px; height:10px; background-color:orange;"></span>
整備区域	<span style="display:inline-block; width:10px; height:10px; background-color:green;"></span>

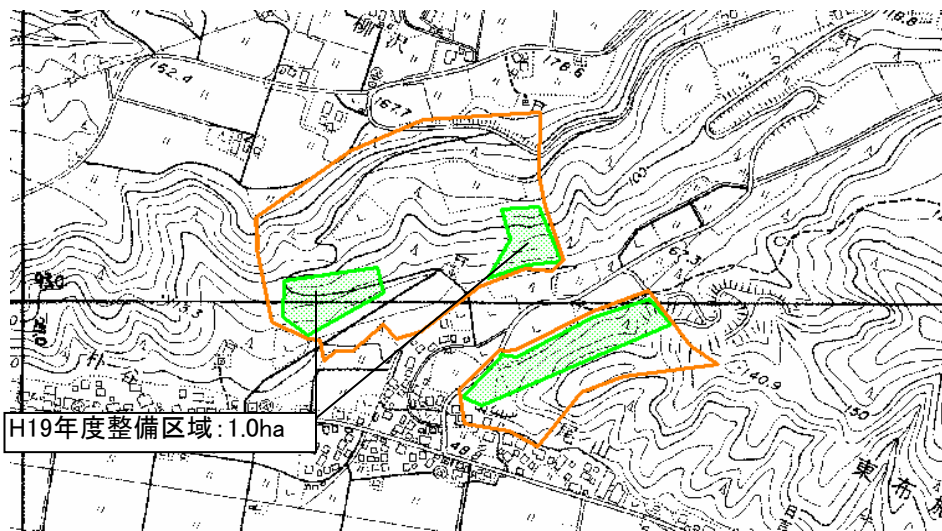
計画概要図



凡例	
計画区域	<span style="display:inline-block; width:10px; height:10px; background-color:orange;"></span>
整備区域	<span style="display:inline-block; width:10px; height:10px; background-color:green;"></span>

## 年度別実施状況

### 平面図



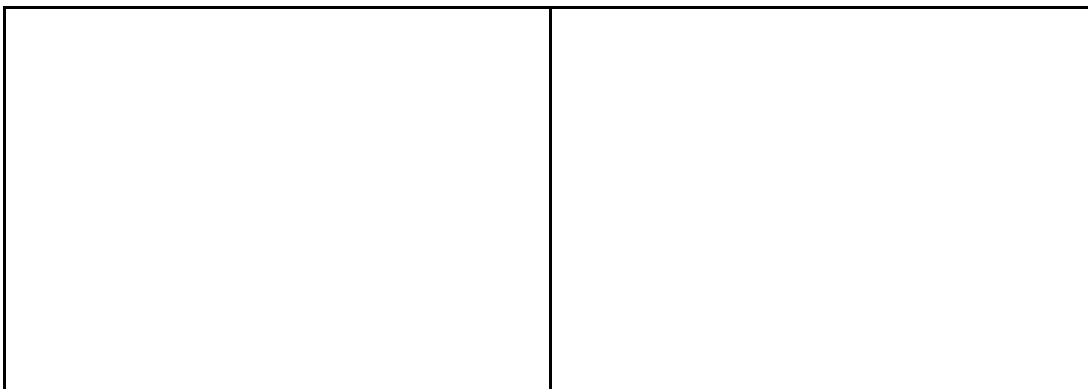
### 実施状況写真



整備後の状況



整備後の状況



### 特記事項

(整備の方針)

・サルによる農作物被害の軽減やクマ出没による人身被害の危険回避等、野生生物との棲み分けを図るため、林内を明るく見通しの良い里山を目指す。

(事業の実績)

・県道より50m程入ったところで野菜や果樹の栽培を実施しており、野生生物が頻繁に出没する地区であることから、地域住民が主体となり、林縁部の刈り払い及び竹林の整理を実施した。  
 ・その結果、野生生物のと遭遇を早期に回避できるくらいの見通しとなり、安全性が確保された。

里山再生整備事業 地区別実施調書

No. 8	地区名	黒部市(宇奈月町) 内山
-------	-----	--------------

全体計画

区域面積

区 分	人工林	天然林	その他 (竹林等)	合計
面 積	7.3ha	3.5ha		10.8ha

整備の目的

・サルによる農作物被害の軽減やクマ出没による人身被害の危険回避等、野生生物との棲み分けを図るため、林内を明るくし、見通しのよい里山を目指すもの。

管理利用の計画

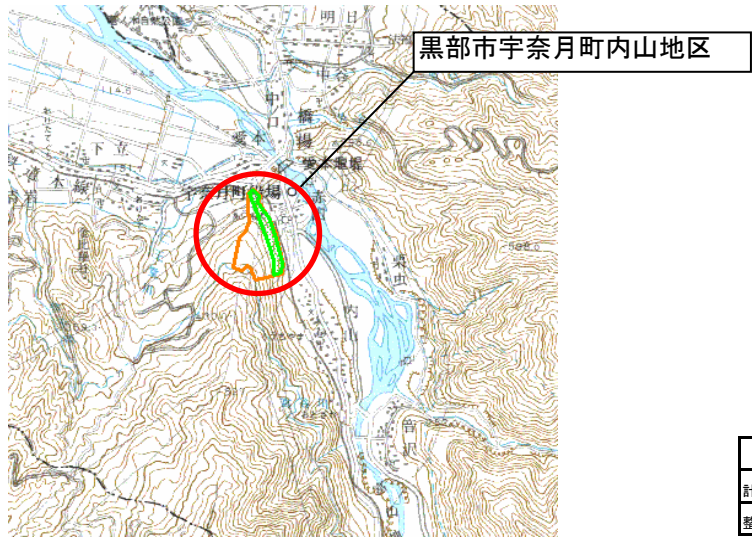
区 分	内 容
管 理	・地域住民が主体となって、ボランティアの協力を得ながら林縁部の定期的な刈り払いを行う。 ・管理は整備の翌年から3年以上行う。
利 用	・地域住民等との交流の場として活用する。

年度別事業計画

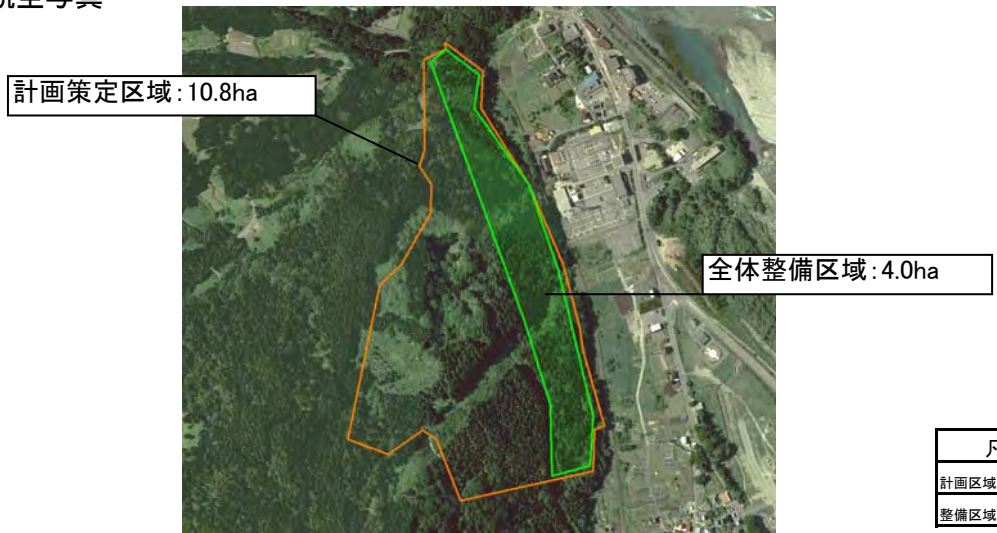
事業期間: 平成 19 年度 ~ 平成 20 年度

年 度		全体計画	H19 計画 実績	H20 計画 実績	H21 計画 実績	備 考
管理利用計画策定		10.8ha	10.8ha 10.8ha	<del>10.8ha</del>	<del>10.8ha</del>	
里 山 林 整 備	広葉樹林等整備	4.0ha	2.5ha 2.5ha	1.5ha		整理伐70%
	竹林整備					
	被害林等整備					
	その他					
合 計		4.0ha	2.5ha 2.5ha	1.5ha		
県民参加の森づくり				1	1	
里山活用促進事業						

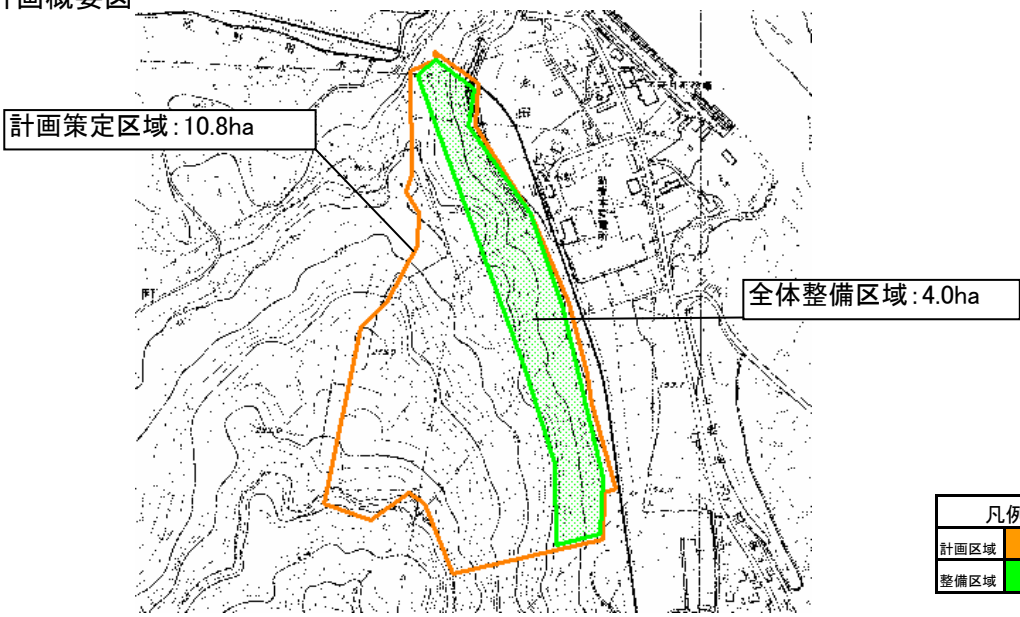
位置図



航空写真

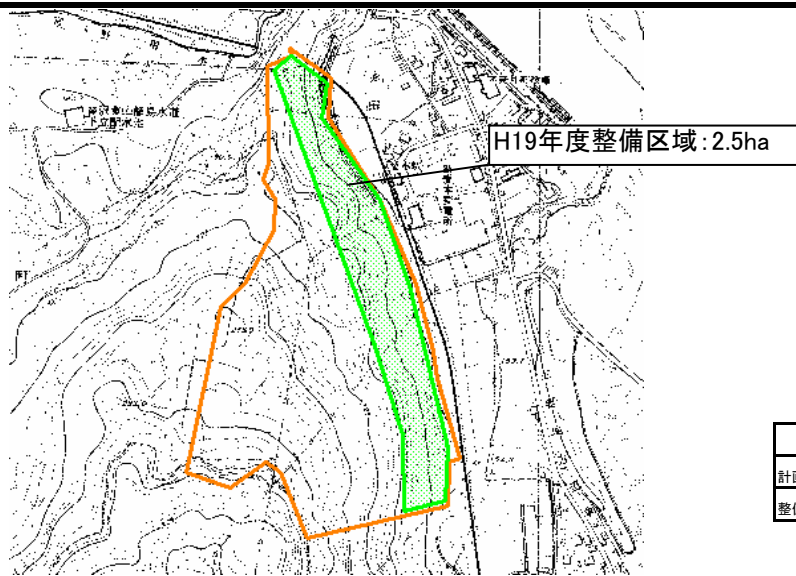


計画概要図



## 年度別実施状況

平面図



実施状況写真



整備後の状況



整備後の状況



整備後の状況

特記事項

(整備の方針)

・サルによる農作物被害の軽減やクマ出没による人身被害の危険回避等、野生生物との棲み分けを図るため、林内を明るく見通しの良い里山を目指す。

(事業の実績)

・温泉地を抱えた鉄道沿線であり、観光客が多く来訪する地区である。野生生物との遭遇による危険を回避するため、地域住民が主体となり、林縁部の刈り払い等を実施した。  
 ・その結果、野生生物の遭遇を早期に回避できるくらいの見通しとなり、安全性が確保された。



里山再生整備事業 地区別実施調書

No. 9	地区名	魚津市 升方
-------	-----	--------

全体計画

区域面積

区 分	人工林	天然林	その他 (竹林等)	合計
面 積	1.3ha	3.7ha		5.0ha

整備の目的

・近年、当地域においてクマ、サル等が多く出没し、人間の生活圏に侵入してきていることから、放置された森林の下層植生を整備することにより野生生物の発見を早めることにより、それらと棲み分けを図るもの。

管理利用の計画

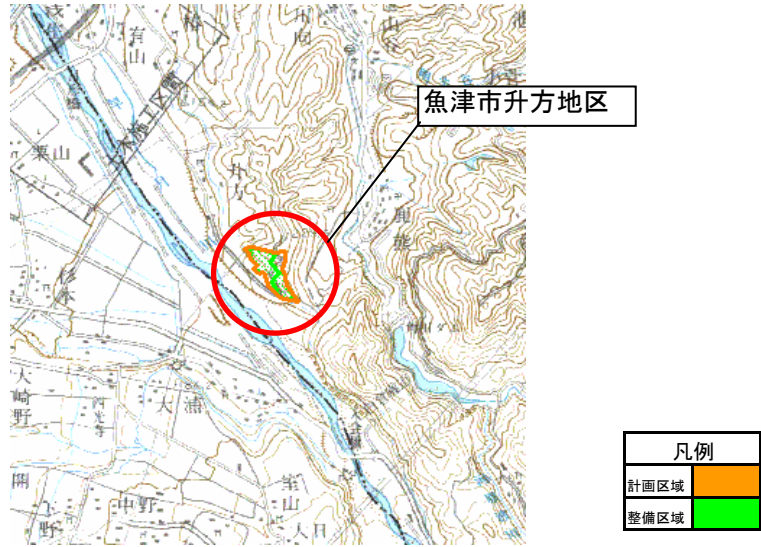
区 分	内 容
管 理	・間伐や天然林除伐・枝打等の実施により林外からの見通しを良くし、野生生物との棲み分けを図り、生活環境保全と保険文化機能の維持増進に資する。 ・整備跡の管理については、地域住民が中心となり刈払い等を実施し、環境の維持に努める。
利 用	・放置された里山林を再生することにより、きのこ栽培への原木利用や山菜の採取等、地域住民等が里山に入り活用する。

年度別事業計画

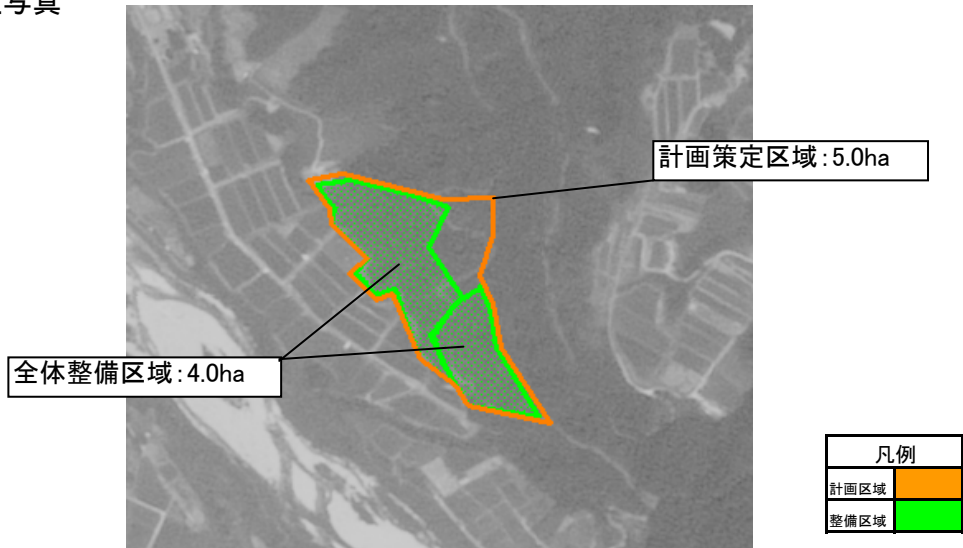
事業期間: 平成 19 年度 ~ 平成 20 年度

年 度	全体計画	H19 計画 実績	H20 計画 実績	H21 計画 実績	備 考
管理利用計画策定	5.0ha	5.0ha 5.0ha	<del>5.0ha</del>	<del>5.0ha</del>	
里山整備	広葉樹林等整備	4.0ha	2.0ha 2.0ha	2.0ha	整理伐40%
	竹林整備				
	被害林等整備				
	その他				
備 計	4.0ha	2.0ha 2.0ha	2.0ha		
県民参加の森づくり			1	1	
里山活用促進事業					

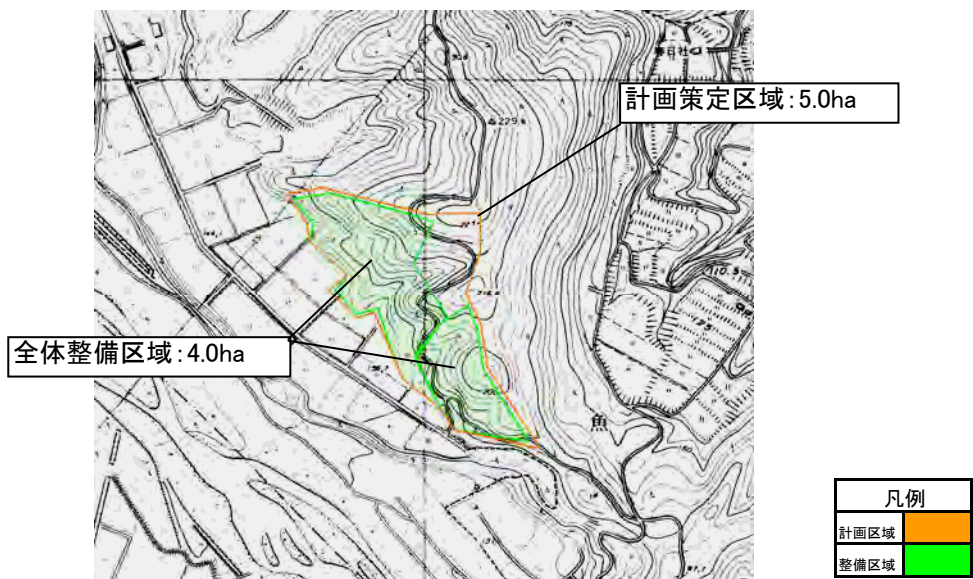
位置図



航空写真



計画概要図



## 年度別実施状況

平面図



H19年度整備区域: 2.0ha

凡例	
計画区域	<span style="display:inline-block; width:10px; height:10px; background-color:orange;"></span>
整備区域	<span style="display:inline-block; width:10px; height:10px; background-color:green;"></span>

実施状況写真



整備後の状況



整備後の状況



整備後の状況

特記事項

(整備の方針)

・サルによる農作物被害の軽減やクマ出没による人身被害の危険回避等、野生生物との棲み分けを図るため、林内を明るく見通しの良い里山を目指す。

(事業の実績)

・農業用水を管理するための歩道が設置されている地区である。管理巡視の際に野生生物との遭遇による危険を回避するため、地域住民が主体となり、管理歩道沿いの刈り払い等を実施した。  
 ・その結果、野生生物のと遭遇を早期に回避できるくらいの見通しとなり、安全性が確保された。

里山再生整備事業 地区別実施調書

No. 10	地区名	魚津市 湯上
--------	-----	--------

全体計画

区域面積

区 分	人工林	天然林	その他 (竹林等)	合計
面 積	3.05ha	1.70ha	0.25ha	5.00ha

整備の目的

・近年、当地域においてクマ、サル等が多く出没し、人間の生活圏に侵入してきていることから、放置された森林の下層植生を整備することにより野生生物の発見を早めることにより、それらと棲み分けを図るもの。

管理利用の計画

区 分	内 容
管 理	・間伐や天然林除伐・枝打等の実施により林外からの見通しを良くし、野生生物との棲み分けを図り、生活環境保全と保険文化機能の維持増進に資する。 ・整備跡の管理については、地域住民が中心となり刈払い等を実施し、環境の維持に努める。
利 用	・放置された里山林を再生することにより、きのこ栽培への原木利用や山菜の採取等、地域住民等が里山に入り活用する。

年度別事業計画

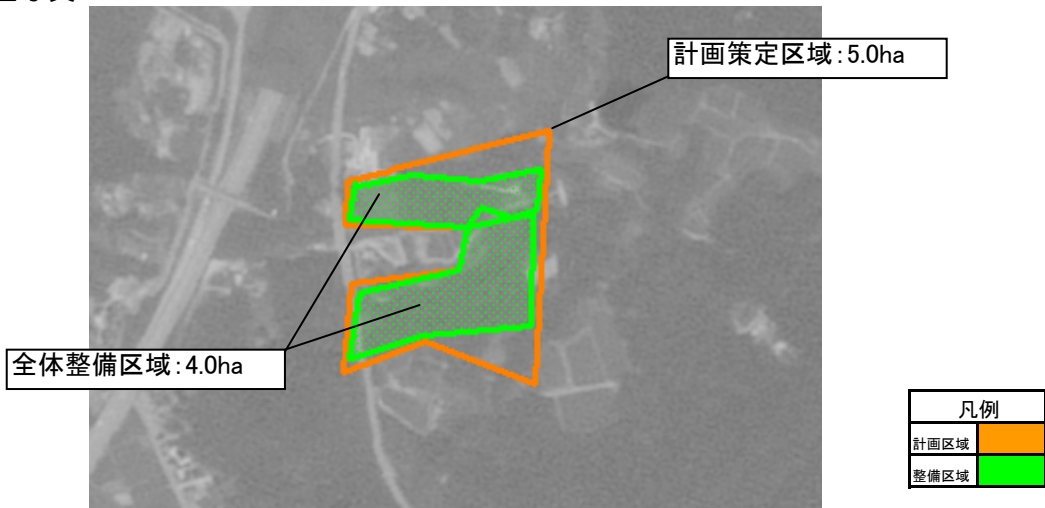
事業期間: 平成 19 年度 ~ 平成 20 年度

年 度	全体計画	H19 計画 実績	H20 計画 実績	計画 実績	備 考
管理利用計画策定	5.0ha	5.0ha 5.0ha	<del>5.0ha</del>	<del>5.0ha</del>	
里山整備	広葉樹林等整備	4.0ha	2.0ha 2.0ha	2.0ha	整理伐40%
	竹林整備				
	被害林等整備				
	その他				
備 計	4.0ha	2.0ha 2.0ha	2.0ha		
県民参加の森づくり			1	1	
里山活用促進事業					

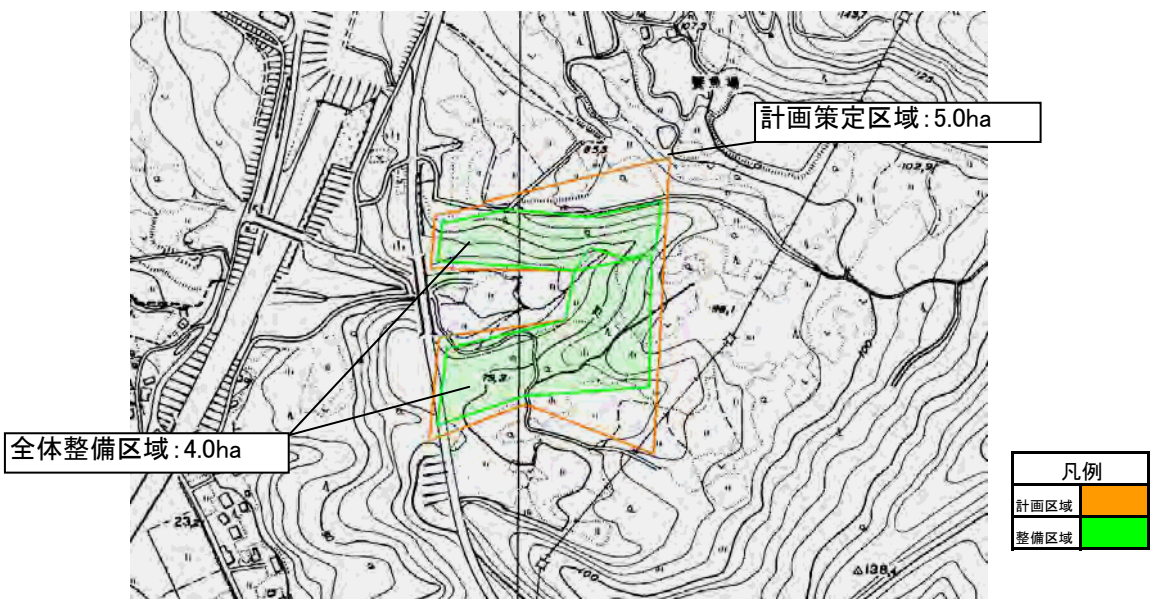
位置図



航空写真

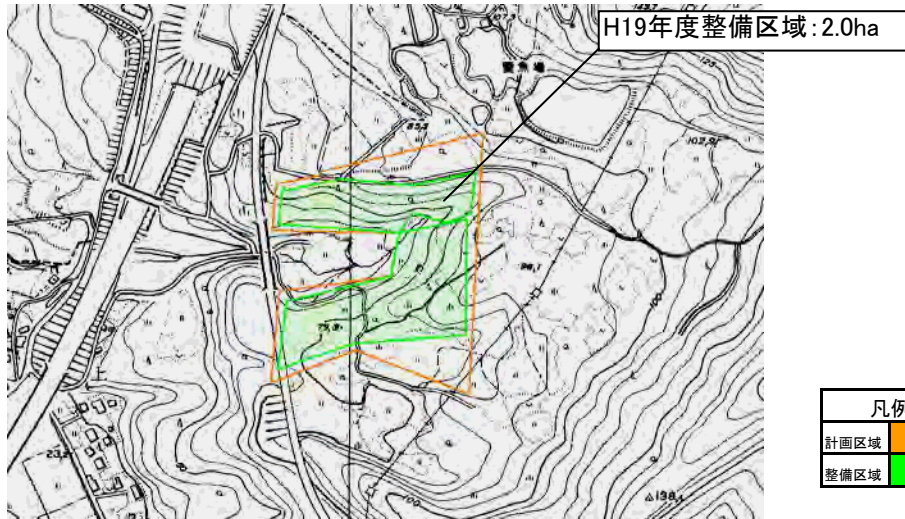


計画概要図



## 年度別実施状況

### 平面図



### 実施状況写真



整備後の状況



整備後の状況



整備後の状況



### 特記事項

#### (整備の方針)

・サルによる農作物被害の軽減やクマ出没による人身被害の危険回避等、野生生物との棲み分けを図るため、林内を明るく見通しの良い里山を目指す。

#### (事業の実績)

・森林浴を楽しむことのできるような豊かな林相の里山林である。ここでも野生生物の目撃が多数寄せられており、遭遇による危険を回避するため、地域住民が主体となり、林縁部等の刈り払い等を実施した。

## 里山再生整備事業 地区別実施調書

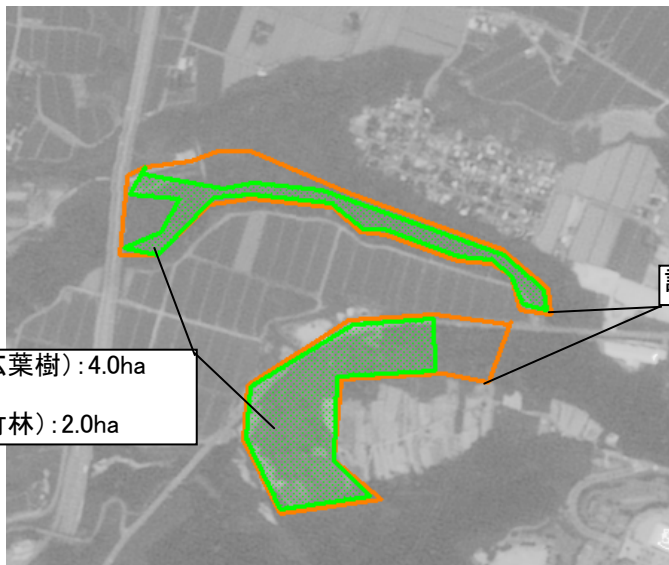
No. 11	地区名	魚津市 宮津			
全体計画					
区域面積					
区 分	人工林	天然林	その他 (竹林等)	合計	
面 積	0.9ha	5.2ha	3.9ha	10.0ha	
整備の目的					
<p>・近年、当地域においてクマ、サル等が広域農道等人間の生活圏に多数侵入してきていることから、放置された森林の下層植生を整備することにより、鳥獣の発見と進入を防ぐことで、それらと棲み分けを図るもの。</p>					
管理利用の計画					
区 分	内 容				
管 理	<p>・間伐や天然林除伐・枝打等の実施により林外からの見通しを良くし、野生生物との棲み分けを図り、生活環境保全と保険文化機能の維持増進に資する。                  ・整備跡の管理については、地域住民が中心となり刈払い等を実施し、環境の維持に努める。</p>				
利 用	<p>・放置された里山林を再生することにより、きのこ栽培への原木利用や山菜の採取等、地域住民等が里山に入り活用する。</p>				
年度別事業計画					
事業期間: 平成 19 年度 ~ 平成 20 年度					
年 度	全体計画	H19 計画 実績	H20 計画 実績	H21 計画 実績	備 考
管理利用計画策定	10.0ha	10.0ha 10.0ha	<del>10.0ha</del>	<del>10.0ha</del>	
里 山 林 整 備	広葉樹林等整備	4.0ha 2.0ha	2.0ha 2.0ha		整理伐40%
	竹林整備	2.0ha 1.0ha	1.0ha 1.0ha		モウソウチク整理50%
	被害林等整備				
	そ の 他				
	合 計	6.0ha	3.0ha 3.0ha	3.0ha	
県民参加の森づくり			1	1	
里山活用促進事業					

位置図



凡例	
計画区域	■ (Orange)
整備区域	■ (Green)

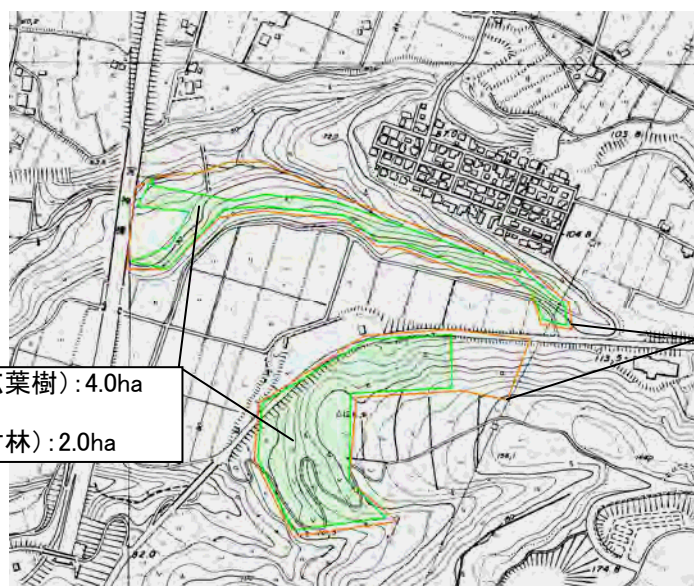
航空写真



全体整備区域(広葉樹): 4.0ha  
全体整備区域(竹林): 2.0ha

凡例	
計画区域	■ (Orange)
整備区域	■ (Green)

計画概要図



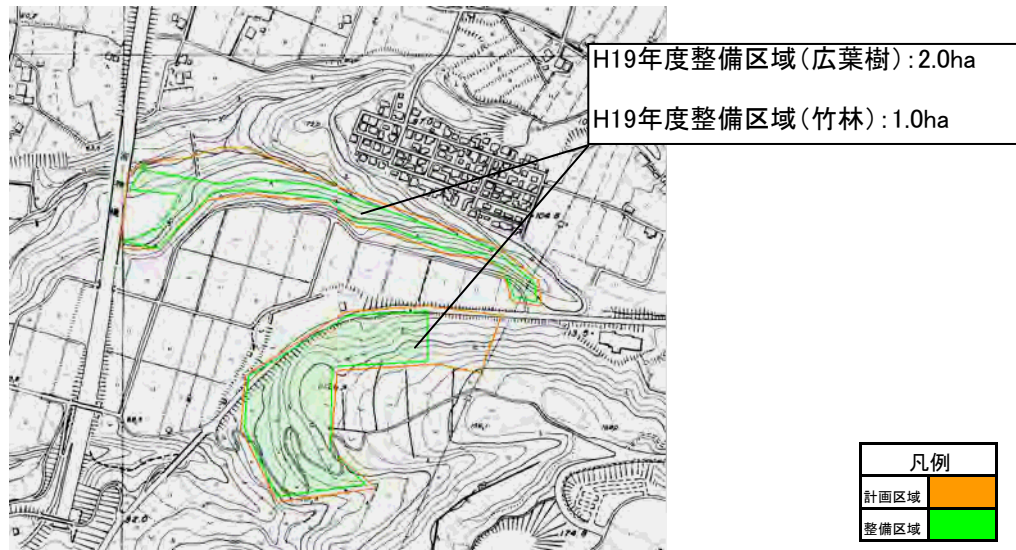
全体整備区域(広葉樹): 4.0ha  
全体整備区域(竹林): 2.0ha

凡例	
計画区域	■ (Orange)
整備区域	■ (Green)



## 年度別実施状況

平面図



実施状況写真(広葉樹整備)



整備後の状況(広葉樹)



整備後の状況(広葉樹)



整備後の状況(竹林)



整備後の状況(竹林)

特記事項

(整備の方針)

・サルによる農作物被害の軽減やクマ出没による人身被害の危険回避等、野生生物との棲み分けを図るため、林内を明るく見通しの良い里山を目指す。

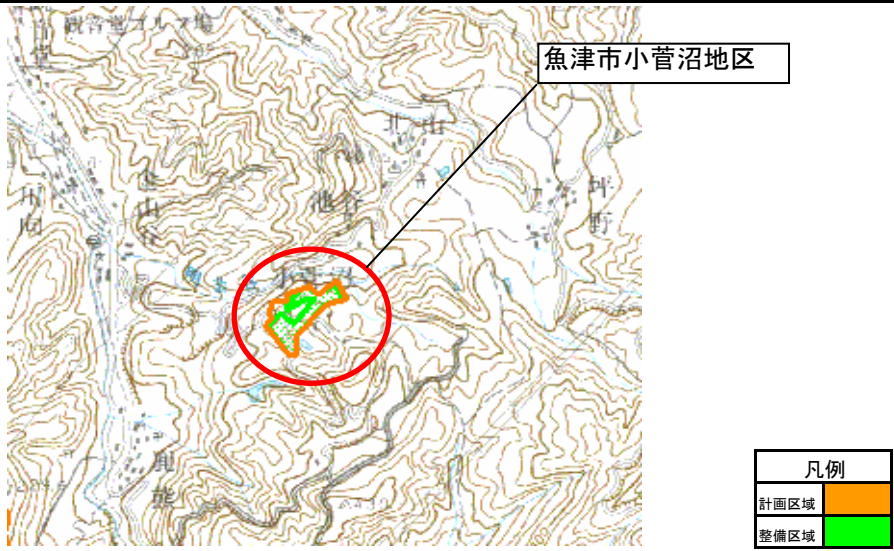
(事業の実績)

・周辺には高速道路及び広域農道が存在し、野生生物の目撃が多数寄せられている地区である。自動車との遭遇による危険を回避するため、地域住民が主体となり、林縁部等の刈り払い等を実施した。

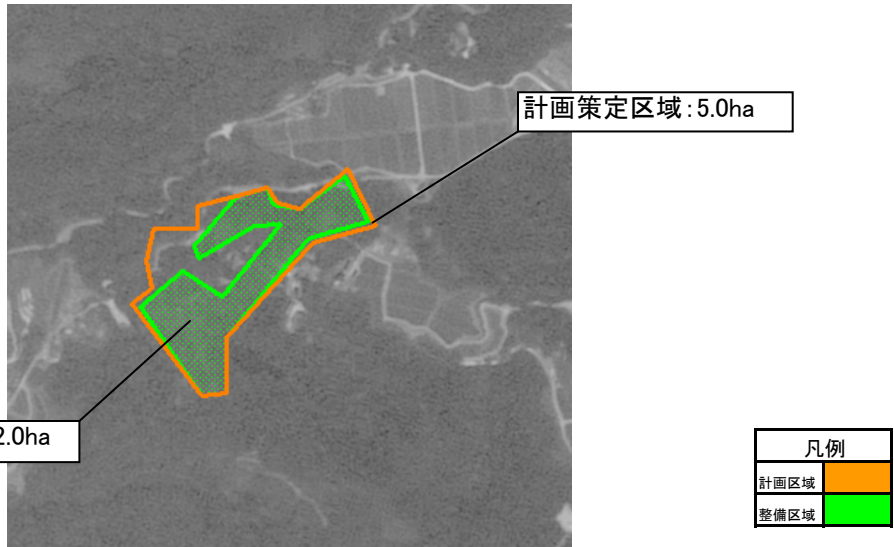
里山再生整備事業 地区別実施調書

No. 12	地区名	魚津市 小菅沼			
全体計画					
区域面積					
区 分	人工林	天然林	その他 (竹林等)	合計	
面 積	2.0ha	3.0ha	侵入竹4ha 内数	5.0ha	
整備の目的					
<p>・近年、当地区においては里山林に竹の侵入が多く見受けられ、こうした過密になった竹林を地域住民だけで整備することは不可能である。また、見通しが悪く、クマ、サル等が多く出没し人間の生活圏に侵入する一因となっていることから、放置された竹林を整備することにより野生生物の発見を早め、棲み分けを図る。</p>					
管理利用の計画					
区 分	内 容				
管 理	<p>・竹林を整備することにより見通しをよくし、野生生物との棲み分けを図るとともに生活環境保全と保険文化機能の維持増進に資する。 ・整備後の管理については、地域住民が中心となり刈払い等を実施し、環境の維持に努める。</p>				
利 用	<p>・放置された竹林を再生することにより、筍、山菜の採取など、地域住民等が山に入り活用する。</p>				
年度別事業計画					
事業期間:平成 19 年度 ~ 平成 20 年度					
年 度	全体計画	H19 計画 実績	H20 計画 実績	H21 計画 実績	備 考
管理利用計画策定	5.0ha	5.0ha 5.0ha			
里 山 林 整 備	広葉樹林等整備				
	竹林整備	2.0ha	1.0ha 1.0ha	1.0ha	モウソウチク整理50%
	被害林等整備				
	その他				
備 計	2.0ha	1.0ha 1.0ha	1.0ha		
県民参加の森づくり			1	1	
里山活用促進事業					

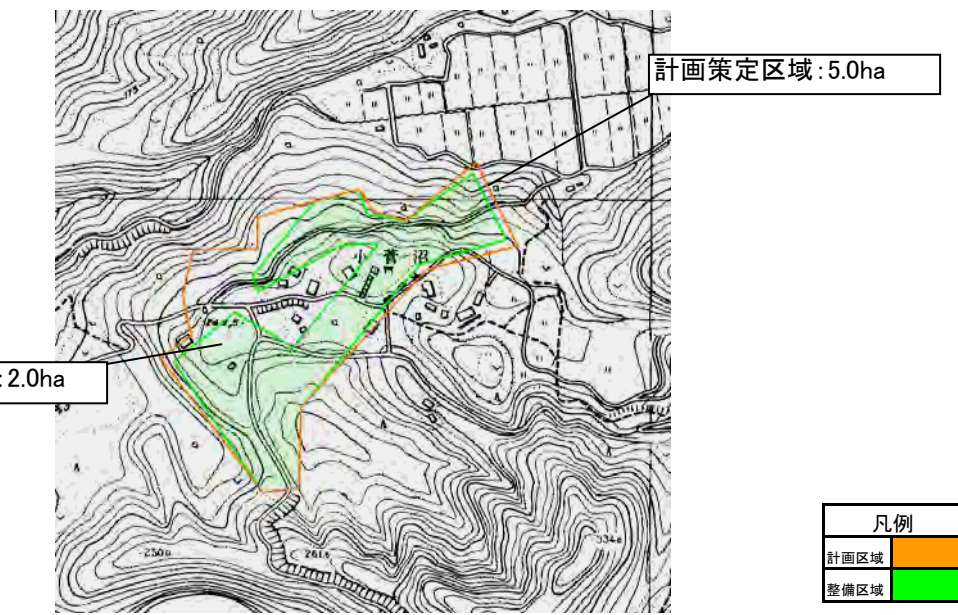
位置図



航空写真

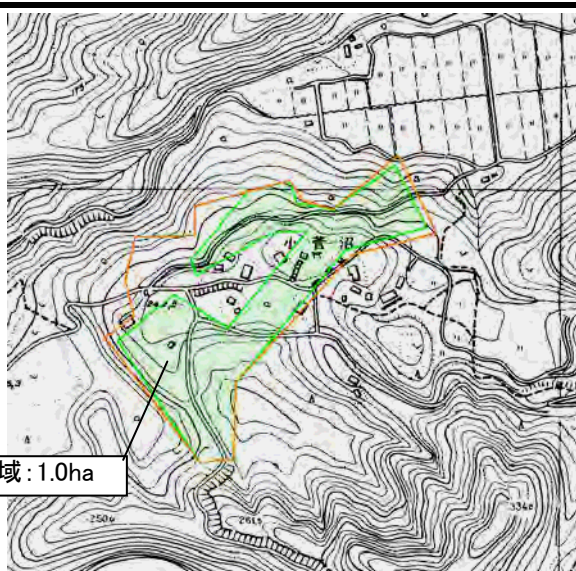


計画概要図



## 年度別実施状況

平面図



H19年度整備区域: 1.0ha

凡例	
計画区域	オレンジ
整備区域	緑

実施状況写真



整備後の状況



整備後の状況



整備後の状況

特記事項

(整備の方針)

・人工林内に侵入する竹の勢いが著しく、住民だけで駆逐することが困難になってきていることから、地域全体で侵入を防止すると同時に、野生生物との棲み分けを図るため、明るく見通しの良い竹林を目指す。

(事業の実績)

・教育委員会の所管する城址探索コースが存在する地区である。伐採により人工林内に侵入する竹の駆逐を図るとともに、野生生物との遭遇による危険を回避するため、林縁部等の刈り払い等を実

里山再生整備事業 地区別実施調書

No. 13	地区名	滑川市 東加積
--------	-----	---------

全体計画

区域面積

区 分	人工林	天然林	その他 (竹林等)	合計
面 積	1.6ha	1.9ha	0.5ha	4.0ha

整備の目的

・当地区の森林は集落境に存し連絡道が通過しているが、放置され昼なお暗い森林となっていることから、明るい森へと整備することにより、住民が安心して利用できる美しい里山にするもの。

管理利用の計画

区 分	内 容
管 理	・地域住民が主体となって、ボランティアの協力を得ながら、林縁部の定期的な刈り払いを行う。 ・管理は、整備の翌年から3年以上行う。
利 用	・地域住民等の交流の場として活用する。

年度別事業計画

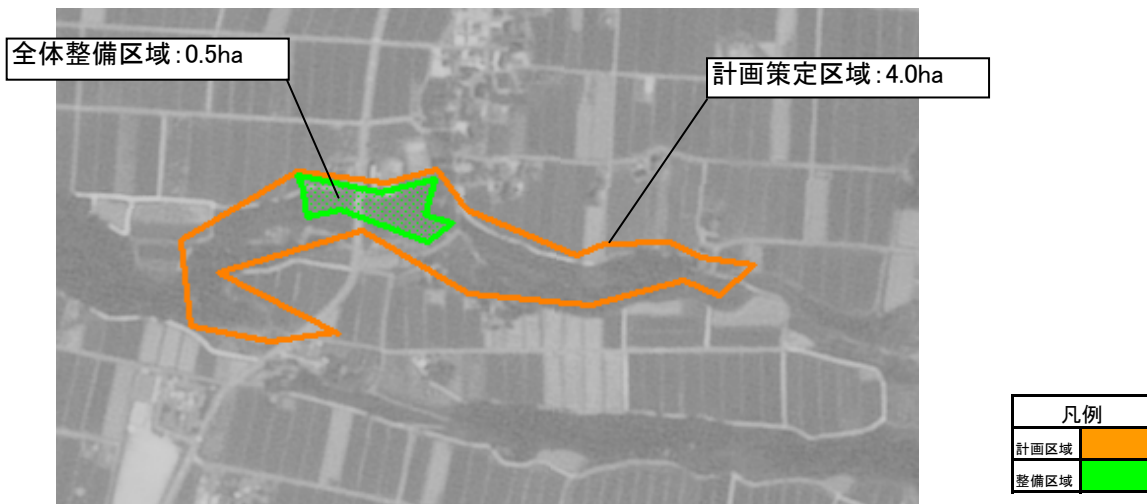
事業期間:平成 19 年度 ~ 平成 21 年度

年 度		全体計画	H19 計画 実績	H20 計画 実績	H21 計画 実績	備 考
管理利用計画策定		4.0ha	4.0ha 4.0ha	<del>4.0ha</del>	<del>4.0ha</del>	
里 山 林 整 備	広葉樹林等整備	0.5ha	0.5ha 0.5ha			整理伐 40% モウソウチク 90%
	竹林整備					
	被害林等整備					
	そ の 他					
	合 計	0.5ha	0.5ha 0.5ha			
県民参加の森づくり				1	1	
里山活用促進事業						

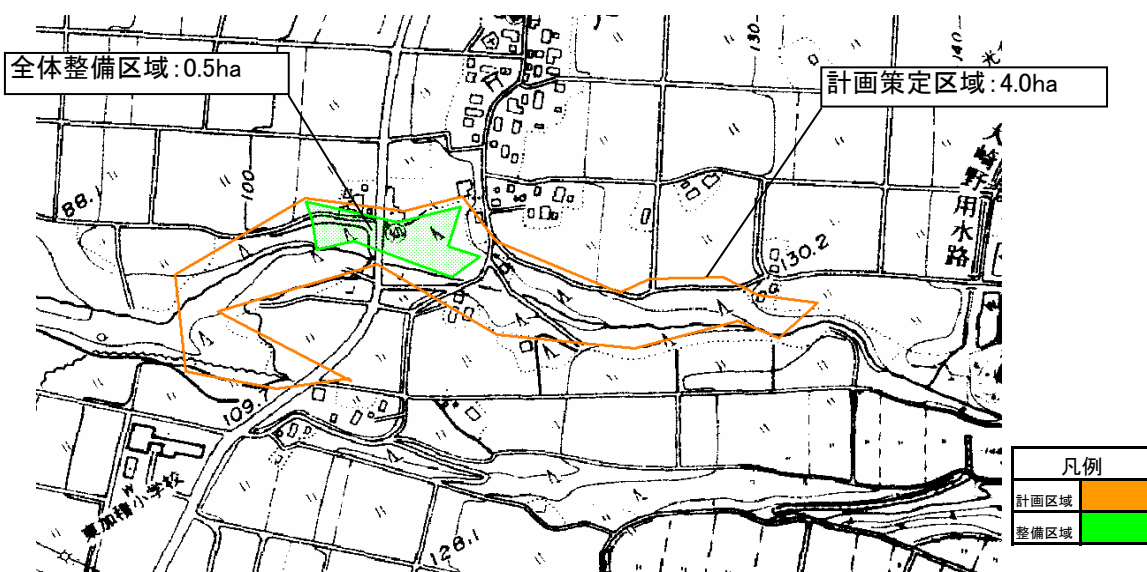
位置図



航空写真

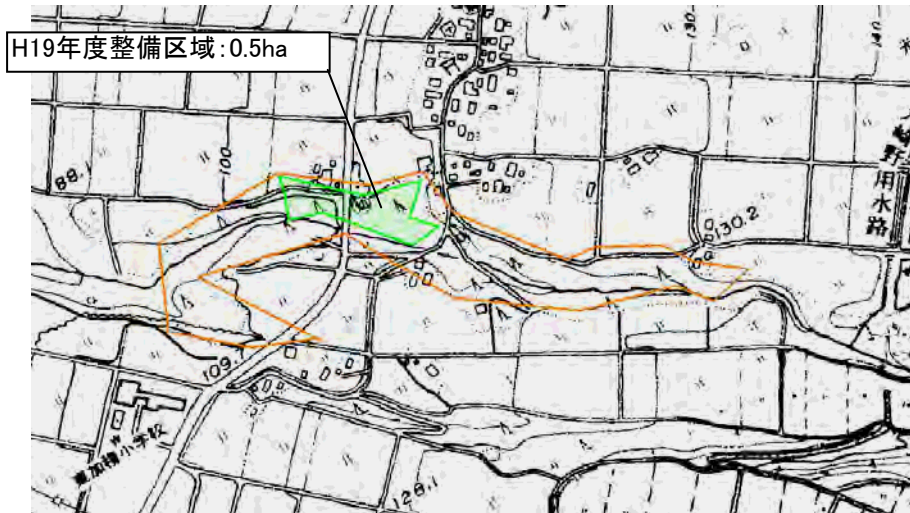


計画概要図



# 年度別実施状況

## 平面図



凡例	
計画区域	オレンジ
整備区域	緑

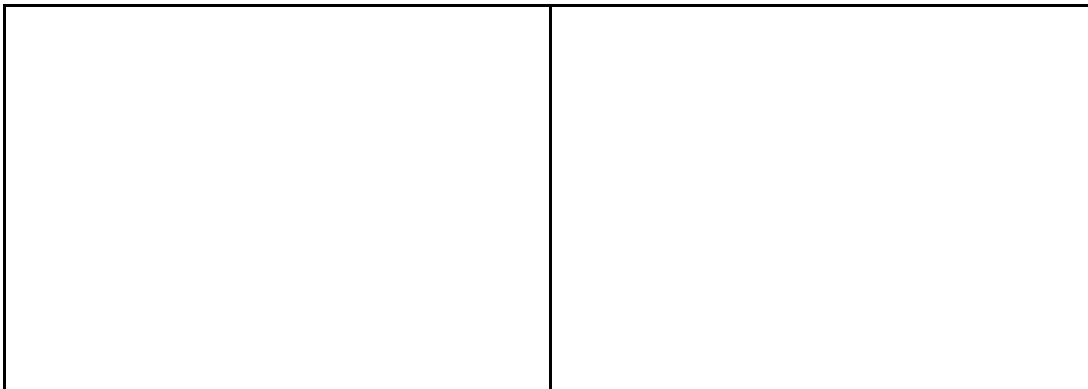
## 実施状況写真



整備後の状況



整備後の状況



## 特記事項

### (整備の方針)

・当地区の森林は集落境に存し連絡道が通過しているが、放置され昼なお暗い森林となっていることから、明るい森へと整備することにより、住民が安心して利用できる美しい里山を目指す。

### (事業の実績)

・野生生物の目撃が多数寄せられる地区であり、遭遇による危険を回避するため、地域住民が主体となり、林縁部等の刈り払い等を実施した。  
 ・その結果、野生生物のと遭遇を早期に回避できるくらいの見通しとなり、安全性が確保された。

## 里山再生整備事業 地区別実施調書

No. 14	地区名	滑川市 山加積1			
全体計画					
区域面積					
区 分	人工林	天然林	その他 (竹林等)	合計	
面 積	1.6ha	1.9ha	0.5ha	4.0ha	
整備の目的					
<p>・当地区の森林は集落境に存し連絡道が通過しているが、放置され昼なお暗い森林となっていることから、明るい森へと整備することにより、住民が安心して利用できる美しい里山にするもの。</p>					
管理利用の計画					
区 分	内 容				
管 理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民が主体となって、ボランティアの協力を得ながら、林縁部の定期的な刈り払いを行う。</li> <li>・管理は、整備の翌年から3年以上行う。</li> </ul>				
利 用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民等の交流の場として活用する。</li> </ul>				
年度別事業計画					
事業期間:平成 19 年度 ~ 平成 21 年度					
年 度	全体計画	H19 計画 実績	H20 計画 実績	H21 計画 実績	備 考
管理利用計画策定	4.0ha				
里 山 林 整 備	広葉樹林等 整備	1.0ha 1.0ha			整理伐 40%
	竹林整備	0.1ha 0.1ha			整理伐 90%
	被害林等整備				
	そ の 他				
	合 計	1.1ha	1.1ha 1.1ha		
県民参加の森づくり			1	1	
里山活用促進事業					

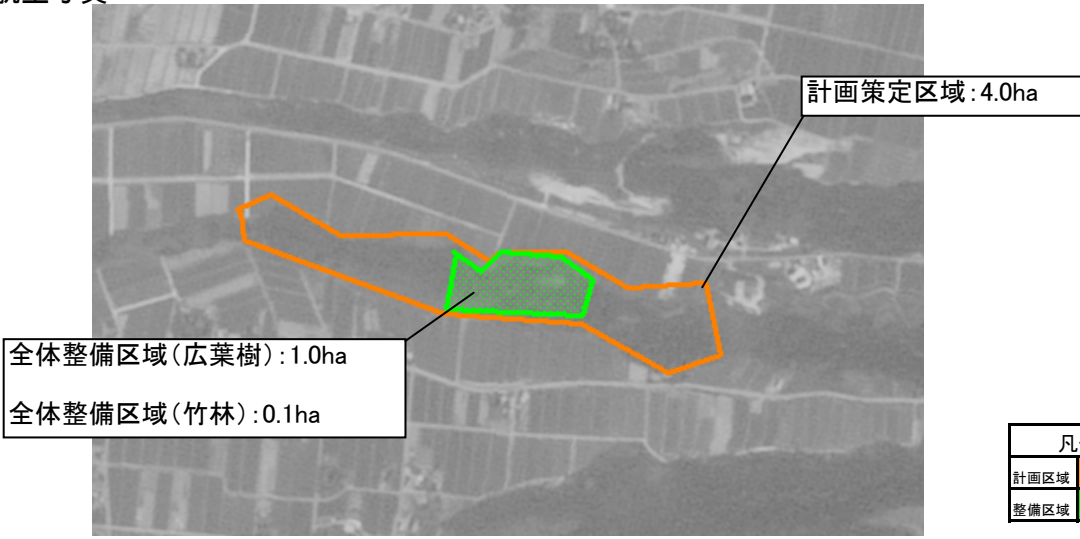


位置図



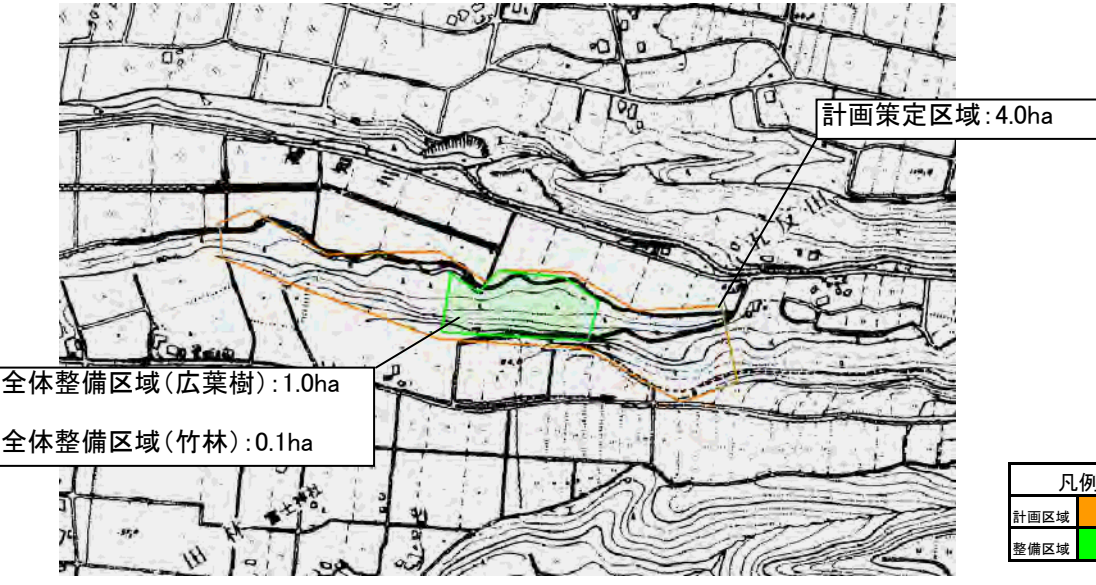
凡例	
計画区域	オレンジ
整備区域	緑

航空写真



凡例	
計画区域	オレンジ
整備区域	緑

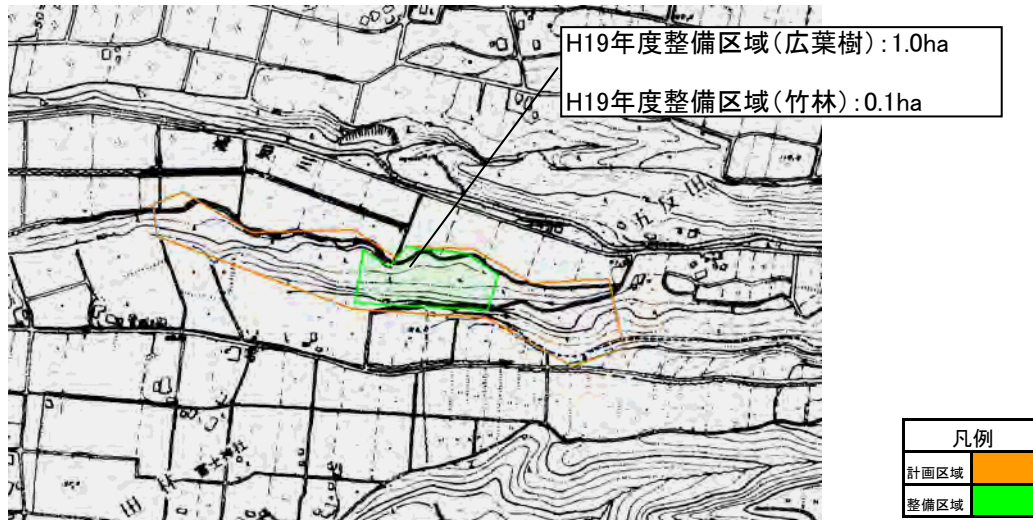
計画概要図



凡例	
計画区域	オレンジ
整備区域	緑

## 年度別実施状況

### 平面図



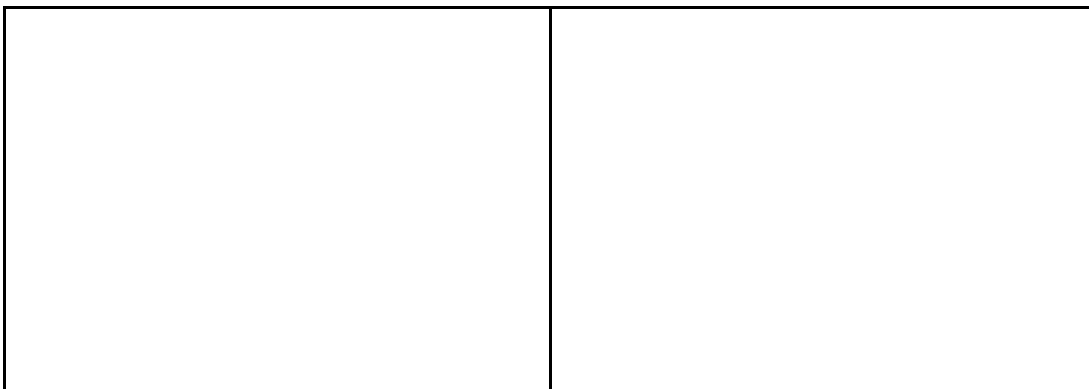
### 実施状況写真



整備後の状況(広葉樹)



整備後の状況(竹林)



### 特記事項

#### (整備の方針)

・当地区の森林は集落境に存し連絡道が通過しているが、放置され昼なお暗い森林となっていることから、明るい森へと整備することにより、住民が安心して利用できる美しい里山を目指す。

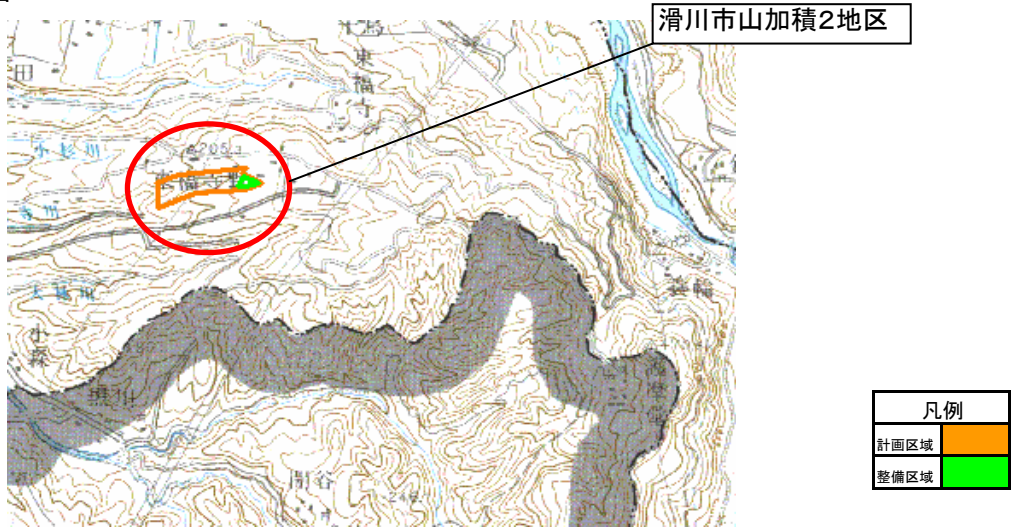
#### (事業の実績)

・野生生物の目撃が多数寄せられる地区であり、遭遇による危険を回避するため、地域住民が主体となり、林縁部等の刈り払い及び竹林の伐採整理を実施した。  
・その結果、野生生物のと遭遇を早期に回避できるくらいの見通しとなり、安全性が確保された。

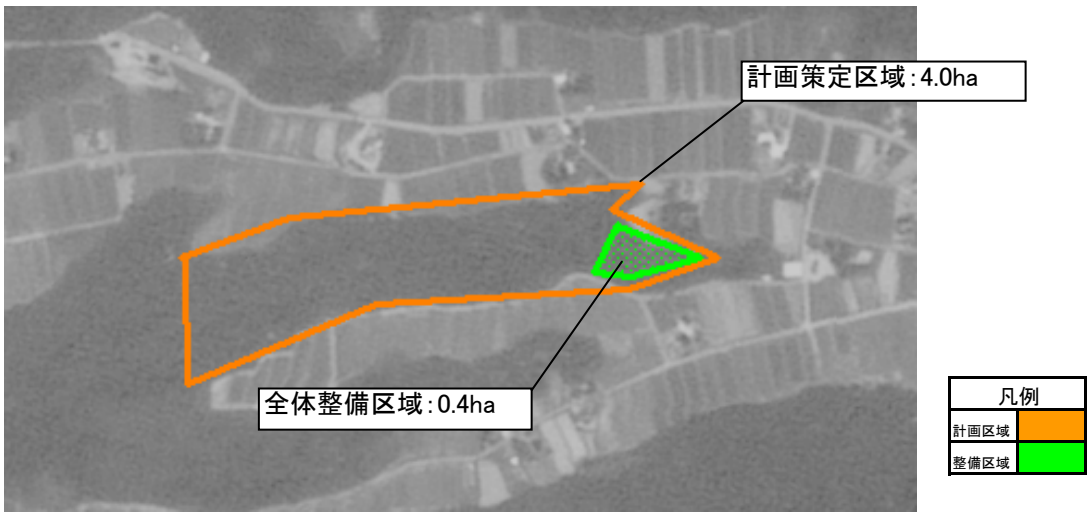
里山再生整備事業 地区別実施調書

No. 15	地区名	滑川市 山加積2			
全体計画					
区域面積					
区 分	人工林	天然林	その他 (竹林等)	合計	
面 積	0.6ha	3.3ha	0.1ha	4.0ha	
整備の目的					
<p>・当地区の森林は神社に隣接し集落に入り込む形で存しているが、放置されている状況にある。          ・このため、神社や公民館への歩道を中心に暗い森林を明るく整備することにより、美しい里山にするもの。</p>					
管理利用の計画					
区 分	内 容				
管 理	<p>・地域住民が主体となって、ボランティアの協力を得ながら、林縁部の定期的な刈り払いを行う。          ・管理は、整備の翌年から3年以上行う。</p>				
利 用	<p>・地域住民等の交流の場として活用する。</p>				
年度別事業計画					
事業期間:平成 19 年度 ~ 平成 21 年度					
年 度	全体計画	H19 計画 実績	H20 計画 実績	H21 計画 実績	備 考
管理利用計画策定	4.0ha	4.0ha 4.0ha	<del>4.0ha</del>	<del>4.0ha</del>	
里 山 林 整 備	広葉樹林等整備	0.4ha 0.4ha			整理伐 40%
	竹林整備				
	被害林等整備				
	その他				
備 計	0.4ha	0.4ha 0.4ha			
県民参加の森づくり			1	1	
里山活用促進事業					

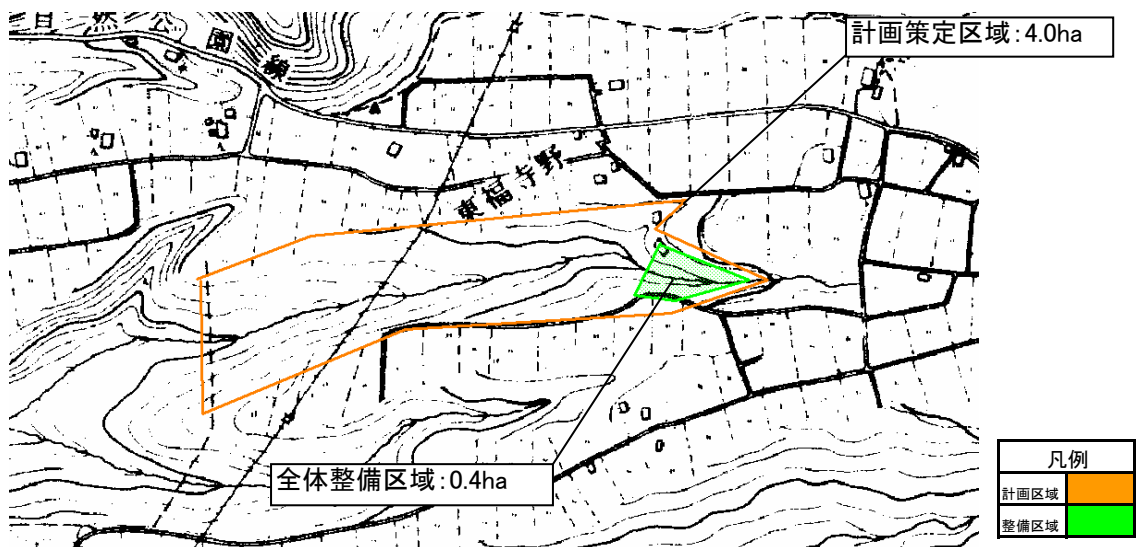
位置図



航空写真

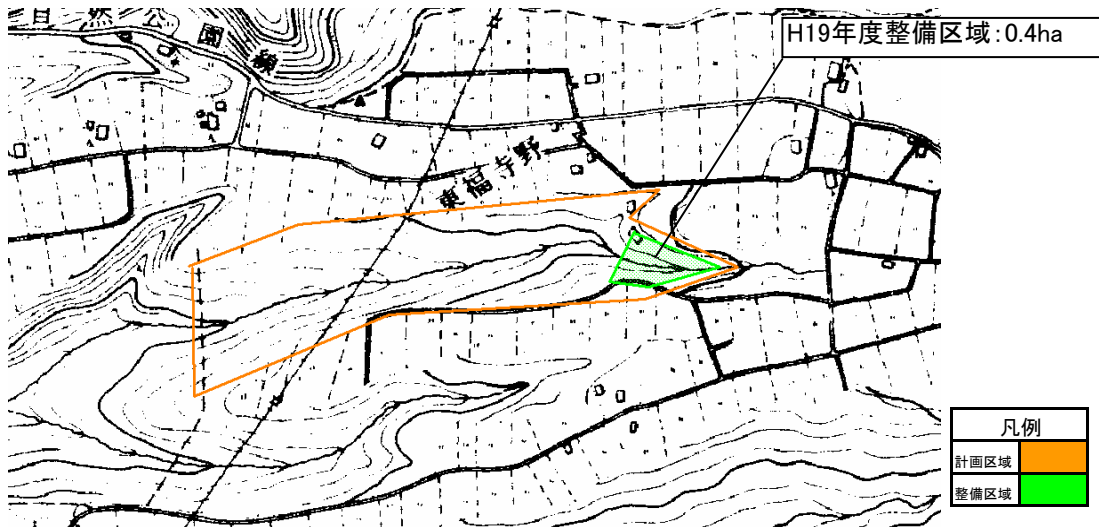


計画概要図



# 年度別実施状況

## 平面図



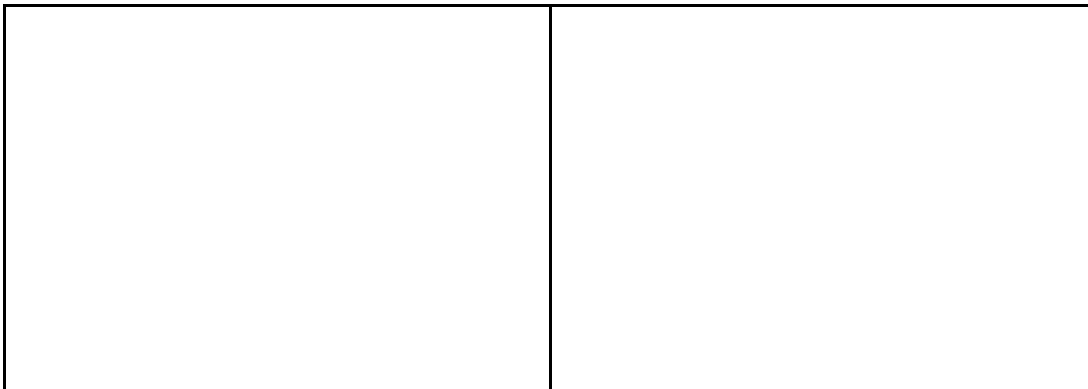
## 実施状況写真



整備後の状況



整備後の状況



## 特記事項

### (整備の方針)

・当地区の森林は神社に隣接し集落に入り込む形で存しているが、放置されている状況にあることから、神社や公民館への歩道を中心に暗い森林を明るく整備することにより、美しい里山を目指す。

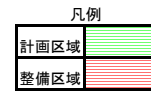
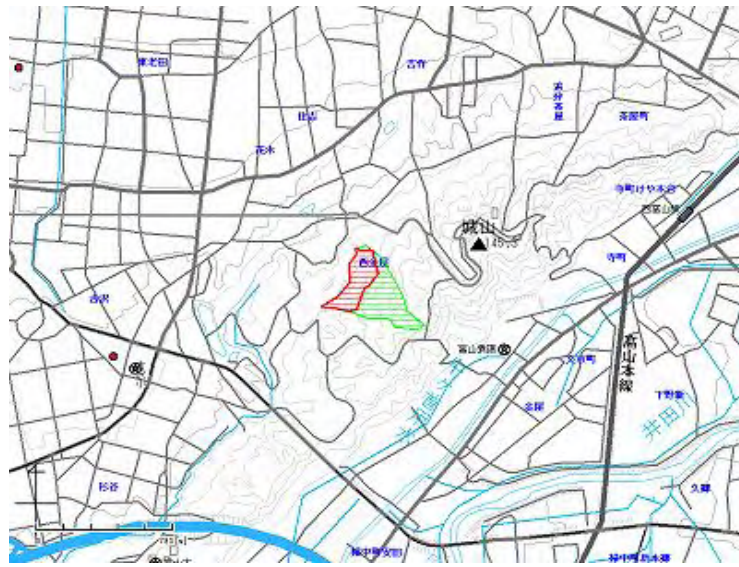
### (事業の実績)

・野生生物の目撃が多数寄せられる地区であり、遭遇による危険を回避するため、地域住民が主体となり、林縁部等の刈り払い等を実施した。  
 ・その結果、野生生物のと遭遇を早期に回避できるくらいの見通しとなり、安全性が確保された。

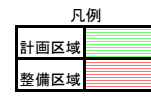
里山再生整備事業 地区別実施調書

No. 16	地区名	富山市 西金屋			
全体計画					
区域面積					
区 分	人工林	天然林	その他 (竹林等)	合計	
面 積	0.5ha	11.7ha	4.9ha (重複あり)	13.0ha	
整備の目的					
・放置され拡大した竹林を整理し、跡地に広葉樹を植えるなどして、美しい里山の姿を取り戻す。					
管理利用の計画					
区 分	内 容				
管 理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・里山整備の跡地は、地域住民が主体となって、ボランティアの協力のもと、林縁部の定期的な刈り払いを行う。</li> <li>・竹林の伐採跡地には、地域住民が主体となって広葉樹を植栽し、ボランティアの協力のもと、再発生した筍の除去や植栽木周辺の下刈を行う。</li> <li>・管理は、整備の翌年から3年以上行う。</li> </ul>				
利 用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伐採した木竹については、地域とボランティアの交流イベントなどで活用する。</li> </ul>				
年度別事業計画					
事業期間:平成 19年度 ~ 平成 21年度					
年 度	全体計画	H19 計画 実績	H20 計画 実績	H21 計画 実績	備 考
管理利用計画策定	13.0ha	13.0ha 13.0ha	<del>13.0ha</del>	<del>13.0ha</del>	
里 山 林 整 備	広葉樹林等整備				
	竹林整備	4.9ha	1.0ha 1.0ha	2.4ha 2.4ha	1.5ha 1.5ha
	被害林等整備				
	そ の 他				
	合 計	4.9ha	1.0ha 1.0ha	2.4ha 2.4ha	1.5ha 1.5ha
県民参加の森づくり			1	1	
里山活用促進事業					

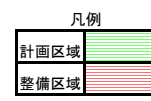
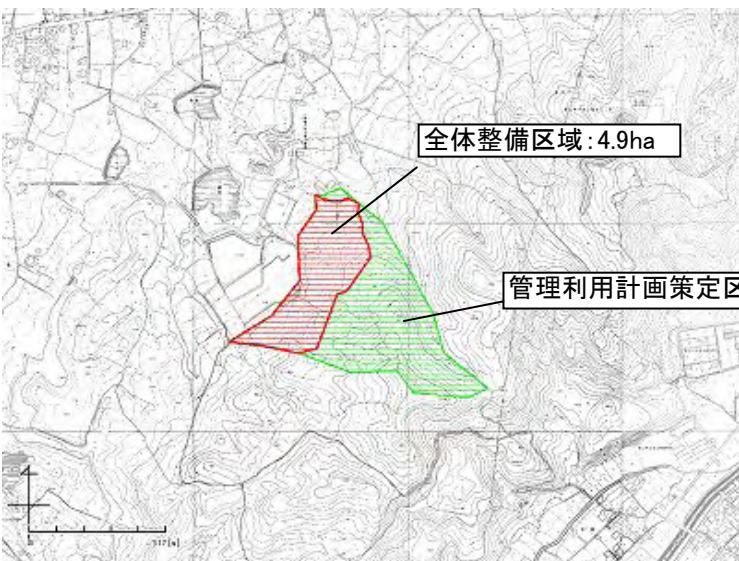
位置図



航空写真

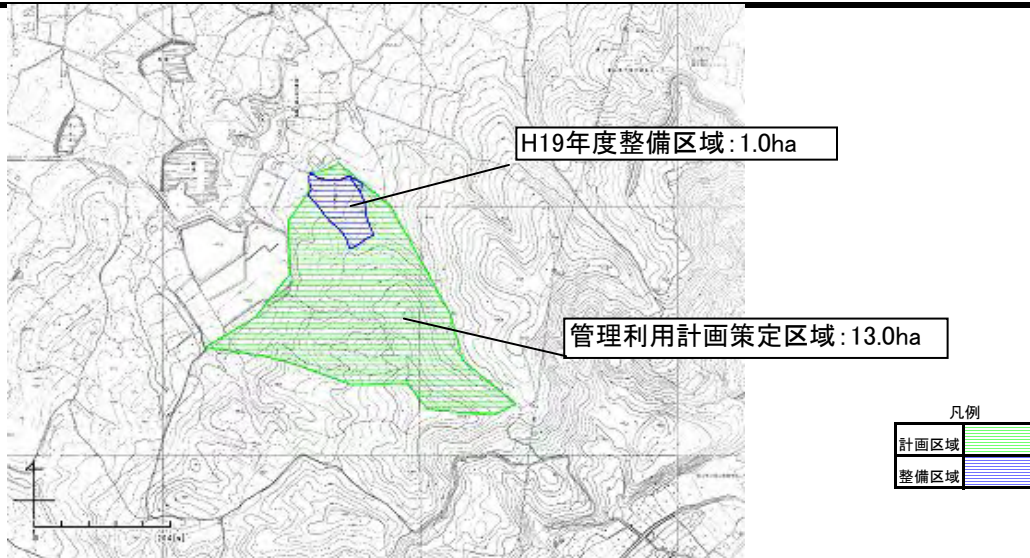


計画概要図



# 年度別実施状況

## 平面図



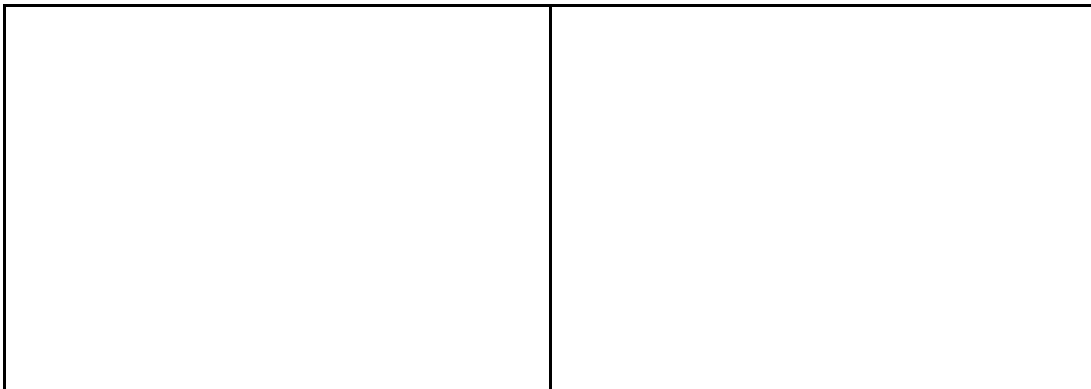
## 実施状況写真



事業PR看板



整備後の状況



## 特記事項

(整備の方針)

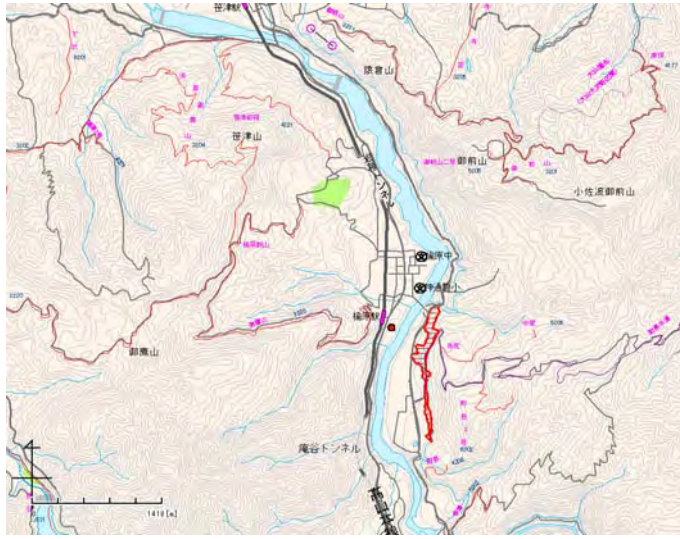
・タケノコ採取を目的とした竹林整備を行い、100m<sup>2</sup>あたり15本程度の竹を残すよう整備した。



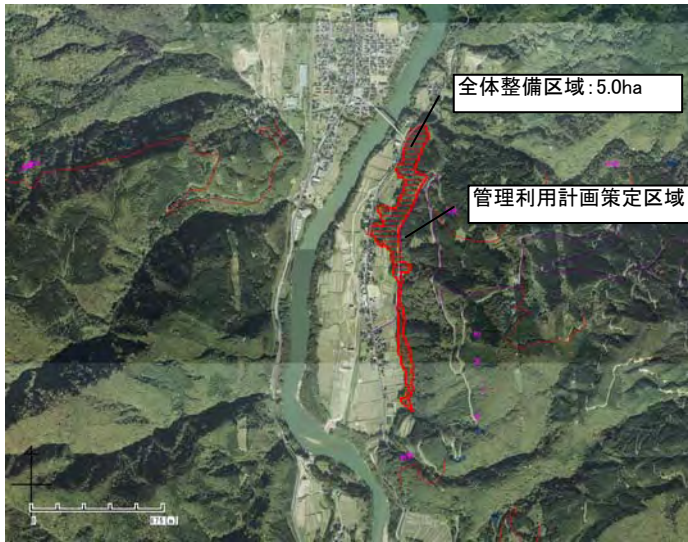
## 里山再生整備事業 地区別実施調書

No. 17	地区名 富山市 下夕北部				
全体計画					
区域面積					
区 分	人工林      天然林      その他 (竹林等)      合計				
面 積	2.0ha      1.6ha      1.4ha (重複あり)      5.0ha				
整備の目的					
<p>当地区では、クマの出没があるため、家→田・畑→山という地形から田畑と山の境の森林を整備し、遠くからでも有害動物を確認できるようにする。</p> <p>手入れの行き届かない竹林を整理し、明るい竹林を目指す。また、広葉樹林は、有害動物を目視できるように整備する。</p>					
管理利用の計画					
区 分	内 容				
管 理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・里山整備の跡地は、地域住民が主体となって、ボランティアの協力のもと、林縁部の定期的な刈り払いを行う。</li> <li>・竹林の整備跡地には、地域住民が主体となって再発生した筍の除去などをする。</li> <li>・管理は、整備の翌年から3年以上行う。</li> </ul>				
利 用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伐採した竹については、農作物の市中に使用したり、炭や薪の材料とし、地域とボランティアの交流などで活用する。</li> </ul>				
年度別事業計画					
事業期間:平成 19年度 ~ 平成 21年度					
年 度	全体計画	H19 計画 実績	H20 計画 実績	H21 計画 実績	備 考
管理利用計画策定	5.0ha	5.0ha	5.0ha	5.0ha	
里 山 林 整 備	広葉樹林等整備	1.6ha		1.6ha	
	竹林整備	1.9ha	1.3ha 1.3ha	0.6ha	
	被害林等整備				
	そ の 他				
	合 計	3.5ha	1.3ha 1.3ha	2.2ha	
県民参加の森づくり	2年		1	1	
里山活用促進事業					

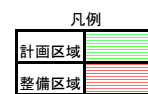
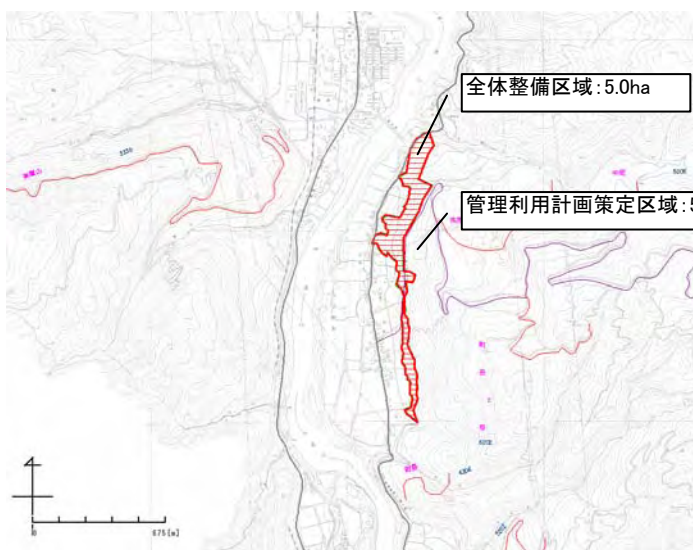
位置図



航空写真

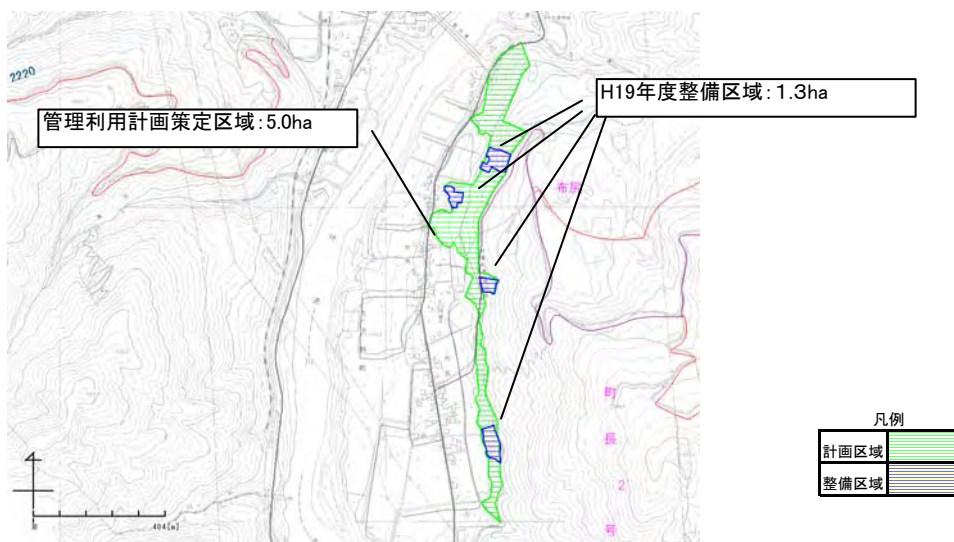


計画概要図



## 年度別実施状況

### 平面図



### 実施状況写真



事業PR看板



整備後の状況



整備後の状況

### 特記事項

#### (整備の方針)

・人家裏の放置竹林は、ha当り7000本以上の密度で成立していたが、見通しを得るため、70%以上の伐採を実施し、成立本数をha当り約2000本程度とし、明るい竹林を目指すことで、竹林の拡大防止と見通しが確保された。

#### (事業の実績)

・整備後の状況については、地域住民から好評を得ており、地域の景観及び有害動物が目視できる、明るく親しみの持てる里山となった。

里山再生整備事業 地区別実施調書

No. 18 地区名 富山市 文殊寺

全体計画

区域面積

区 分	人工林	天然林	その他 (竹林等)	合計
面 積		3.5ha	0.7ha	4.2ha

整備の目的

・拡大している竹林を整理し、跡地に広葉樹を植えたり、放置されたままの里山を美しい里山に復元する。

管理利用の計画

区 分	内 容
管 理	・里山整備の跡地は地域住民が主体となって、ボランティアの協力のもと、林縁部の定期的な刈払いを行う。 ・竹林の伐採跡地には、地域住民と地元児童が主体となって広葉樹を植栽し、タケノコの除去や植栽木周辺の下刈りを行う。
利 用	・伐採した木材については、地元住民の児童と、シイタケ栽培イベントなどで活用する。 ・地元児童達の花木又は樹木の植栽や、野鳥の巣箱かけなど総合学習の場として活用する。

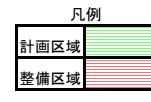
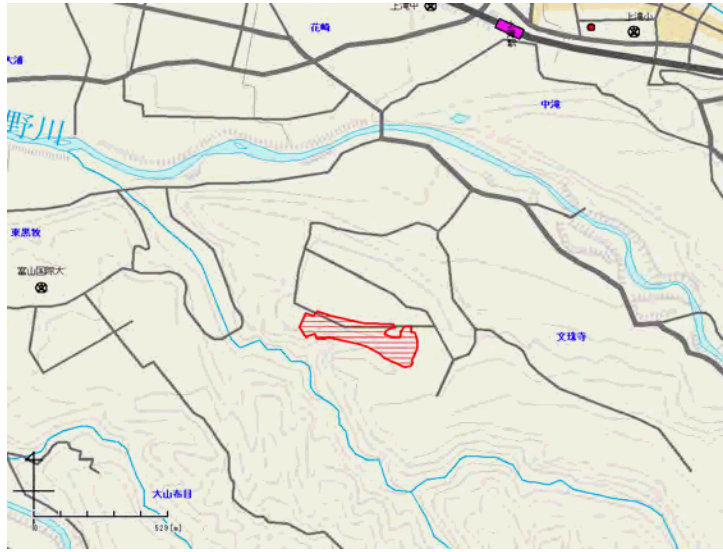
年度別事業計画

事業期間:平成 19 年度 ~ 平成 21 年度

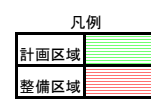
年 度	全体計画	H19	H20	H21	備 考
		計画 実績	計画 実績	計画 実績	
管理利用計画策定	4.2ha	4.2ha 4.2ha	<del>4.2ha</del>	<del>4.2ha</del>	
里 山 林 整 備	広葉樹林等整備	3.5ha	0.3ha 0.3ha	1.6ha 1.6ha	
	竹林整備	0.7ha	0.7ha 0.7ha		
	被害林等整備				
	そ の 他				
	合 計	4.2ha	1.0ha 1.0ha	1.6ha	1.6ha
県民参加の森づくり	3年	1 31名(4)	1	1	参加実績人数
里山活用促進事業					

※県民参加の森づくりの参加人数のうち、( )内は地域住民以外のボランティアの参加人数

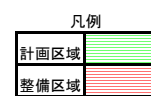
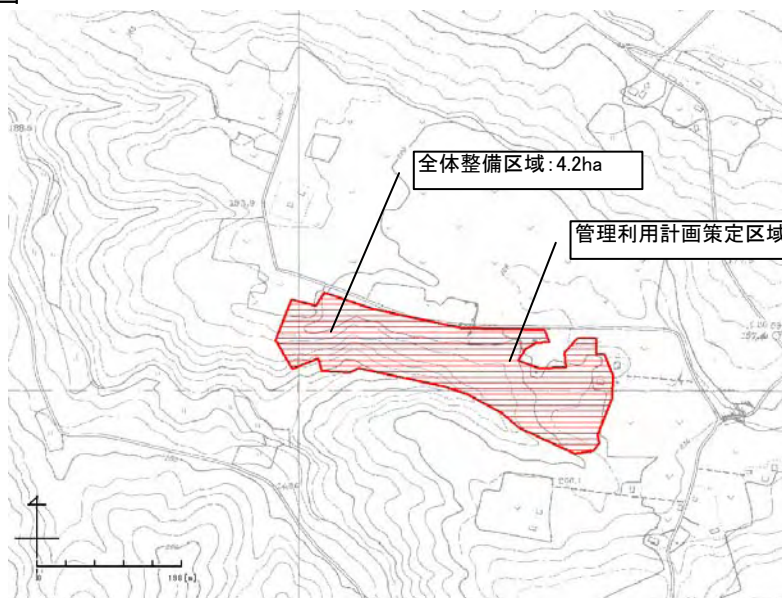
位置図



航空写真

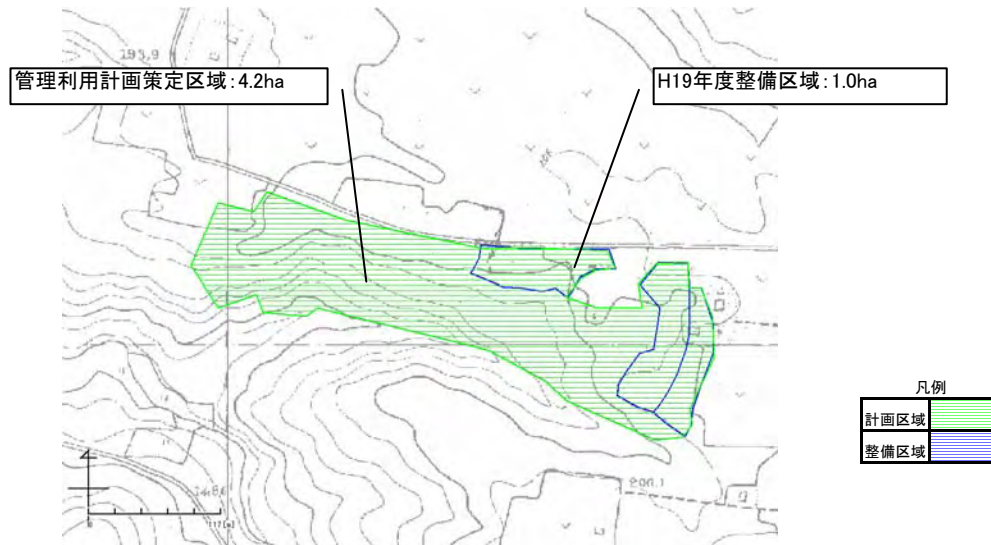


計画概要図



## 平成19年度実施状況

### 平面図



### 実施状況写真



### 特記事項

- ・広葉樹林については、林内の見通しを高めるため、伐採率40%程度の整理伐を実施した。伐採した広葉樹のうちコナラはシイタケのほだ木として利用した。竹林については、竹を駆逐するため、皆伐した。
- ・整備後の状況については、地域住民からも好評を得ており、県民参加の森づくり関連イベント以外にも、住民独自の森林整備が行われた。

里山再生整備事業 地区別実施調書

No. 19 地区名 富山市 角間

全体計画

区域面積

区分	人工林	天然林	その他 (竹林等)	合計
面積	2.6ha	8.2ha		10.8ha

整備の目的

かつては薪炭林であり、近年、放置されてきた広葉樹林の整備を行い、誰もが親しみの持てる明るい里山林の育成を目指す。  
また、歩道の整備や整理伐により、現地に自生している「カタクリ」の群落を保護・育成し、人と自然が共生する森づくりを行う。

管理利用の計画

区分	内容
管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・里山整備の跡地は、地域住民が主体となって、ボランティアの協力のもと、歩道や林縁部等を定期的に刈り払う。</li> <li>・樹木が病害虫被害などで枯損した場所には、必要に応じて地域住民が主体となって広葉樹を植栽・育成する。</li> <li>・管理は、整備の翌年から3年以上行う。</li> </ul>
利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・里山整備地では、地域とボランティアの交流イベントなどで活用する。</li> </ul>

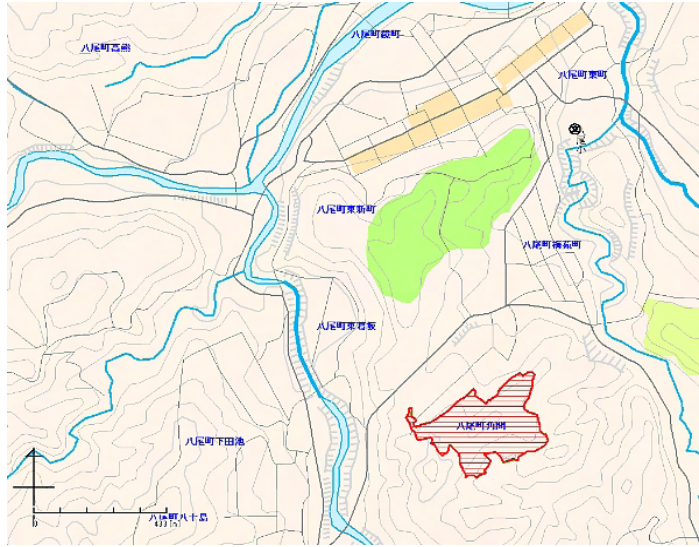
年度別事業計画

事業期間：平成 19 年度 ～ 平成 21 年度

年度	全体計画	H19	H20	H21	備考
		計画 実績	計画 実績	計画 実績	
管理利用計画策定	10.8ha	10.8ha 10.8ha	<del>10.8ha</del>	<del>10.8ha</del>	
里山整備	広葉樹林等整備	8.3ha 3.8ha	2.5ha	2.0ha	
	竹林整備				
	被害林等整備				
	その他	(1,045m) (1,045m)			作業歩道開設
	合計	8.3ha 3.8ha	2.5ha	2.0ha	
県民参加の森づくり	3年	1 27名(15)	1	1	参加人数実績
里山活用促進事業					

※県民参加の森づくりの参加人数のうち、( )内は地域住民以外のボランティアの参加人数

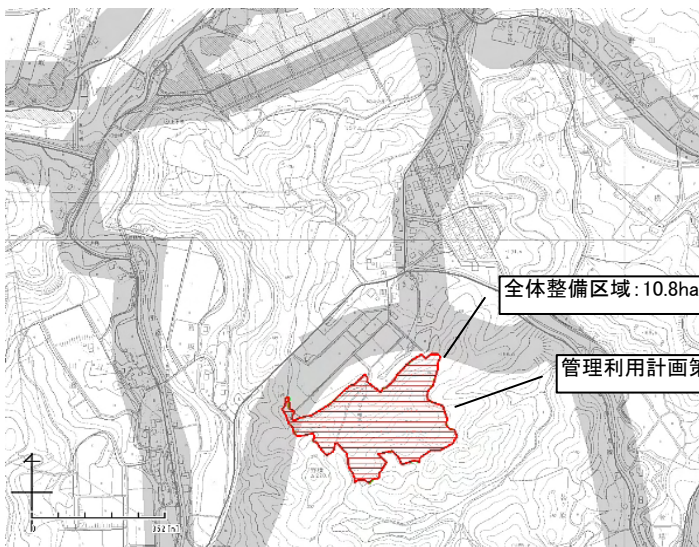
位置図



航空写真



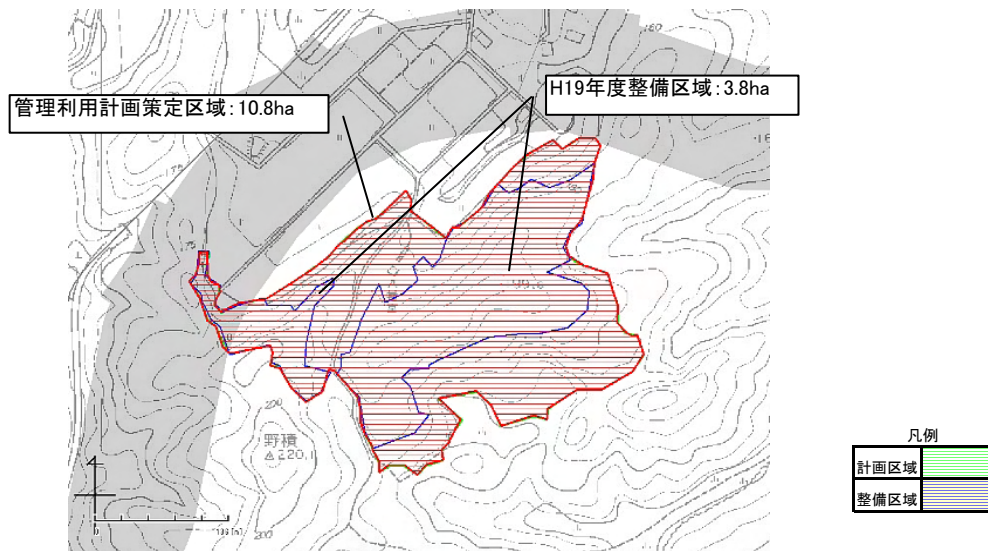
計画概要図





## 年度別実施状況

### 平面図



### 実施状況写真



事業PR看板



整備後の状況



整備後の状況(カタクリの開花: H20.4)



県民参加の森づくり(伐採木等整理)

### 特記事項

#### (整備の方針)

- ・林内の灌木・低木類のほか、小径級木を中心に40%程度の整理伐を実施する。

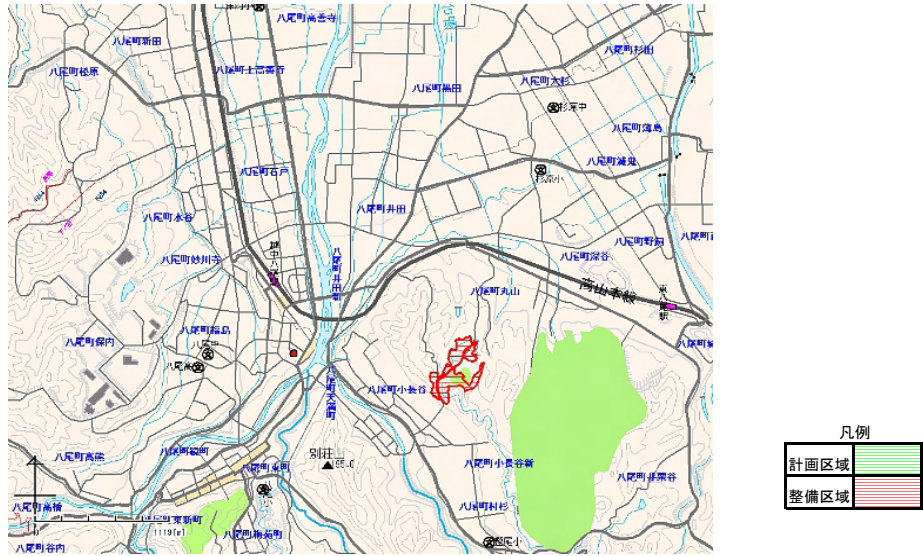
#### (事業の実績)

- ・森林の整備後、地域住民とボランティアの協働による森づくり活動が実施され、交流が図られた。また、今春のカタクリの開花が、かつてない規模であったため、地域住民など現地を訪れる人々から好評を得ている。

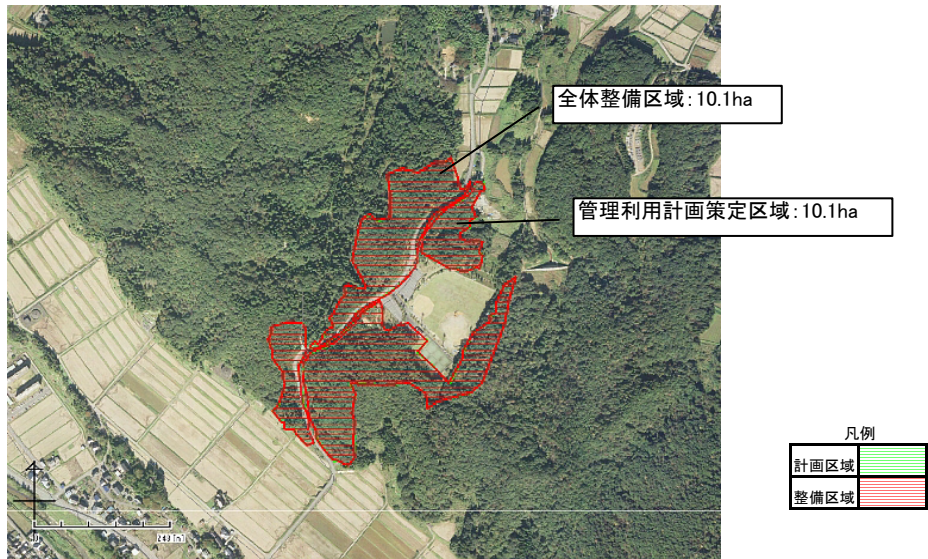
## 里山再生整備事業 地区別実施調書

No.	20	地区名 富山市 井田			
全体計画					
区域面積					
区 分	人工林	天然林	その他 (竹林等)	合計	
面 積	0.6ha	9.3ha	0.2ha	10.1ha	
整備の目的					
パインパーク周辺及び市道沿いの広葉樹林の整備を行い、熊対策として見通しよく、明るく親しみの持てる森林に整備し、美しい里山の姿を取り戻す。					
管理利用の計画					
区 分	内 容				
管 理	・里山整備の跡地は、地域住民や公園利用者が主体となって、ボランティアの協力のもと、林縁部等の定期的な刈り払いを行う。 ・管理は、整備の翌年から3年以上行う。				
利 用	・地域とボランティアの交流イベントなどで活用する。				
年度別事業計画					
事業期間:平成 19 年度 ~ 平成 21 年度					
年 度	全体計画	H19 計画 実績	H20 計画 実績	H21 計画 実績	備 考
管理利用計画策定	10.1ha	10.1ha	<del>10.1ha</del>	<del>10.1ha</del>	
里 山 林 整 備	広葉樹林等 整備	7.6ha	4.5ha	3.1ha	
	竹 林 整 備				
	被害林等整備				
	そ の 他				
	合 計	7.6ha	4.5ha	3.1ha	
県民参加の森づくり	2年		1	1	
里山活用促進事業					

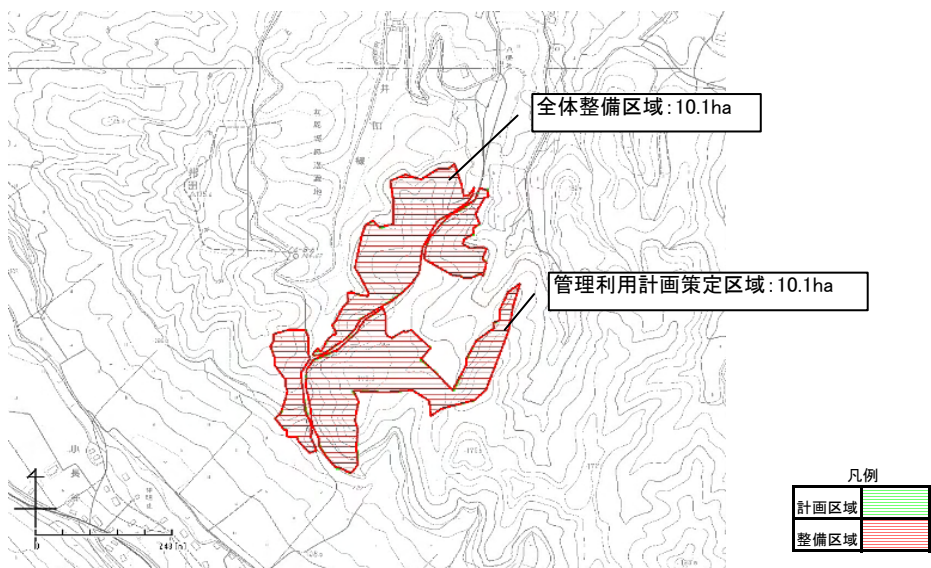
位置図



航空写真

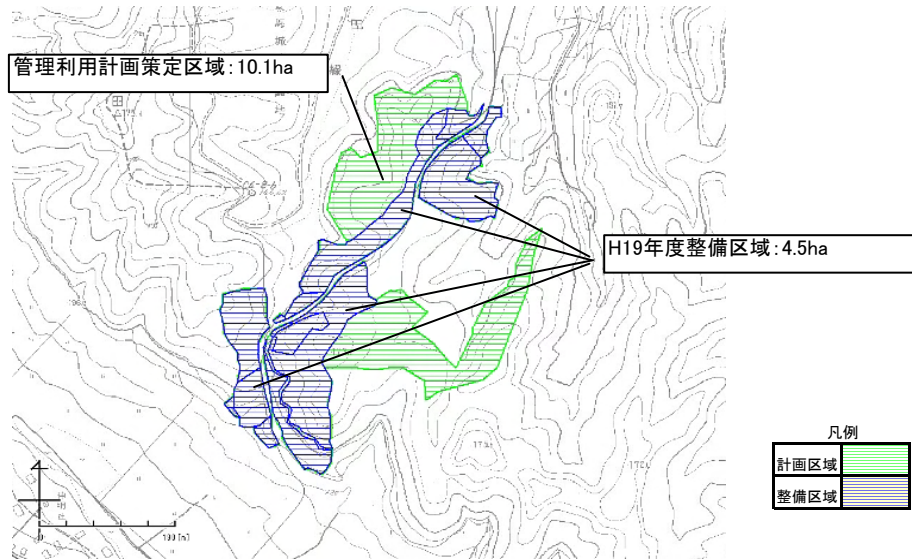


計画概要図



## 年度別実施状況

### 平面図



### 実施状況写真



事業PR看板



整備後の状況



整備後の状況

### 特記事項

#### (整備の方針)

・林内の灌木・低木類のほか、小径級木を中心に40%程度の整理伐を実施する。

#### (事業の実績)

・パインパークの総合グラウンドなどの施設利用者からは、「隣接する森林がスッキリと整備されたことから、公園自体が明るくなった」など好評を得ており、地域住民からも「熊が茂みに潜んでいないことが確認できる、明るく、親しみの持てる里山となった。」との声が寄せられている。

里山再生整備事業 地区別実施調書

No. 21 富山市 大瀬谷

全体計画

区域面積

区 分	人工林	天然林	その他 (竹林等)	合計
面 積	5.4ha	9.6ha	0.6ha (重複あり)	13.0ha

整備の目的

- ・県道沿いの放置され拡大した竹林を整理し、跡地に広葉樹を植えるなどして、美しい里山の姿を取り戻す。
- ・広葉樹林の整備を行い、明るく親しみの持てる里山、かつ野生動物とのすみわけができる里山を目指す。

管理利用の計画

区 分	内 容
管 理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・里山再生整備の跡地は、地域住民が主体となって、ボランティアの協力のもと、作業歩道の定期的な刈り払いを行う。</li> <li>・竹林の伐採跡地は、地域住民が主体となって、ボランティアの協力のもと、再発生した筍の除去や広葉樹の植栽を行う。</li> <li>・管理は整備の翌年から3年以上行う。</li> </ul>
利 用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・作業歩道を利用し、明るくなった林内の散策を行う。</li> <li>・里山再生整備箇所は、ボランティア団体や企業へ積極的に、活動の場所として提供していく。木材に</li> <li>・伐採した木材については、炭や薪等の材料として、地域とボランティアの交流イベント等で活用する。</li> <li>・里山活用促進で設置する炭窯を利用し、炭焼き体験イベント等を開催する。</li> </ul>

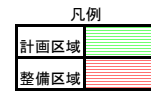
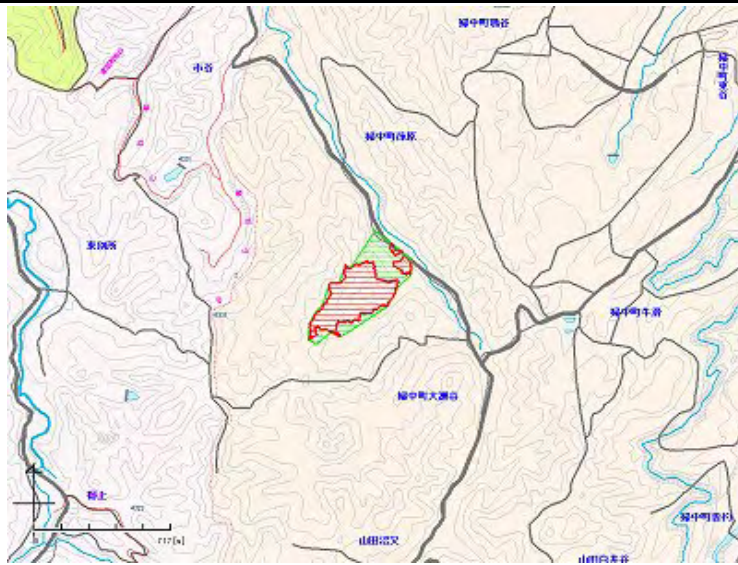
年度別事業計画

事業期間: 平成 19 年度 ~ 平成 21 年度

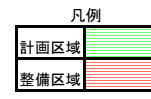
年 度	全体計画	H19	H20	H21	備 考
		計画 実績	計画 実績	計画 実績	
管理利用計画策定	13.0ha	13.0ha 13.0ha	<del>13.0ha</del>	<del>13.0ha</del>	
里 山 林 整 備	広葉樹林等整備	9.0ha 6.2ha	2.8ha		
	竹林整備	0.6ha 0.6ha			
	被害林等整備				
	その他	歩道開設 1,500m	1,000m 1,000m	500m	
	合 計	9.6ha	6.8ha 6.8ha	2.8ha	
県民参加の森づくり		1 50名(34)	1	1	住民等の参加 実績
里山活用促進事業	炭窯1基			1	

※県民参加の森づくりの参加人数のうち、( )内は地域住民以外のボランティアの参加人数

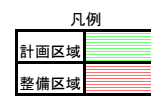
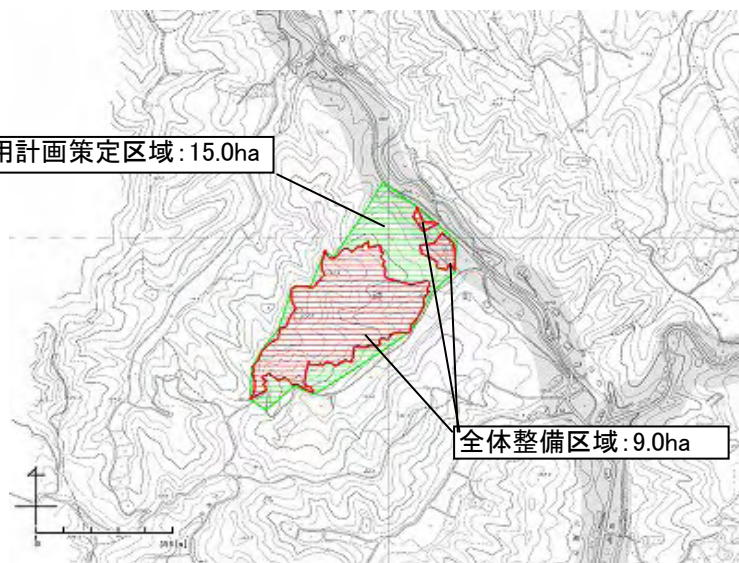
位置図



航空写真



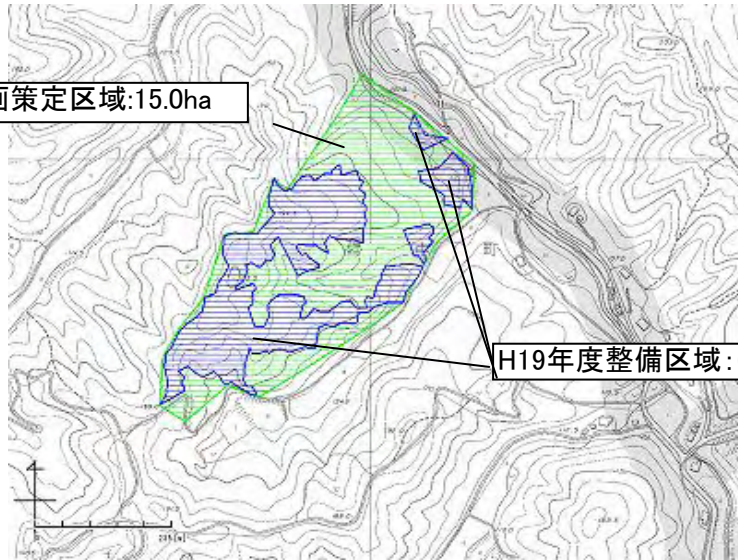
計画概要図



## 年度別実施状況

### 平面図

管理利用計画策定区域:15.0ha



H19年度整備区域:6.8ha

凡例

計画区域	
整備区域	

### 実施状況写真



事業PR看板(竹林整備箇所)



整備後の状況(広葉樹林整備)



県民参加の森づくりイベント(ほだ木づくり)



県民参加の森づくりイベント(森林観察)

### 特記事項

#### (整備の方針)

竹林については、拡大防止に努めるとともに筍の採取も管理しながら整備を継続する。  
広葉樹林では、森林内でのレクリエーション利用を目的に動物とのすみわけも考慮しながら見通しのよい森づくりを行う。歩道の整備と管理も併せて行う。

#### (事業の実績)

平成19年度では、竹林整備と広葉樹林整備を実施。県民参加の森づくり事業として広葉樹林整備での残材を利用してのほだ木づくりや整備森林内での散策を実施した。

里山再生整備事業 地区別実施調書

No. 22 地区名 富山市 湯

全体計画

区域面積

区 分	人工林	天然林	その他 (竹林等)	合計
面 積	6.2ha	7.2ha	0.4ha (重複あり)	13.5ha

整備の目的

・放置され、拡大した竹林を整理し、跡地に広葉樹を植えるなどして、美しい里山の姿を取り戻す。  
 ・広葉樹林の整備を行い、集落付近でのクマ出没を防ぐと共に明るく親しみの持てる里山を目指す。

管理利用の計画

区 分	内 容
管 理	・里山整備の跡地は、地域住民が主体となって、ボランティアの協力のもと、林縁部の定期的な刈り払いを行う。 ・竹林の伐採跡地には、地域住民が主体となって広葉樹を植栽し、ボランティアの協力のもと、再発生した筍の除去や植栽木周辺の下刈を行う。
利 用	・伐採した木竹については、地域とボランティアの交流イベントなどで活用する。

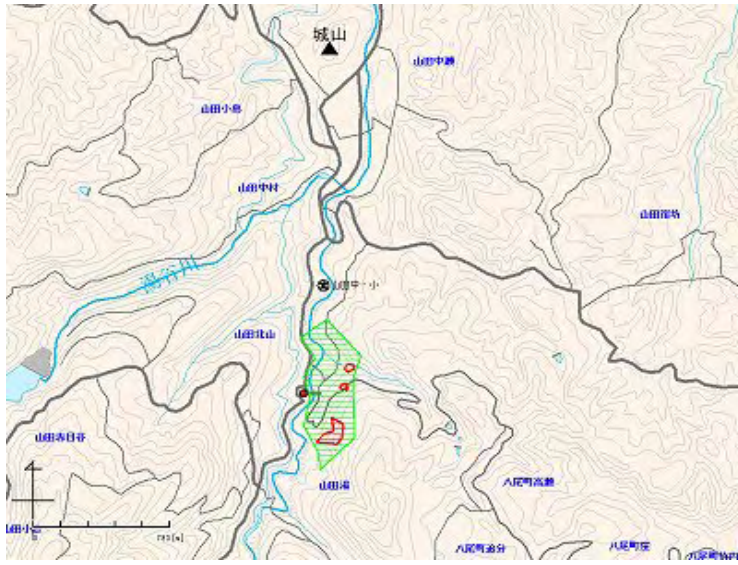
年度別事業計画

事業期間: 平成 19 年度 ~ 平成 21 年度

年 度	全体計画	H19 計画 実績	H20 計画 実績	H21 計画 実績	備 考
管理利用計画策定	13.5ha	13.5ha 13.5ha	<del>13.5ha</del>	<del>13.5ha</del>	
里 山 林 整 備	広葉樹林等整備	0.2ha 0.2ha	0.4ha	0.4ha	
	竹林整備		0.2ha	0.1ha	
	被害林等整備				
	そ の 他				
	合 計		0.2ha 0.2ha	0.6ha	0.5ha
県民参加の森づくり			1	1	
里山活用促進事業					



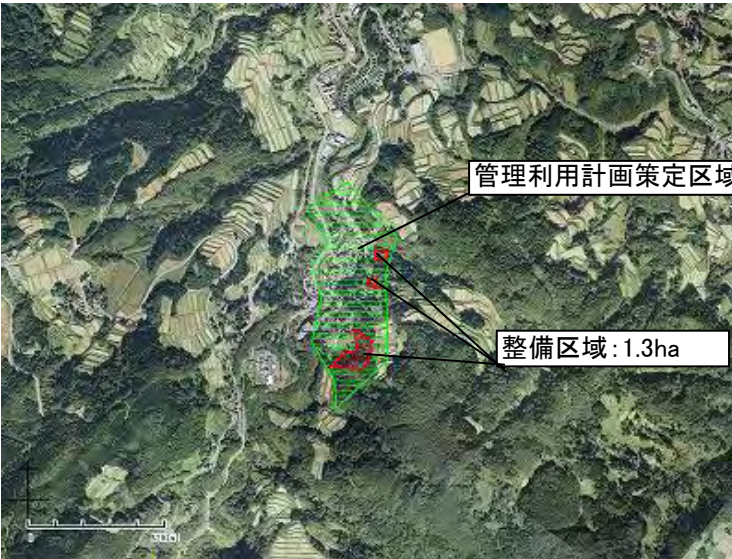
位置図



凡例

計画区域	
整備区域	

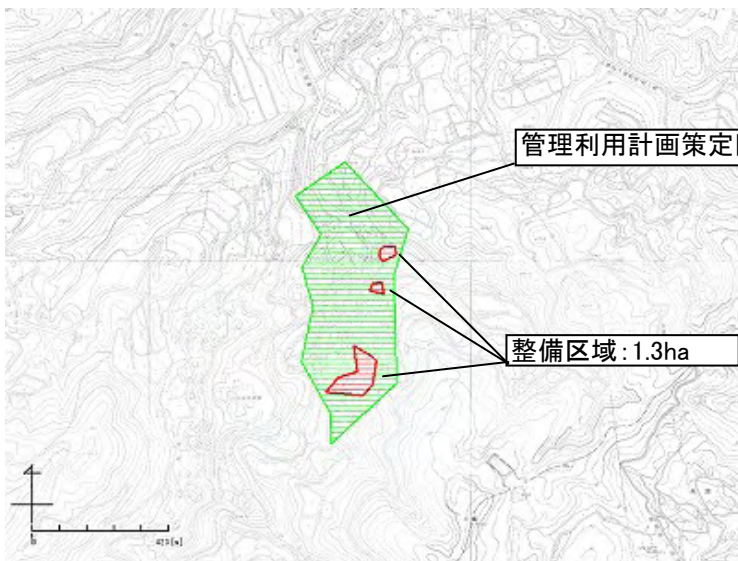
航空写真



凡例

計画区域	
整備区域	

計画概要図

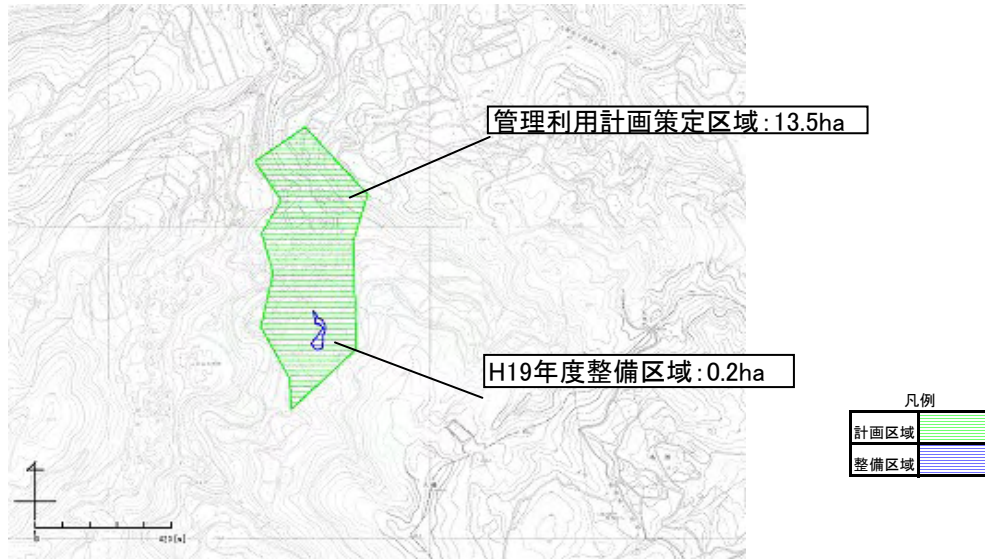


凡例

計画区域	
整備区域	

# 年度別実施状況

平面図



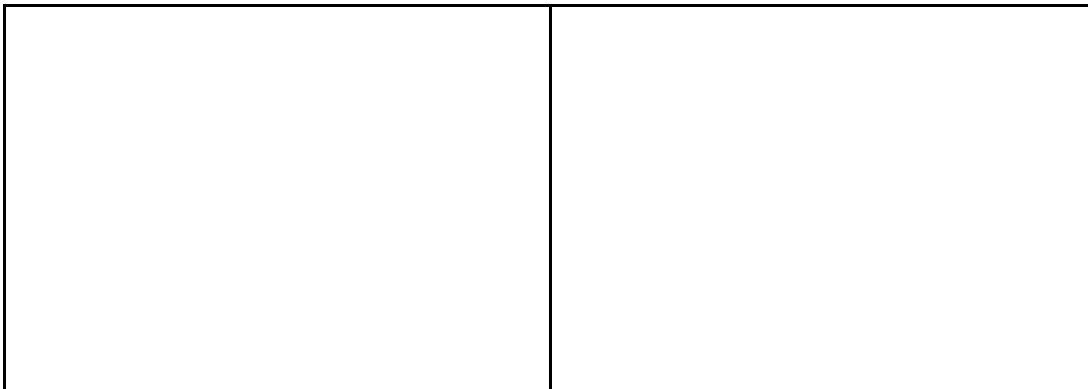
実施状況写真



事業PR看板



整備後の状況



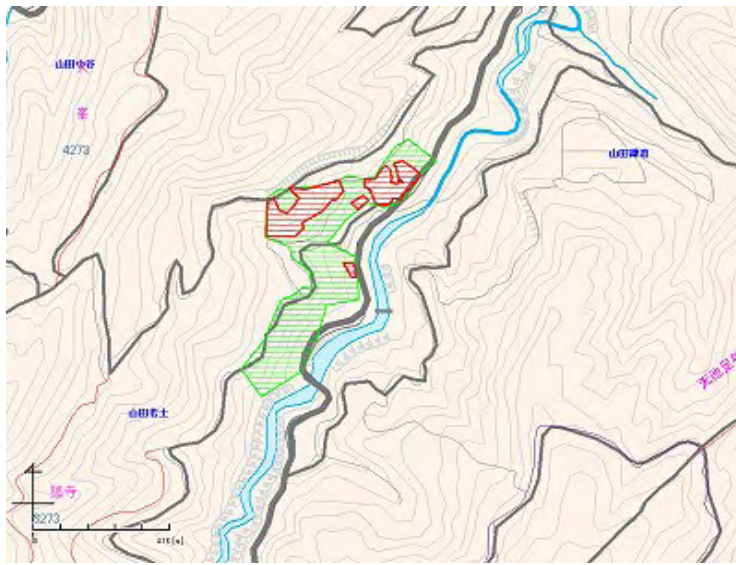
特記事項

・広葉樹については、40%程度の伐採を行い、見通しをよくし、畑への野生鳥獣の侵入を避ける。

## 里山再生整備事業 地区別実施調書

No.	23	地区名 富山市 若土				
全体計画						
区域面積						
区 分	人工林	天然林	その他 (竹林等)	合計		
面 積	4.2ha	10.4ha	1.1ha (重複あり)	14.7ha		
整備の目的						
<ul style="list-style-type: none"> <li>・放置され拡大した竹林を整理し、跡地に広葉樹を植えるなどして、美しい里山の姿を取り戻す。</li> <li>・広葉樹林の整備を行い、集落付近でのクマの出没を防ぐと共に明るく親しみの持てる里山を目指す。</li> </ul>						
管理利用の計画						
区 分	内 容					
管 理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・里山整備の跡地は、地域住民が主体となって、ボランティアの協力のもと、林縁部の定期的な刈り払いを行う。</li> <li>・竹林の伐採跡地には、地域住民が主体となって広葉樹を植栽し、ボランティアの協力のもと、再発生した筍の除去や植栽木周辺の下刈を行う。</li> </ul>					
利 用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・伐採した木竹については、地域とボランティアの交流イベントなどで活用する。</li> </ul>					
年度別事業計画						
事業期間: 平成 19 年度 ~ 平成 20 年度						
年 度	全体計画	H19 計画 実績	H20 計画 実績	H21 計画 実績	備 考	
管理利用計画策定	14.7ha	14.7ha 14.7ha	<del>14.7ha</del>	<del>14.7ha</del>		
里 山 林 整 備	広葉樹林等 整備		3.4ha			
	竹 林 整 備	1.9ha	0.4ha 0.4ha	0.5ha 1.0ha		
	広葉樹苗採取	0.2ha		0.1ha 0.1ha		
	そ の 他	0.6km	0.2km 0.2km	0.2km 0.2km	0.2km	歩道の開設
	合 計	2.1ha	0.4ha 0.4ha	4.0ha	1.1ha	
県民参加の森づくり			1	1		
里山活用促進事業						

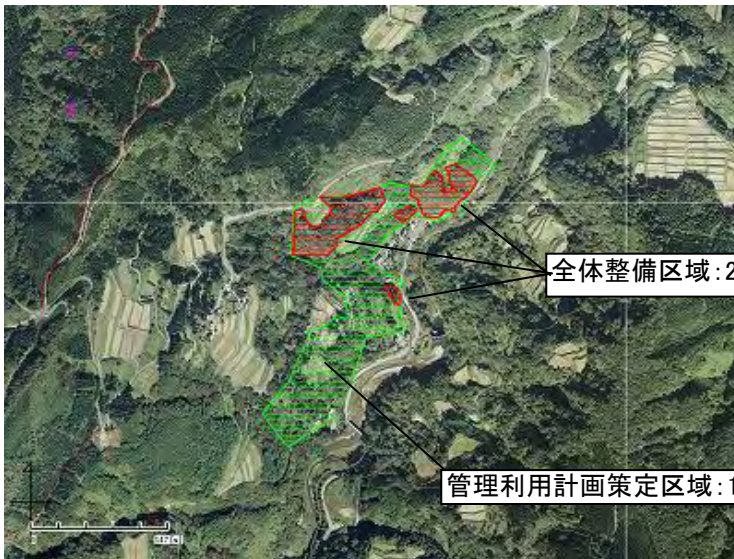
位置図



凡例

計画区域	
整備区域	

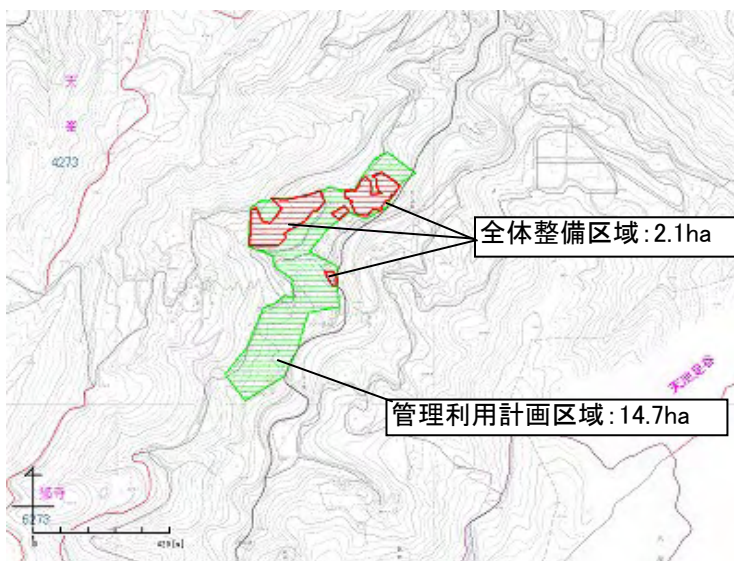
航空写真



凡例

計画区域	
整備区域	

計画概要図

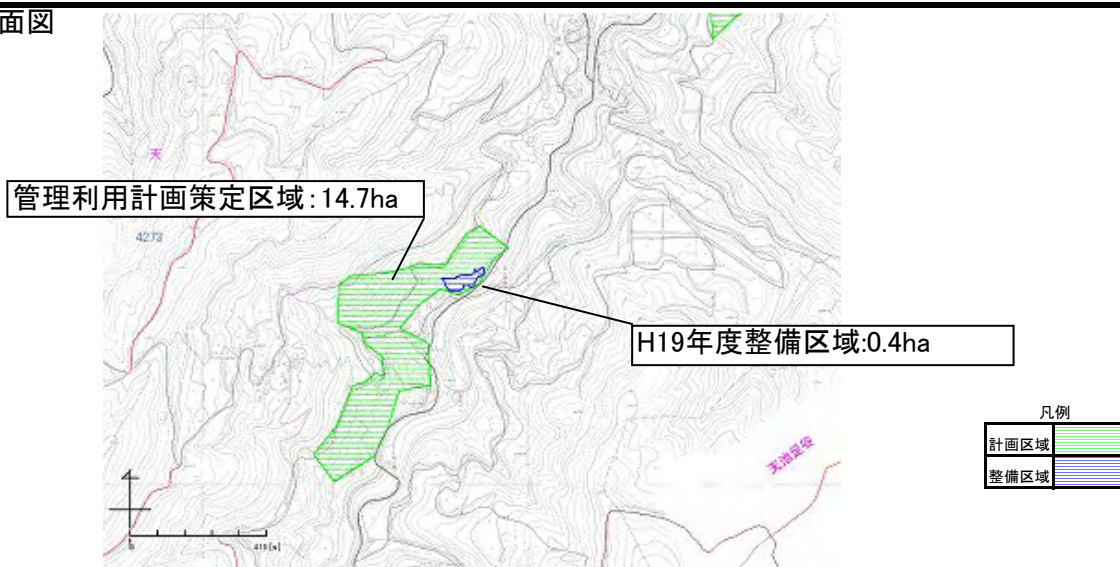


凡例

計画区域	
整備区域	

# 年度別実施状況

平面図



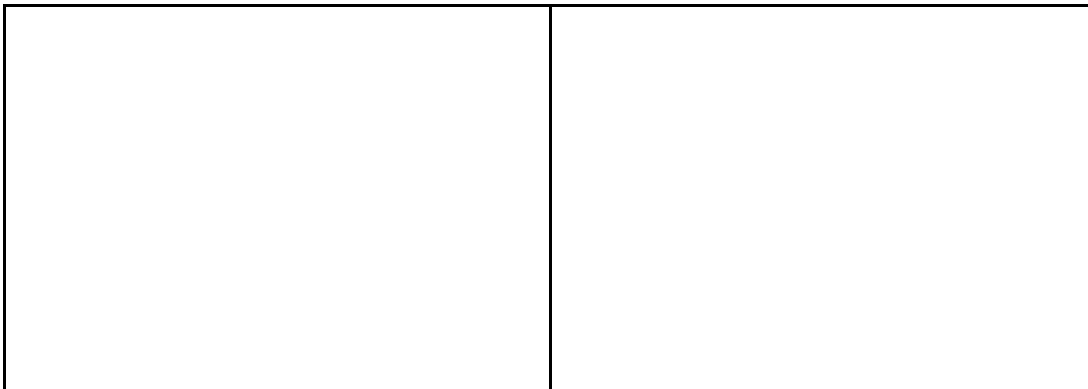
実施状況写真



事業PR看板



整備後の状況



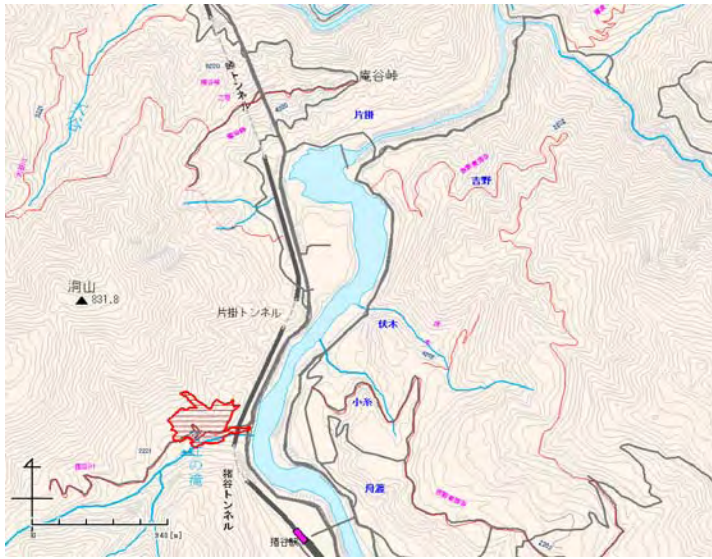
特記事項

- ・竹林は、皆伐し、跡地には花の咲く広葉樹を植栽する。一部、筍を採取できるよう管理する。
- ・広葉樹林については、見通しを良くし、宅地へのクマの侵入を回避する。

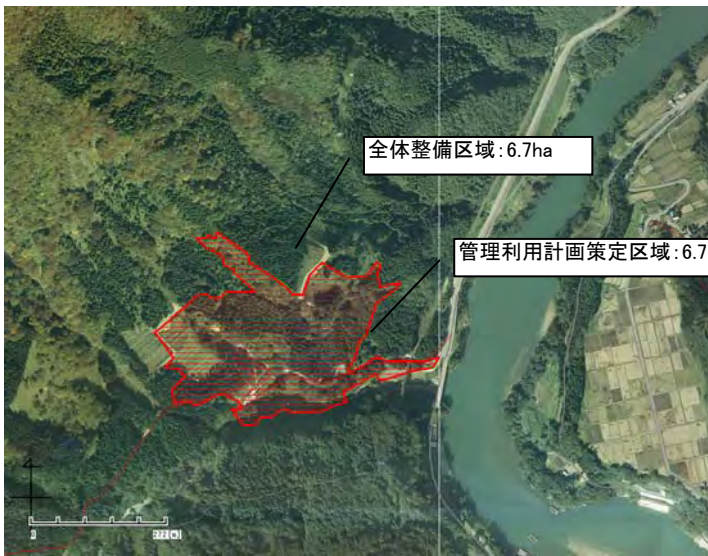
## 里山再生整備事業 地区別実施調書

No. 24	地区名 富山市 猪谷				
全体計画					
区域面積					
区 分	人工林      天然林      その他 (竹林等)      合計				
面 積	4.0ha      2.7ha           6.7ha				
整備の目的					
<ul style="list-style-type: none"> <li>・広葉樹林の抜き切りを実施し、林内を明るくすることで、親しみの持てる里山を目指す。</li> </ul>					
管理利用の計画					
区 分	内 容				
管 理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・里山整備の跡地は地域住民が主体となって、ボランティアの協力のもと、林縁部の定期的な刈り払いを行う。</li> <li>・管理は整備の翌年から3年以上行う</li> </ul>				
利 用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・里山整備の跡地において、地域やボランティアの交流イベントなどで活用する。</li> <li>・伐採されたコナラ等をシイタケ原木として利用する。</li> </ul>				
年度別事業計画					
事業期間: 平成 19 年度 ~ 平成 21 年度					
年 度	全体計画	計画 実績	計画 実績	計画 実績	備 考
管理利用計画策定	6.7ha	6.7ha	<del>6.7ha</del>	<del>6.7ha</del>	
里 山 林 整 備	広葉樹林等 整備	2.5ha	1.1ha 0.8ha		
	竹 林 整 備				
	被害林等整備				
	そ の 他	歩道開設 1000m	1000m 1000m		
	合 計	2.5ha	1.1ha 0.8ha		
県民参加の森づくり	2年		1	1	
里山活用促進事業					

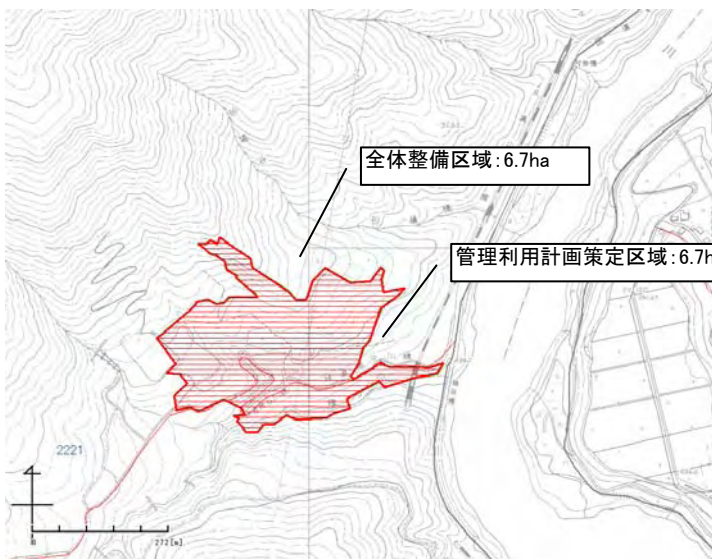
位置図



航空写真

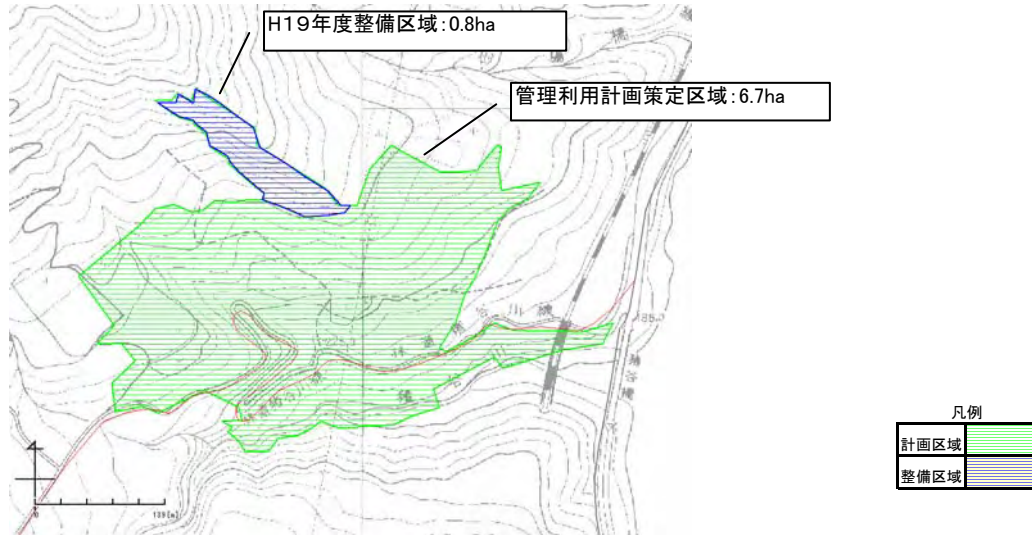


計画概要図



## 年度別実施状況

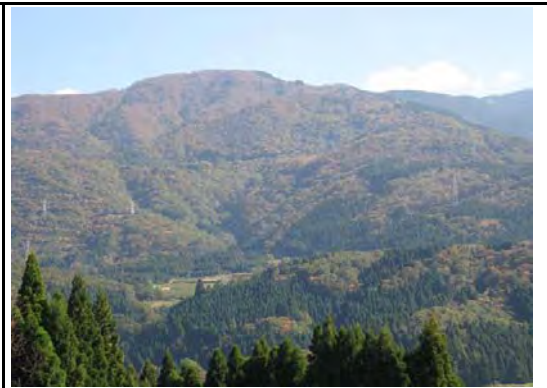
### 平面図



### 実施状況写真



事業PR看板



整備後の状況



整備後の状況

### 特記事項

- ・広葉樹については、伐採率40%程度の整理伐を実施し、林内を明るくした。
- ・周囲の林道や作業道を結ぶ歩道を1000m開設したため、当地域全体の便性が向上した。
- ・整備後の状況については、地域住民から好評を得ており、炭焼きやシイタケ原木の利用にも期待が寄せられている。



里山再生整備事業 地区別実施調書

No. 25 地区名 上市町 野島

全体計画

区域面積

区 分	人工林	天然林	その他 (竹林等)	合計
面 積		5.8ha	7.2ha	13.0ha

整備の目的

・広葉樹および竹林の抜き切りを実施し、林内を明るくすることにより、サルおよびクマ等の野生動物との棲み分けを図ると共に、景観の改善を図る。

管理利用の計画

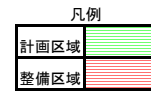
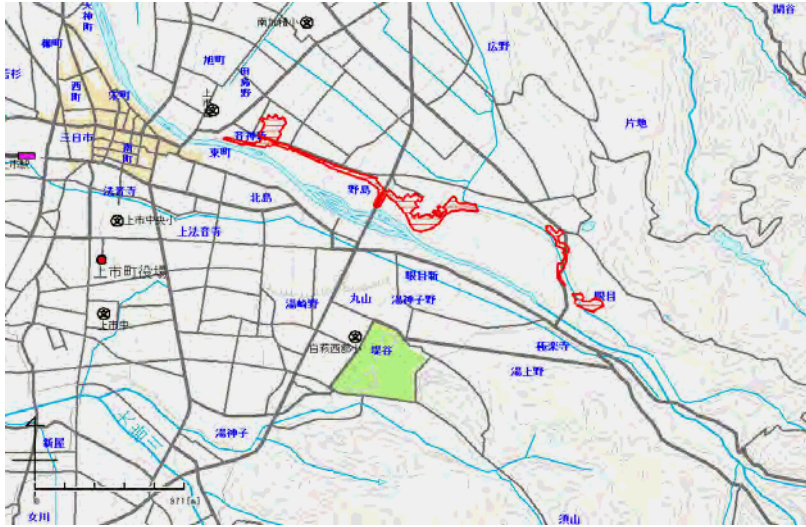
区 分	内 容
管 理	・広葉樹林整備地は、地域住民が主体となって、ボランティアの協力のもと、林縁部の定期的な刈払いを行う。 ・竹林および侵入竹林整備地は、地域住民が主体となって、ボランティアの協力のもと、タケノコの除去および下刈りを行う。
利 用	・竹林を適正密度で管理し、タケノコ採取竹林として活用する。

年度別事業計画

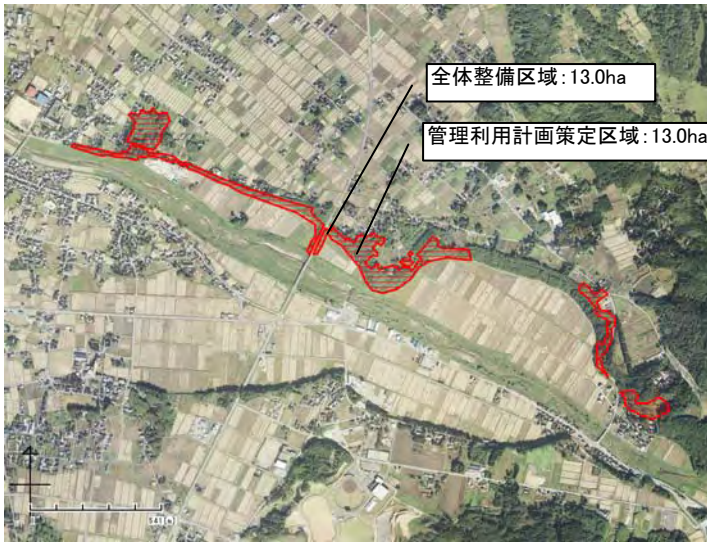
事業期間: 平成 19 年度 ~ 平成 21 年度

年 度		全体計画	H19 計画 実績	H20 計画 実績	H21 計画 実績	備 考
管理利用計画策定		13.0ha	13.0ha 13.0ha	<del>13.0ha</del>	<del>13.0ha</del>	
里 山 林 整 備	広葉樹林等整備	5.8ha	4.5ha 3.2ha	1.3ha		
	竹林整備	7.2ha	2.2ha 3.6ha	5.0ha		
	被害林等整備					
	そ の 他					
	合 計	13.0ha	6.7ha 6.8ha	6.3ha		
県民参加の森づくり		2年		1	1	
里山活用促進事業						

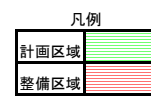
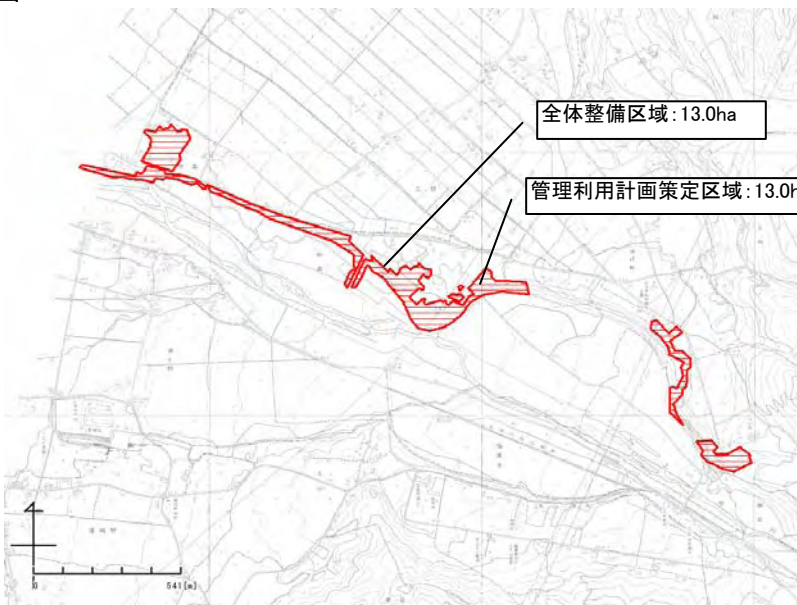
位置図



航空写真

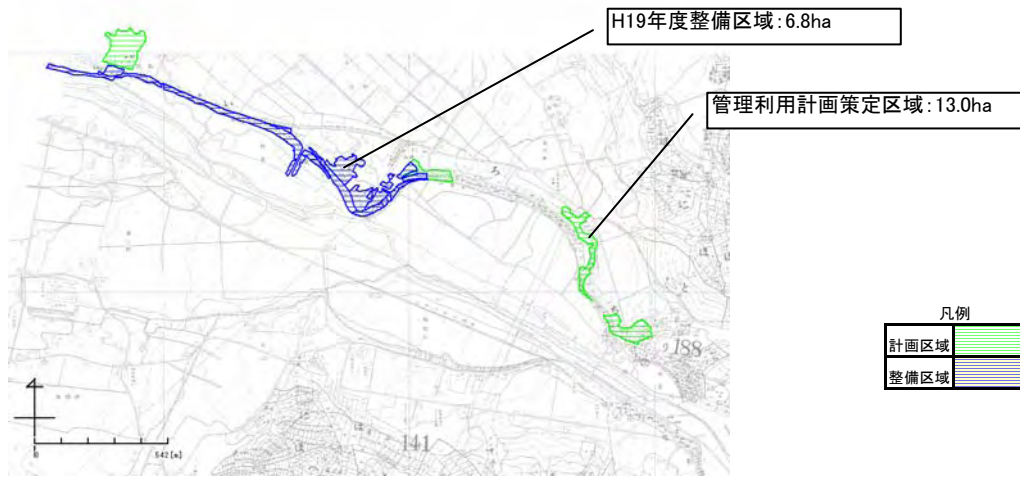


計画概要図



# 平成19年度実施状況

## 平面図



## 実施状況写真



事業PR看板



整備後の状況



整備後の状況

## 特記事項

・町道および広域農道沿線の段丘斜面については、林内の見通しを高めるため、伐採率70%程度の整理伐を実施した。また、段丘面上の竹林については、タケノコ生産竹林として、3000本/ha程度の密度になるよう間伐を実施した。

・整備後の状況については、地域住民からも好評を得ており、集積された伐採竹を住民が自主的に整理する姿が見受けられた。また、この整備状況を見て、近隣の地域から、里山再生整備事業の導入を希望する意見が多く寄せられた。

里山再生整備事業 地区別実施調書

No. 26 地区名 上市町 黒川

全体計画

区域面積

区 分	人工林	天然林	その他 (竹林等)	合計
面 積	0.3ha	5.4ha	0.8ha	6.5ha

整備の目的

・広葉樹および竹林の抜き切りを実施し、林内を明るくすることにより、サルおよびクマ等の野生動物との棲み分けを図ると共に、景観の改善を図る。

管理利用の計画

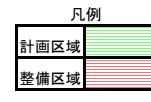
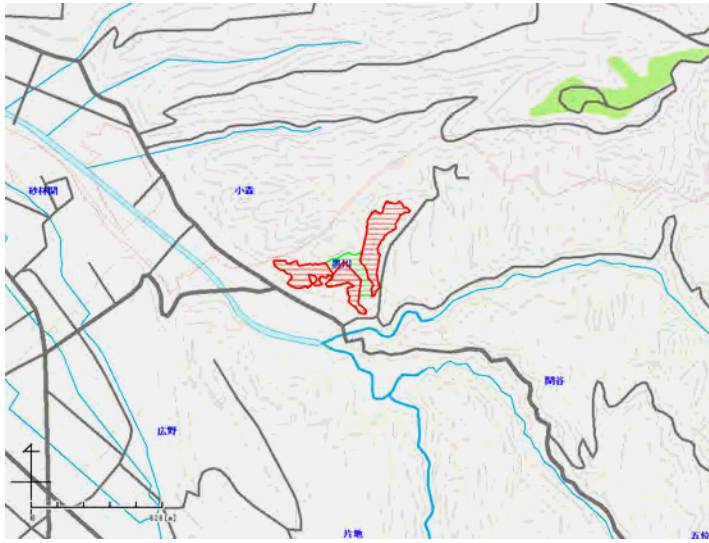
区 分	内 容
管 理	・広葉樹林整備地は、地域住民が主体となって、ボランティアの協力のもと、林縁部の定期的な刈払いを行う。 ・竹林および侵入竹林整備地は、地域住民が主体となって、ボランティアの協力のもと、タケノコの除去および下刈りを行う。
利 用	・伐採された竹を、近隣の炭窯を利用し、竹炭にする。

年度別事業計画

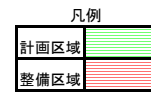
事業期間: 平成 19 年度 ~ 平成 21 年度

年 度		全体計画	H19 計画 実績	H20 計画 実績	H21 計画 実績	備 考
管理利用計画策定		6.5ha	6.5ha 6.5ha	<del>6.5ha</del>	<del>6.5ha</del>	
里 山 林 整 備	広葉樹林等整備	5.4ha	2.3ha 3.0ha	3.1ha		
	竹林整備	0.8ha	0.8ha 0.6ha			
	被害林等整備					
	そ の 他					
	合 計	6.2ha	3.1ha 3.6ha	3.1ha		
県民参加の森づくり		2年		1	1	
里山活用促進事業						

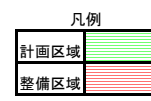
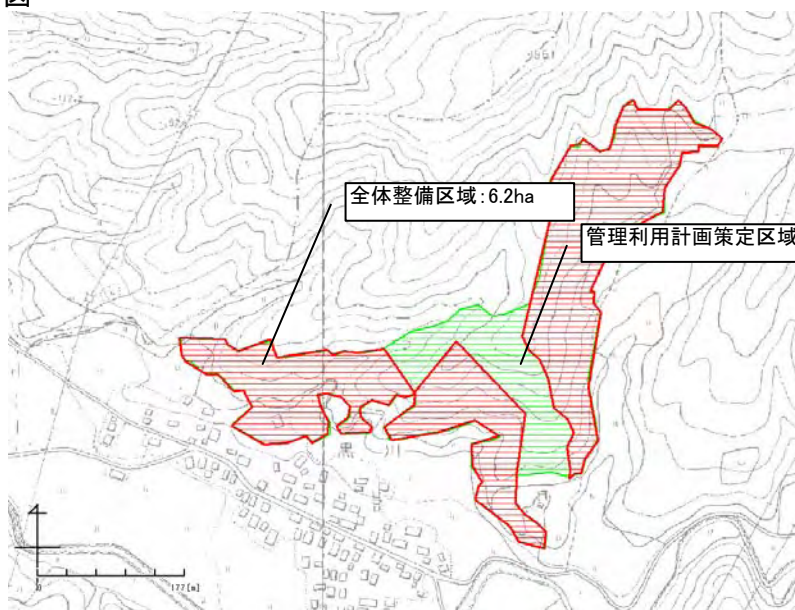
位置図



航空写真

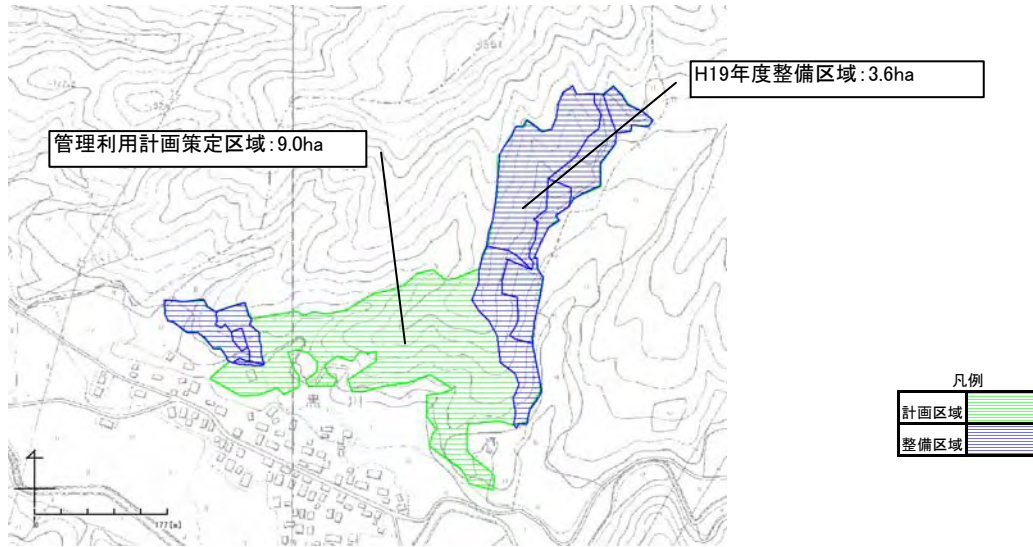


計画概要図



# 平成19年度実施状況

## 平面図



## 実施状況写真



事業PR看板



整備後の状況



整備後の状況

## 特記事項

- ・広葉樹林については、林内の見通しを高めるため、伐採率70%程度の整理伐を実施した。また、民家裏の竹林については、竹を駆逐するため、皆伐した。伐採した竹は竹炭として利用する予定である。
- ・伐採後の広葉樹の林床を利用して山菜等の栽培を予定している。
- ・整備後の状況については、地域住民からも好評を得ており、炭焼きや林床を活用した山菜栽培にも期待が寄せられている。

里山再生整備事業 地区別実施調書

No. 27 地区名 立山町 日中ほか

全体計画

区域面積

区 分	人工林	天然林	その他 (竹林等)	合計
面 積	0.9ha	1.9ha	1.5ha (重複あり)	4.1ha

整備の目的

放置された竹林を整理し、明るい竹林を目指す。また、広葉樹林は、有害動物を目視できるように整備する。

管理利用の計画

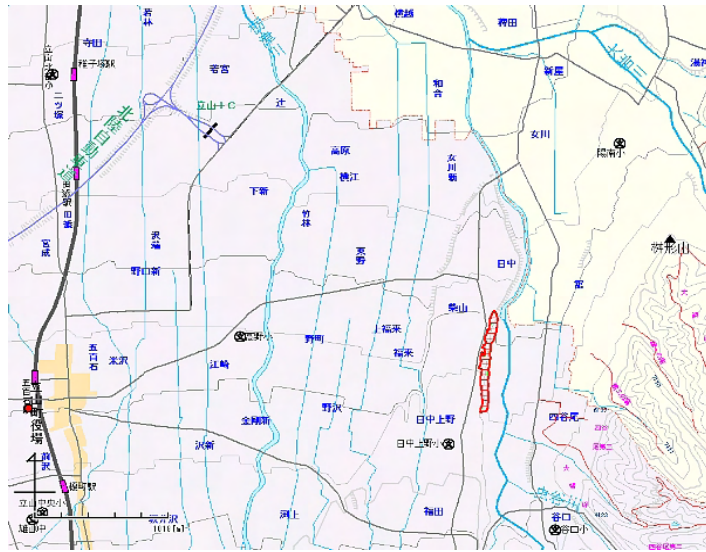
区 分	内 容
管 理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・里山整備の跡地は、地域住民が主体となって、林縁部等の定期的な刈り払いを行う。</li> <li>・管理は整備の翌年から3年以上行う。</li> </ul>
利 用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・竹林については、地区住民により筍の発生する状態を維持する。</li> </ul>

年度別事業計画

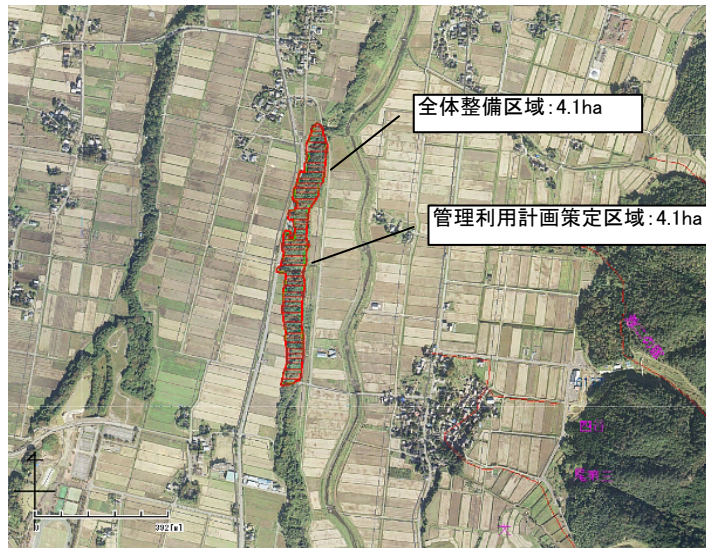
事業期間:平成 19 年度 ~ 平成 21 年度

年 度	全体計画	H19	H20	H21	備 考
		計画 実績	計画 実績	計画 実績	
管理利用計画策定	4.1ha	4.1ha			
里 山 林 整 備	広葉樹林等整備	2.2ha			
	竹林整備	1.3ha			
	被害林等整備				
	そ の 他	0.2ha			侵入竹林整備
	合 計	3.7ha	3.7ha		
県民参加の森づくり	2年		1	1	
里山活用促進事業					

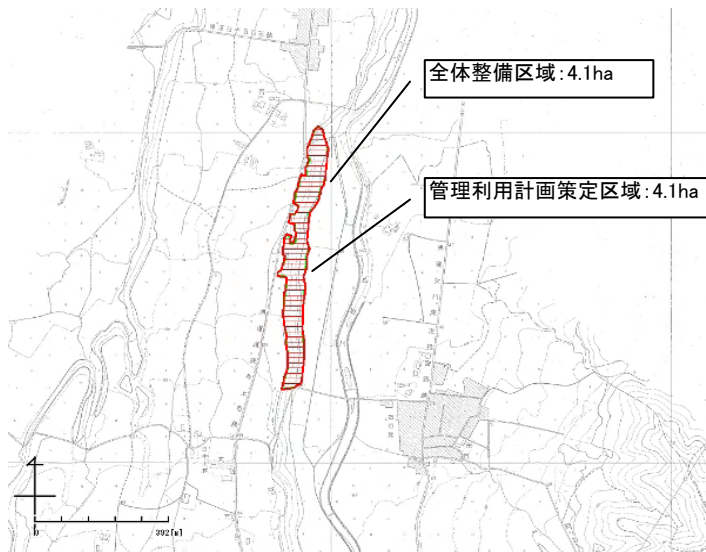
位置図



航空写真



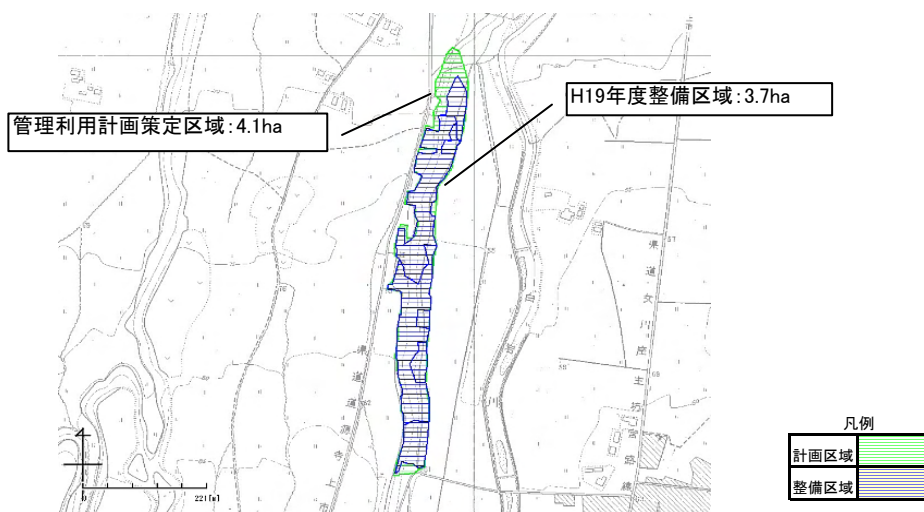
計画概要図





## 年度別実施状況

### 平面図



### 実施状況写真



事業PR看板



整備後の状況



整備竹林における筍発生状況(H20.5)

### 特記事項

#### (整備の方針)

・人家裏の放置竹林について、枯損竹を除去し密度調整の伐採を行うことで、竹林の拡大化の防止と見通しを確保する。また、広葉樹林については、小径級の低木や灌木類の除去を中心に行い、明るい里山林を目指す。

#### (事業の実績)

・整備後の状況については、地域住民から好評を得ており、地域の景観及び有害動物が目視できる、明るく親しみの持てる里山となった。

里山再生整備事業 地区別実施調書

No. 28 地区名 立山町 小林ほか

全体計画

区域面積

区分	人工林	天然林	その他 (竹林等)	合計
面積	6.0ha	3.5ha	2.4ha (重複あり)	10.5ha

整備の目的

放置された竹林を整理し、明るい竹林を目指す。また、広葉樹林は、有害動物を目視できるように整備し美しい里山の姿を取り戻す。

管理利用の計画

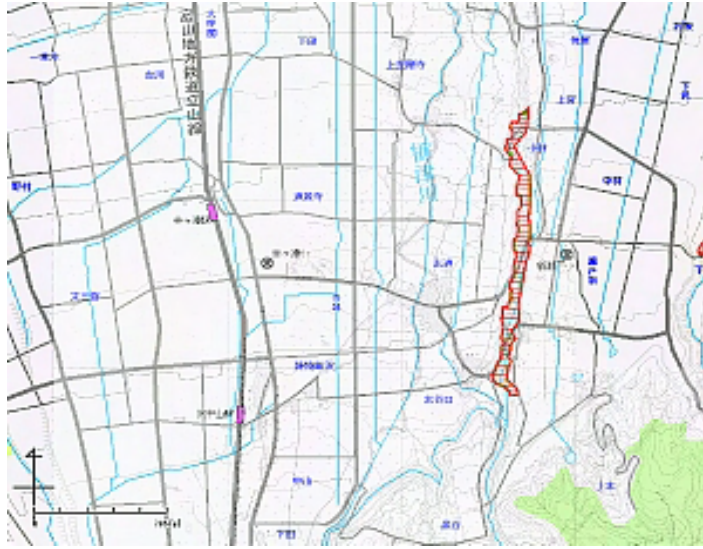
区分	内容
管理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・里山整備の跡地は、地域住民が主体となって、林縁部等の定期的な刈り払いを行う。</li> <li>・管理は整備の翌年から3年以上行う。</li> </ul>
利用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・竹林については、地区住民により筍の発生する状態を維持する。</li> </ul>

年度別事業計画

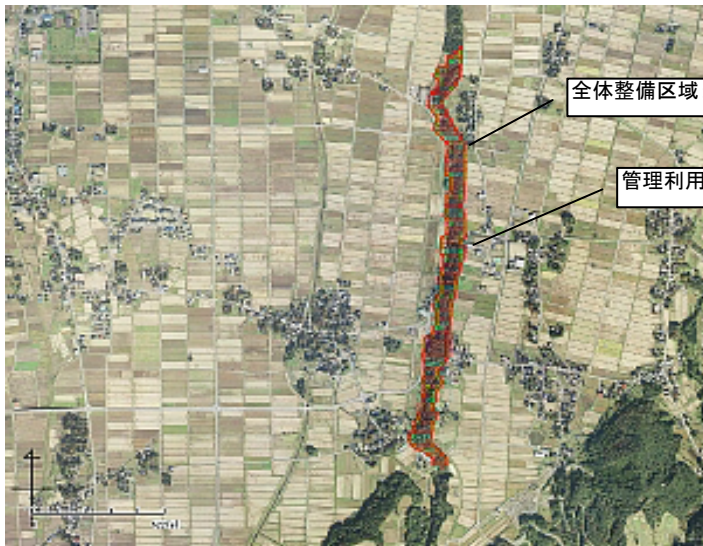
事業期間:平成 19 年度 ~ 平成 21 年度

年度	全体計画	H19	H20	H21	備考
		計画 実績	計画 実績	計画 実績	
管理利用計画策定	10.5ha	10.5ha 10.5ha	<del>10.5ha</del>	<del>10.5ha</del>	
里山 林 整備	広葉樹林等整備	3.5ha 3.5ha			
	竹林整備	1.0ha 1.0ha			
	被害林等整備				
	その他	1.4ha 1.4ha			侵入竹林整備
	合計	5.9ha 5.9ha			
県民参加の森づくり	2年		1	1	
里山活用促進事業					

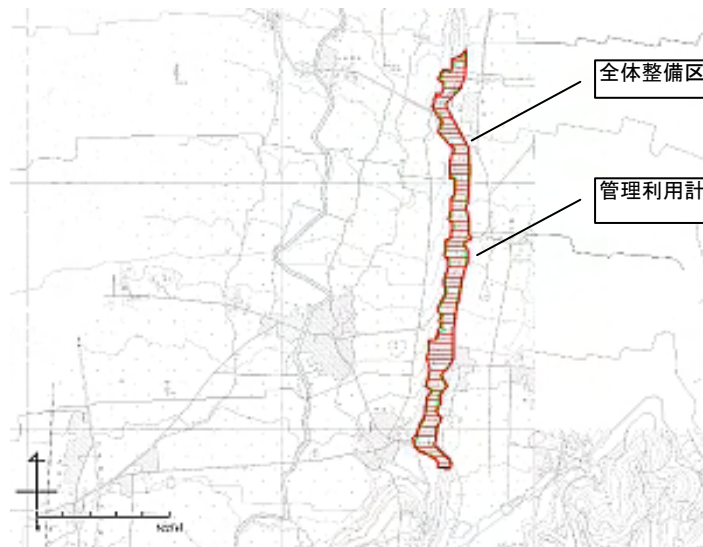
位置図



航空写真

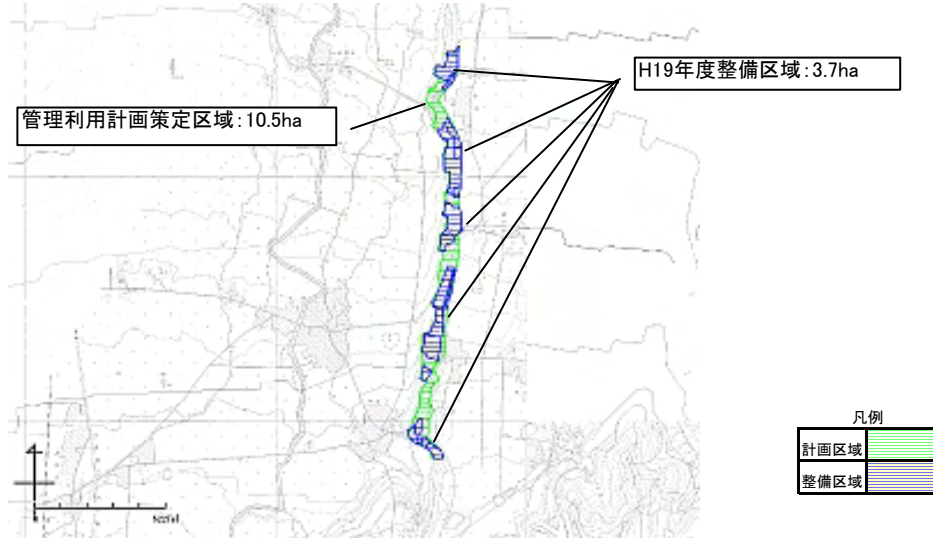


計画概要図



## 年度別実施状況

### 平面図



### 実施状況写真



事業PR看板



整備後の状況



整備後の状況

### 特記事項

#### (整備の方針)

・人家裏の放置竹林について、枯損竹を除去し密度調整の伐採を行うことで、竹林の拡大化の防止と見通しを確保する。また、広葉樹林については、小径級の低木や灌木類の除去を中心にを行い、明るい里山林を目指す。

#### (事業の実績)

・整備後の状況については、地域住民から好評を得ており、地域の景観及び有害動物が目視できる、明るく親しみの持てる里山となった。

里山再生整備事業 地区別実施調書

No. 29 地区名 立山町 白岩ほか

全体計画

区域面積

区 分	人工林	天然林	その他 (竹林等)	合計
面 積	3.6ha	3.5ha	0.7ha	7.8ha

整備の目的

放置された竹林を明るく適正に管理された竹林に整備する。広葉樹林では、低木類を伐採し、灌木や侵入竹を除去することで美しい里山の姿を取り戻す。

管理利用の計画

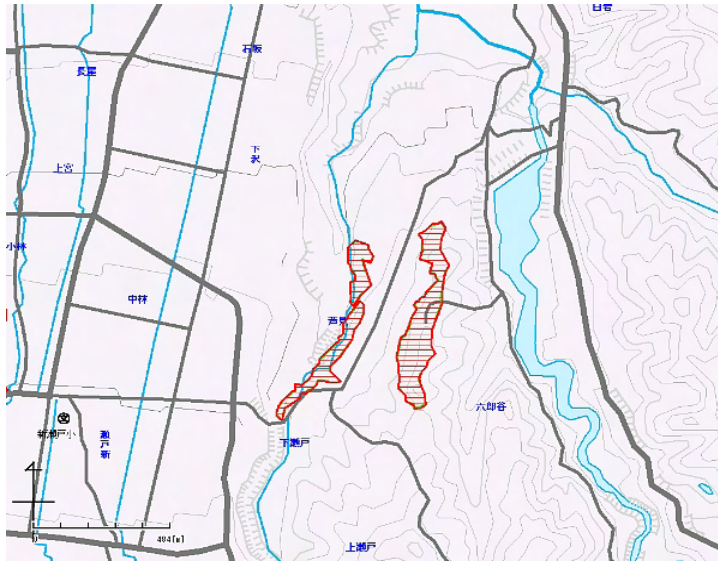
区 分	内 容
管 理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・里山整備の跡地は、地域住民が主体となって、ボランティアの協力のもと、林縁部などの定期的な刈り払いを行う。</li> <li>・竹林の整備跡地には、地域住民が主体となって再発生した筍の除去などをする。</li> <li>・管理は、整備の翌年から3年以上行う。</li> </ul>
利 用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・竹林については、地区住民により筍の発生する状態を維持する。</li> </ul>

年度別事業計画

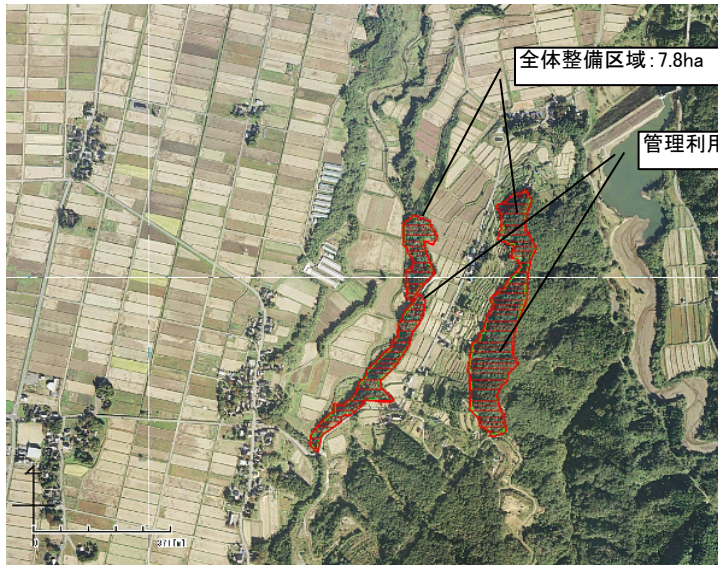
事業期間:平成 19 年度 ~ 平成 21 年度

年 度	全体計画	H19	H20	H21	備 考
		計画 実績	計画 実績	計画 実績	
管理利用計画策定	7.8ha	7.8ha 7.8ha	<del>7.8ha</del>	<del>7.8ha</del>	
里 山 林 整 備	広葉樹林等 整備	3.5ha 2.3ha	2.3ha	1.2ha	
	竹林整備	0.7ha 0.2ha	0.2ha	0.5ha	
	被害林等整備				
	そ の 他				
	合 計	4.2ha	2.5ha 2.5ha	1.7ha	
県民参加の森づくり	1年			1	
里山活用促進事業					

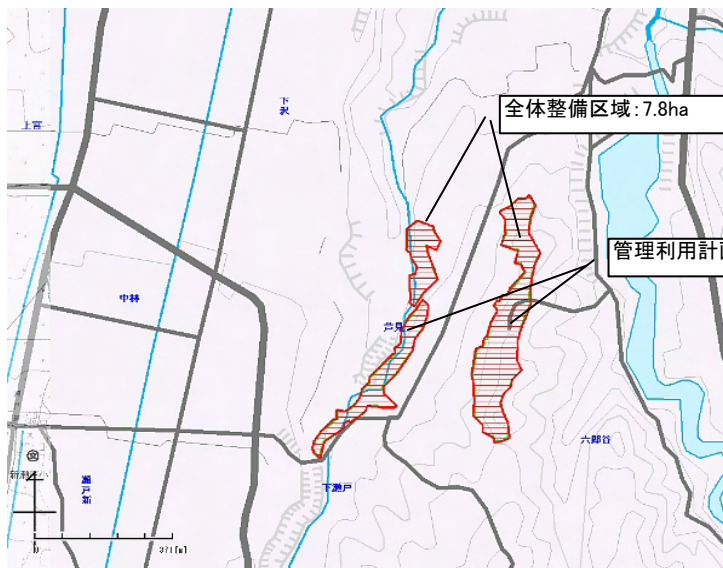
位置図



航空写真

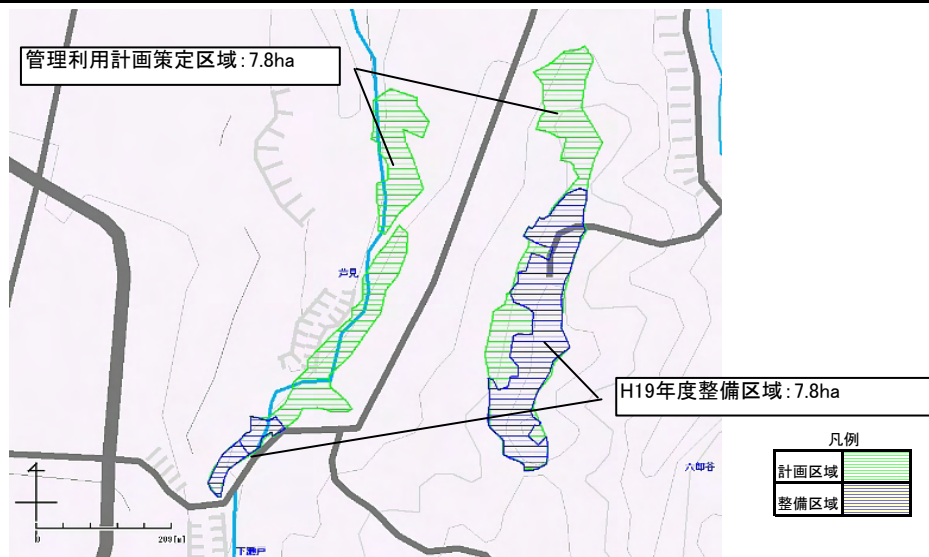


計画概要図



## 年度別実施状況

### 平面図



### 実施状況写真



事業PR看板



整備後の状況



整備後の状況

### 特記事項

#### (整備の方針)

・道路沿いの竹林は、枯損竹や加齢竹などの不要なものの伐採し、ha当り、2,000本～3,000本程度の健全で明るい竹林に整備する。

・広葉樹林においては、病虫害枯損木や小径木を伐採し、低木・灌木を刈り払うことで明るい里山林に整備する。

#### (事業の実績)

・農地の後背林が整備されたことで、熊被害などを心配していた農業者や散策者を中心に好評を得ている。

里山再生整備事業 地区別実施調書

No. 30 地区名 高岡市 伏木一宮地区

全体計画

区域面積

区 分	人工林	天然林	その他 (竹林等)	合計
面 積		2.9ha	1.6ha	4.5ha

整備の目的

・広葉樹林においては、下草刈りや除伐などにより多様な動植物が生息できる森林整備を目指し、竹林においては、間伐等により林内に光を取り込み、地域住民に親しまれる森林の整備を目的とする。

管理利用の計画

区 分	内 容
管 理	・里山整備の跡地は、地域住民が主体となったボランティア団体「伏木ふれあいの杜管理協会の協力のもと、林縁部の定期的な刈り払いを行う。 ・竹林の間伐跡地には、同ボランティアの協力のもと、再発生した筍の除去や植栽木周辺の下刈を行う。
利 用	・伐採した木竹については、チップ化して周辺森林の表層材として活用する。 ・歩道を整備し、伏木小学校や古府小学校等と連携して、花木の植栽や観察会など、総合学習の場として活用する。

年度別事業計画

事業期間: 平成 19 年度 ~ 平成 21 年度

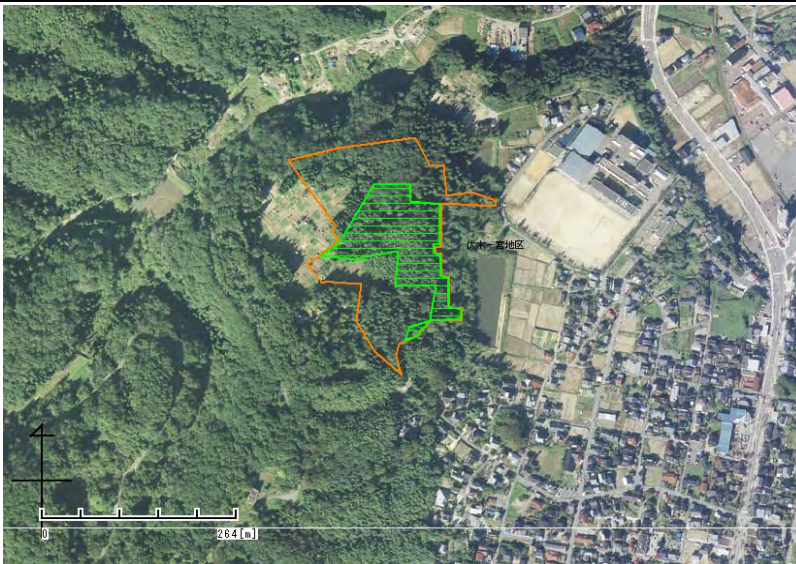
年 度	全体計画	H19 計画 実績	H20 計画 実績	H21 計画 実績	備 考
管理利用計画策定	4.5ha	4.5ha 4.5ha	<del>1.6ha</del>	<del>1.6ha</del>	
里 山 林 整 備	広葉樹林等整備	2.6ha	1.0ha 1.0ha	1.6ha	
	竹林整備	1.3ha	1.3ha 1.3ha		
	被害林等整備				
	その他				
	合計	3.9ha	2.3ha 2.3ha	1.6ha	
県民参加の森づくり	2年		1	1	住民等の参加実績
里山活用促進事業					



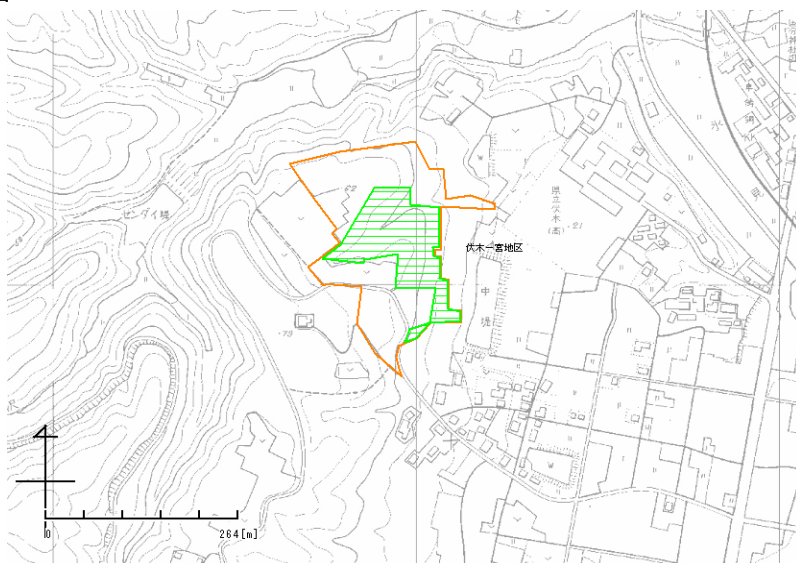
位置図



航空写真

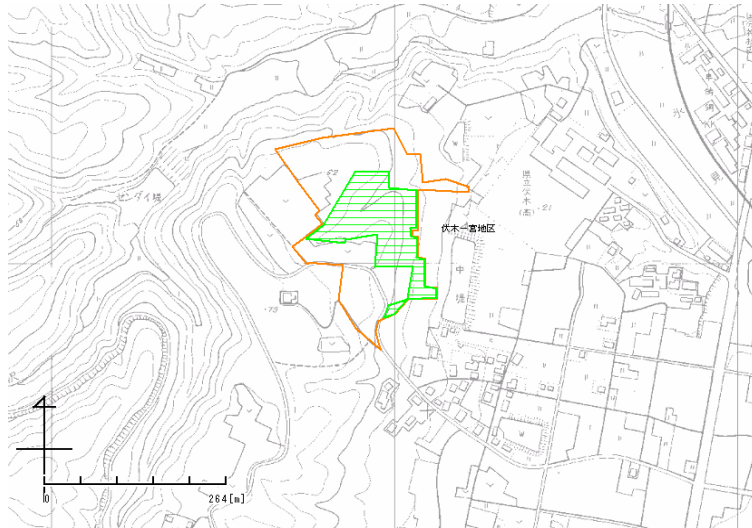


計画概要図



# 平成19年度実施状況

## 平面図



凡例	
計画区域	オレンジ
整備区域	緑
保安林	水色
対象外区域	赤

## 実施状況写真



整備後の状況



住民参加による森林整備の実施状況



整備後の状況



事業PR看板の設置

## 特記事項

### (整備方針)

- ・広域樹林においては、下草刈りや除伐などにより多様な動植物が生息できる整備を行う。また竹林においては間伐等により林内に光を取り込み、地域住民に親しまれる整備とする。
- ・さらに神社周辺の地理的条件により、景観にも配慮する。

### (事業実施内容)

- ・本地区は、竹林のモデル林として整備を行なった。また、本事業をPRする看板を設置した。
- ・既設ボランティアも協働で、森づくりを実践した。伐採した広葉樹材や竹を利用してベンチや柵等を設置した。

里山再生整備事業 地区別実施調書

No. 31 地区名 高岡市 東海老坂地区

全体計画

区域面積

区 分	人工林	天然林	その他 (竹林等)	合計
面 積		4.0ha		4.0ha

整備の目的

・本地区においては、下草刈りや除伐などにより多様な動植物が生息できる森林整備を行い、市民やキャンプ場利用者の森林浴や環境学習の場として、より効果が発揮できる森林の整備を目的とする。

管理利用の計画

区 分	内 容
管 理	・里山整備の跡地は、市民ボランティア団体「十夢草野の会」の協力のもと、林縁部の定期的な刈り払いを行う。 ・管理は整備の翌年から3年以上行う。
利 用	・二上山キャンプ場や万葉植物園を利用する市民の森林浴の場として活用する。 ・二上まなび交流館と連携して、小中学生やナチュラリスト等の花木の観察会など、環境学習の場として活用する。

年度別事業計画

事業期間: 平成 19 年度 ~ 平成 21 年度

年 度	全体計画	H19 計画 実績	H20 計画 実績	H21 計画 実績	備 考
管理利用計画策定	4.0ha	4.0ha 4.0ha	<del>4.0ha</del>	<del>4.0ha</del>	
里山整備	広葉樹林等整備	3.1ha			
	竹林整備				
	被害林等整備				
	その他				
	合計	3.1ha	3.1ha		
県民参加の森づくり	2年		1	1	住民等の参加実績
里山活用促進事業					

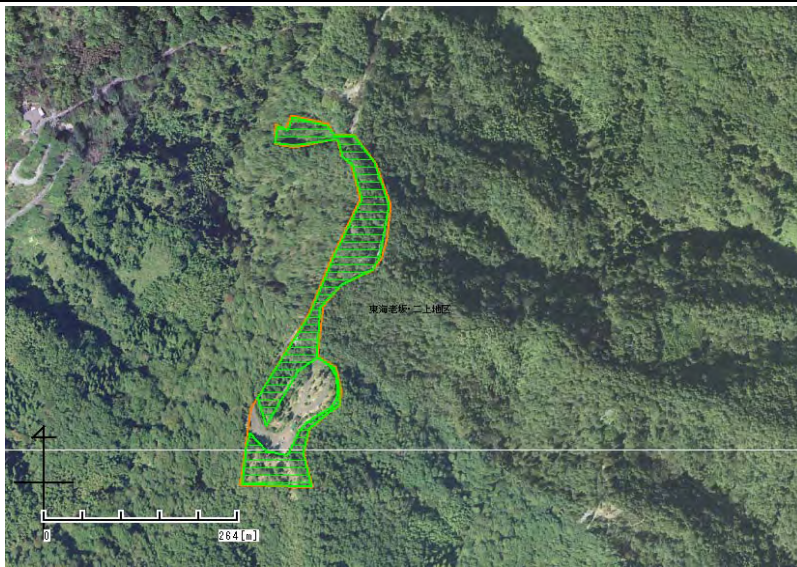
位置図



凡例

計画区域	オレンジ
整備区域	緑
保安林	水色
対象外区域	赤

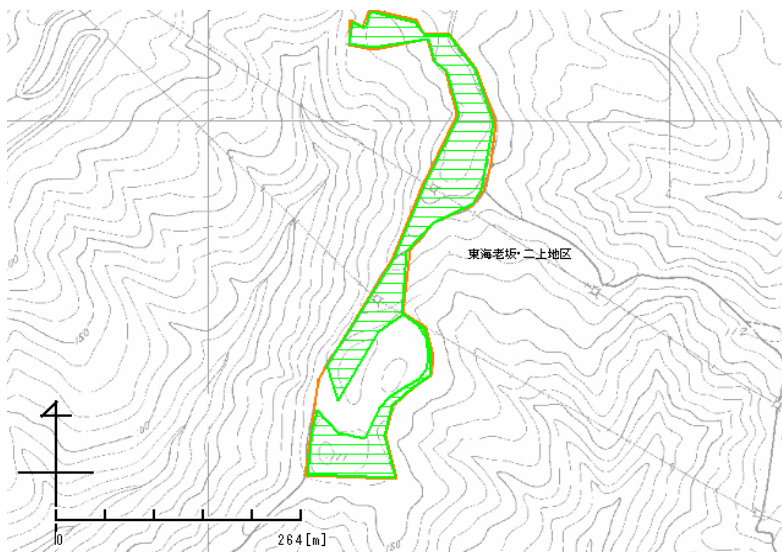
航空写真



凡例

計画区域	オレンジ
整備区域	緑
保安林	水色
対象外区域	赤

計画概要図

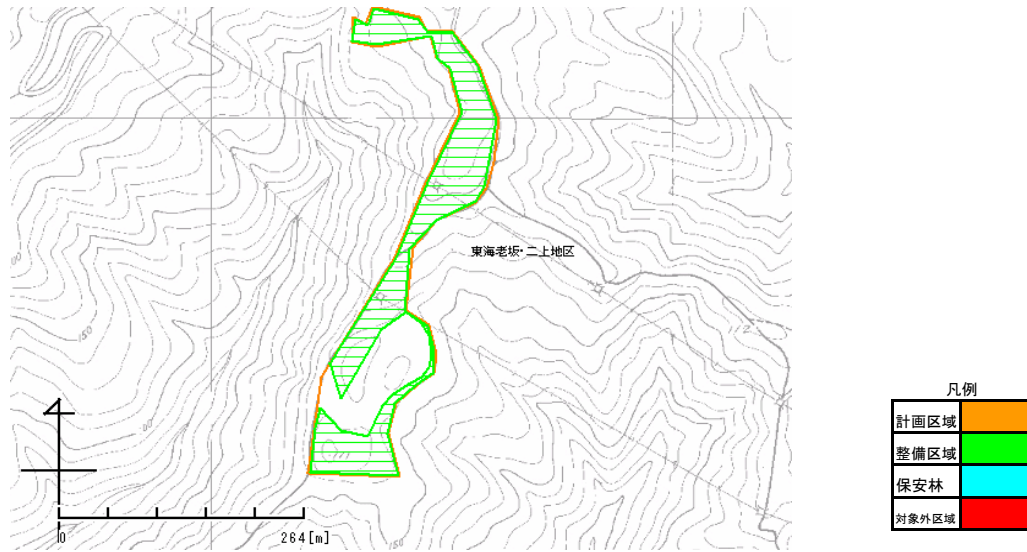


凡例

計画区域	オレンジ
整備区域	緑
保安林	水色
対象外区域	赤

# 平成19年度実施状況

## 平面図



## 実施状況写真



整備後の状況



整備後の状況



整備後の状況



事業PR看板の設置

## 特記事項

### (整備方針)

・下草刈りや除伐により、多様な動植物が生息できる整備とする。また森林浴や環境学習の場としてより効果の期待出来る整備とする。

### (事業実施内容)

・本地区は、ボランティアの活動の場として再生整備を行なった。また、本事業をPRする看板を設置した。

里山再生整備事業 地区別実施調書

No. 32 地区名 氷見市 栗原地区

全体計画

区域面積

区 分	人工林	天然林	その他 (竹林等)	合計
面 積	1.4ha	3.5ha	0.2ha	5.1ha

整備の目的

・森林内には、コナラ、イヌシテ、アカマツ、コシアブラ、アズキナジ等が生え、いくつかシンボルとなる木があるので、そこをポイントとして整備を行い、見通しが良く、人が入り込みやすい明るい森づくりを行い、歩道等を整備し、散策や森林浴が楽しめる里山を目指す。

管理利用の計画

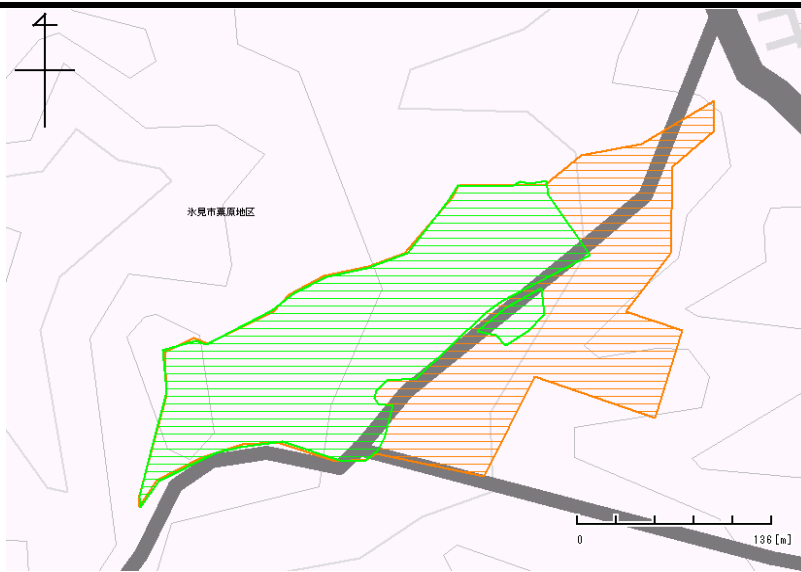
区 分	内 容
管 理	・里山整備の跡地は、地域住民が一体となって、林縁部の定期的な刈り払いを行う。 ・管理は整備の翌年から3年以上行う。
利 用	・歩道を整備し、散策や森林浴を楽しむ。 ・十二町小学校と連携し、花木の植栽や観察会等、総合学習の場として活用する。

年度別事業計画

事業期間: 平成 19 年度 ~ 平成 21 年度

年 度		全体計画	H19 計画 実績	H20 計画 実績	H21 計画 実績	備 考
管理利用計画策定		5.0ha	5.0ha 5.0ha	<del>5.0ha</del>	<del>5.0ha</del>	
里 山 林 整 備	広葉樹林等整備	3.0ha	3.0ha			
	竹林整備					
	被害林等整備					
	その他					
合 計		3.0ha	3.0ha			
県民参加の森づくり		3年	1 5名	1	1	住民等の参加 実績
里山活用促進事業						

位置図



凡例

計画区域	Orange hatched
整備区域	Green hatched
保安林	Cyan hatched
対象外区域	Red hatched

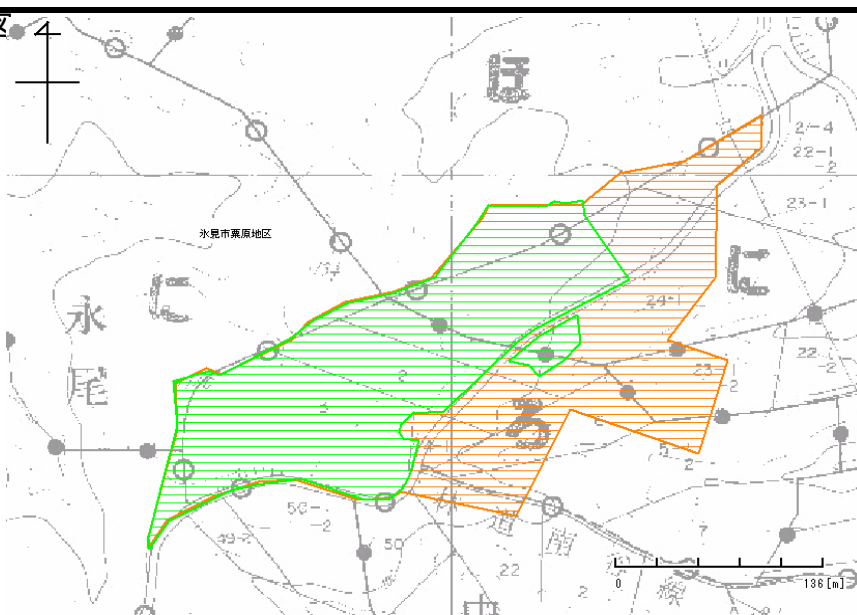
航空写真



凡例

計画区域	Orange hatched
整備区域	Green hatched
保安林	Cyan hatched
対象外区域	Red hatched

計画概要図

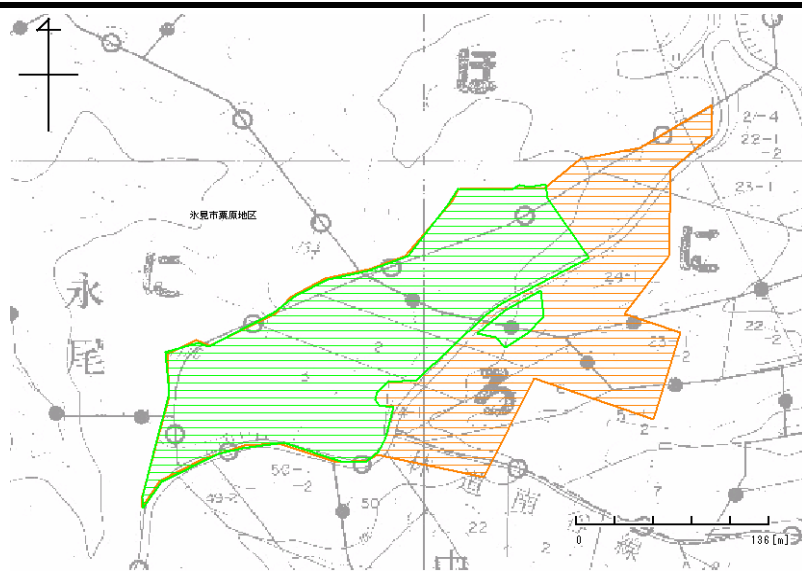


凡例

計画区域	Orange hatched
整備区域	Green hatched
保安林	Cyan hatched
対象外区域	Red hatched

# 平成19年度実施状況

平面図



凡例

計画区域	オレンジ
整備区域	緑
保安林	水色
対象外区域	赤

実施状況写真



整備後の状況



住民参加による森林整備の実施状況



整備後の状況



事業PR看板の設置

## 特記事項

(整備方針)

- ・シンボルツリーを残し、見通しが良く人の入り込みやすい明るい森づくりを目指し、整備することとする。

(事業実施内容)

- ・本事業をPRする看板を設置した。
- ・地域住民を中心に、県民協働による森づくりを実践した。



里山再生整備事業 地区別実施調書

No. 33 地区名 氷見市 小滝地区

全体計画

区域面積

区 分	人工林	天然林	その他 (竹林等)	合計
面 積	1.3ha	3.8ha		5.0ha

整備の目的

・荒山城址周辺の森林内には、ケヤキ等が生え、いくつかシンボルとなる木があるので、そこをポイントとして整備を行い、見通しが良く、人が入り込みやすい明るい森づくりを行いたい。また、歩道等を整備し、モミジを植栽し、散策や森林浴が楽しめる里山を目指す。

管理利用の計画

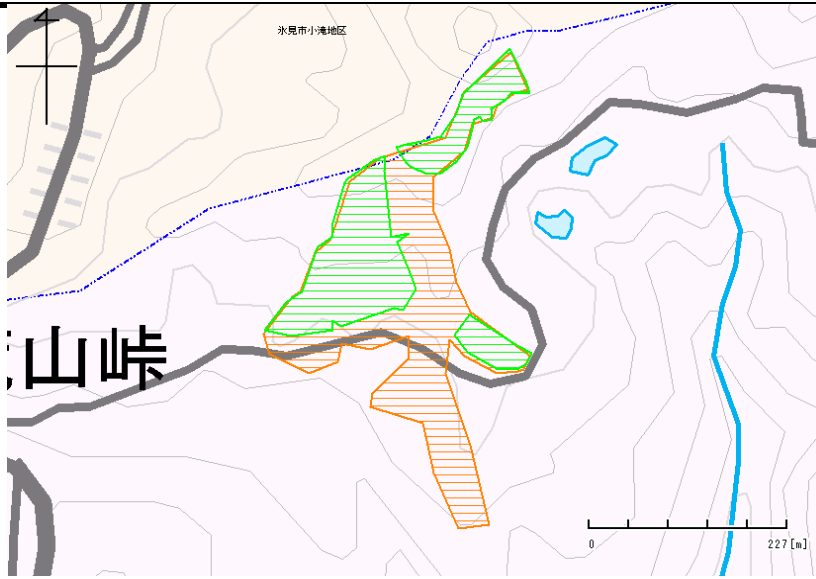
区 分	内 容
管 理	・里山整備の跡地は、地域住民が主体となって、林縁部の定期的な刈り払いを行う。 ・管理は整備の翌年から3年以上行う。
利 用	・歩道を整備し、散策や森林浴を楽しむ。

年度別事業計画

事業期間: 平成 19 年度 ~ 平成 21 年度

年 度		全体計画	H19 計画 実績	H20 計画 実績	H21 計画 実績	備 考
管理利用計画策定		5.0ha	5.0ha 5.0ha	<del>5.0ha</del>	<del>5.0ha</del>	
里 山 林 整 備	広葉樹林等整備	2.8ha	2.8ha			
	竹林整備					
	被害林等整備					
	その他					
	合計	2.8ha	2.8ha			
県民参加の森づくり		3年	1 6名	1	1	住民等の参加 実績
里山活用促進事業						

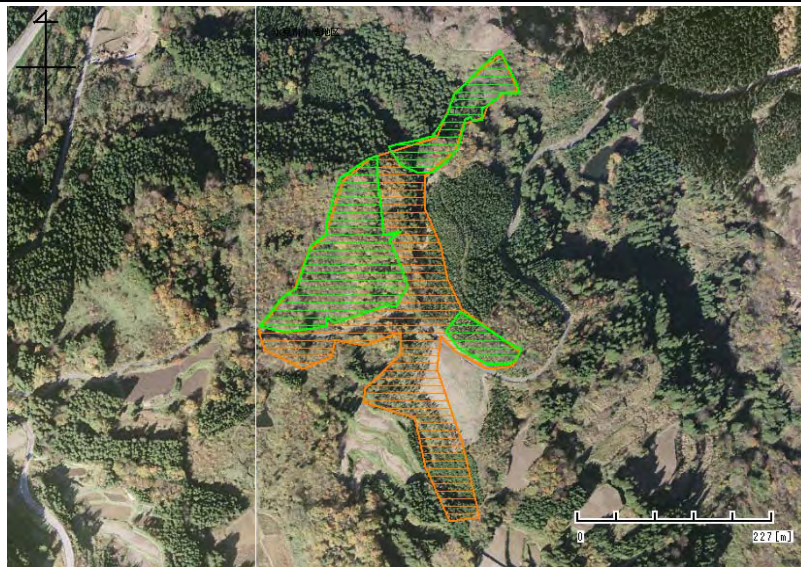
位置図



凡例

計画区域	オレンジ色
整備区域	緑色
保安林	水色
対象外区域	赤色

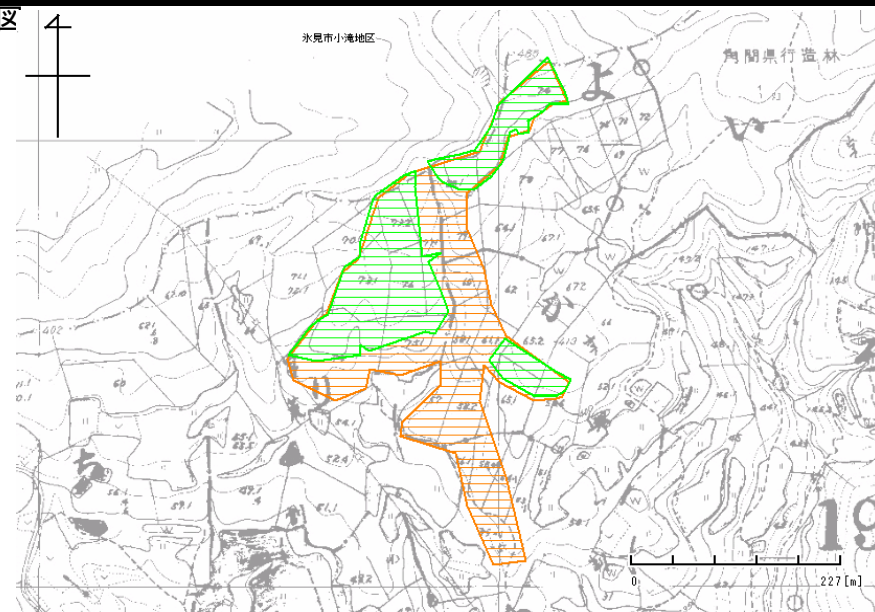
航空写真



凡例

計画区域	オレンジ色
整備区域	緑色
保安林	水色
対象外区域	赤色

計画概要図

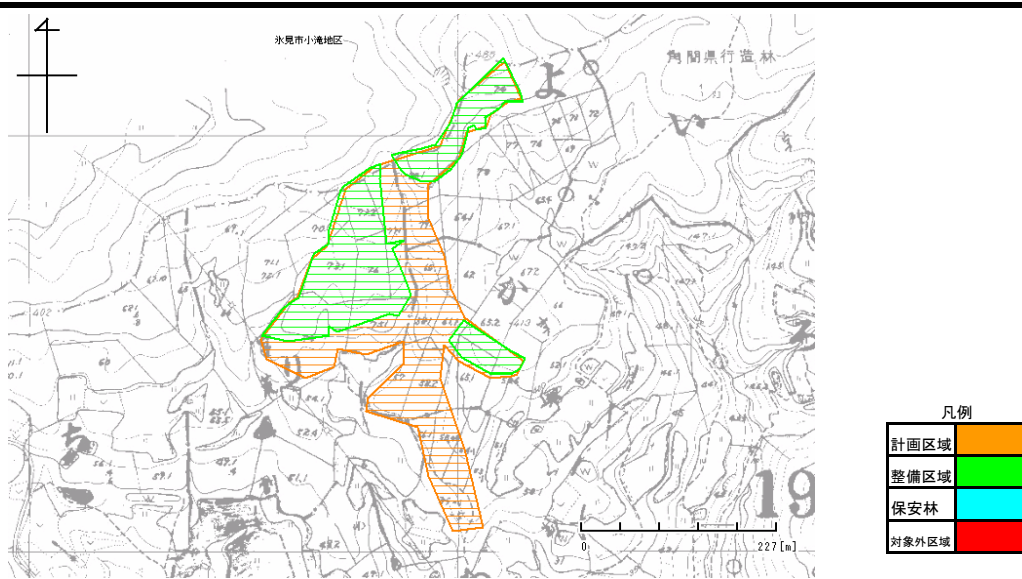


凡例

計画区域	オレンジ色
整備区域	緑色
保安林	水色
対象外区域	赤色

# 平成19年度実施状況

平面図



実施状況写真



整備後の状況



住民参加による森林整備の実施状況



住民参加による森林整備の実施状況



事業PR看板の設置

## 特記事項

### (整備方針)

- ・見通しが良く、人が入り込みやすい散策や森林浴が楽しめる森として整備することとする。

### (事業実施内容)

- ・本事業をPRする看板を設置した。
- ・地域住民を中心とした県民協働による森づくりを実践した。

## 里山再生整備事業 地区別実施調書

No. 34 地区名 小矢部市 藤森・杉谷内地区

### 全体計画

#### 区域面積

区 分	人工林	天然林	その他 (竹林等)	合計
面 積	0.1ha	5.6ha		5.7ha

#### 整備の目的

・手入れが行き届いていない里山林を整理し、跡地に広葉樹・花木を植えるなどして、美しい里山林を取り戻す。

#### 管理利用の計画

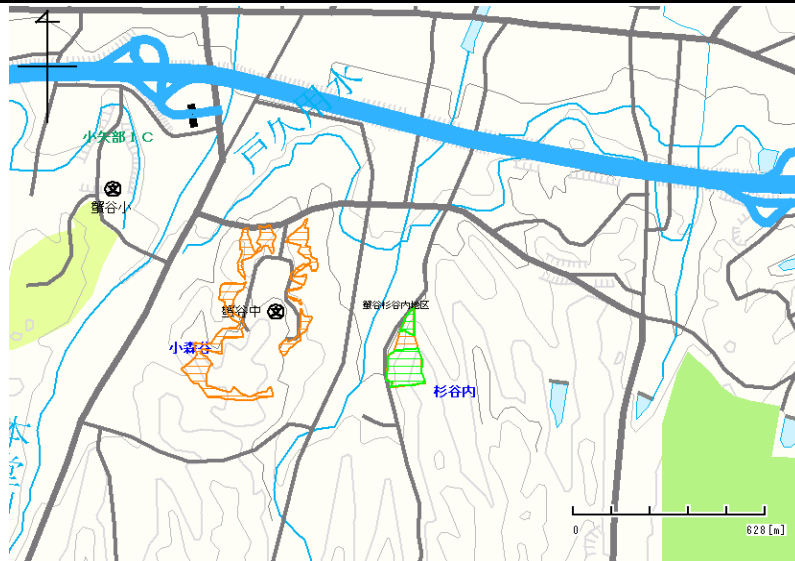
区 分	内 容
管 理	・里山整備の跡地は、蟹谷中学校生徒と地域住民が一体となって、広葉樹、花木を植栽し植栽木周辺の下刈り、作業歩道周辺の草刈りを行う。 ・管理は整備の翌年から3年以上行う。
利 用	・歩道を整備し、蟹谷中学校と連携して、花木の植栽や観察会など、総合学習の場として活用する。

#### 年度別事業計画

事業期間: 平成 19 年度 ~ 平成 21 年度

年 度		全体計画	H19 計画 実績	H20 計画 実績	H21 計画 実績	備 考
管理利用計画策定		5.6ha	5.6ha 5.6ha	<del>5.6ha</del>	<del>5.6ha</del>	
里 山 林 整 備	広葉樹林等整備	5.6ha	2.1ha	3.5ha		
	竹林整備					
	被害林等整備					
	そ の 他					
	合 計	5.6ha	2.1ha	3.5ha		
県民参加の森づくり		3年	1 8名	1	1	住民等の参加 実績
里山活用促進事業						

位置図



凡例

計画区域	オレンジ色
整備区域	緑色
保安林	水色
対象外区域	赤色

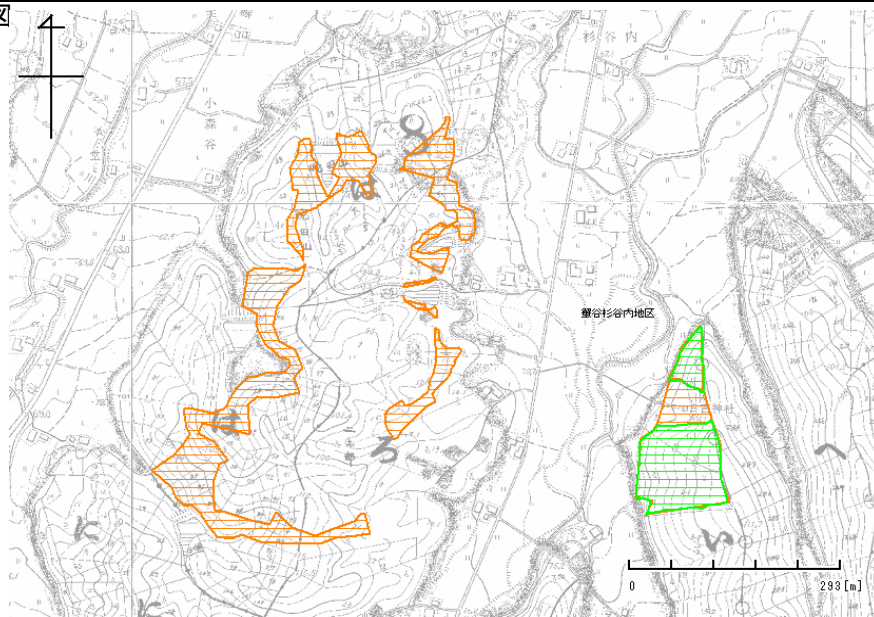
航空写真



凡例

計画区域	オレンジ色
整備区域	緑色
保安林	水色
対象外区域	赤色

計画概要図

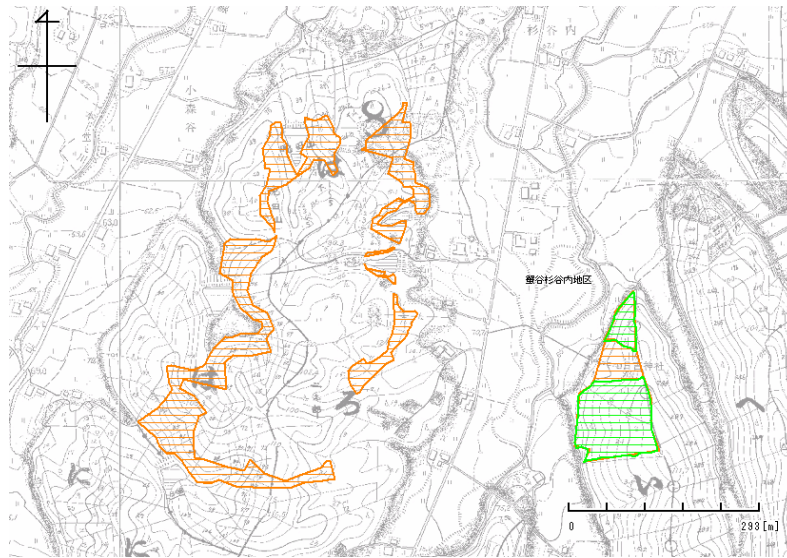


凡例

計画区域	オレンジ色
整備区域	緑色
保安林	水色
対象外区域	赤色

# 平成19年度実施状況

平面図



凡例	
計画区域	オレンジ
整備区域	緑
保安林	水色
対象外区域	赤

実施状況写真



整備後の状況



住民参加による森林整備の実施状況



整備後の状況



事業PR看板の設置

## 特記事項

(整備方針)

・手入れが行き届いていない里山林を除伐等により整理し、花木を植えるなどして、美しい里山林として整備することとする。

(事業実施内容)

- ・本事業をPRする看板を設置した。
- ・地域住民も参加し、県民協働による森づくりを実践した。

里山再生整備事業 地区別実施調書

No. 35 地区名 射水市 野手地区

全体計画

区域面積

区 分	人工林	天然林	その他 (竹林等)	合計
面 積	0.6ha	5.5ha		6.1ha

整備の目的

・都市近郊型の里山林として、子供から大人まで、体験活動が出来る森づくりを目指し、当市の森林活動の拠点となるよう整備を進める。

管理利用の計画

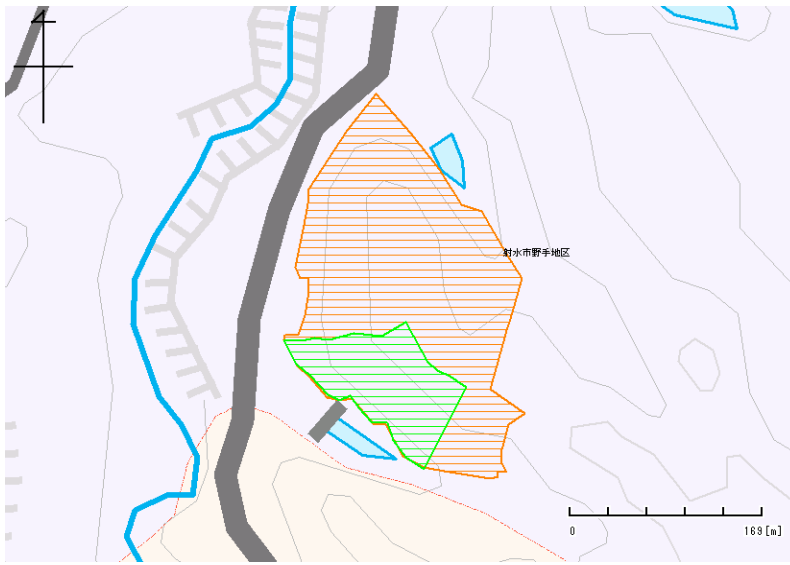
区 分	内 容
管 理	・里山整備の跡地は、地域住民及びボランティアが中心となって、刈り払いを行う。
利 用	・歩道を整備し、市内小学校と連携して、総合学習の場として活用する。

年度別事業計画

事業期間: 平成 19 年度 ~ 平成 21 年度

年 度		全体計画	H19 計画 実績	H20 計画 実績	H21 計画 実績	備 考
管理利用計画策定		6.1ha	6.1ha 6.1ha	<del>6.1ha</del>	<del>6.1ha</del>	
里 山 林 整 備	広葉樹林等整備	3.0ha	1.0ha	1.0ha	1.0ha	
	竹林整備					
	被害林等整備					
	その他					
合 計		3.0ha	1.0ha	1.0ha	1.0ha	
県民参加の森づくり		2年		1	1	住民等の参加 実績
里山活用促進事業						

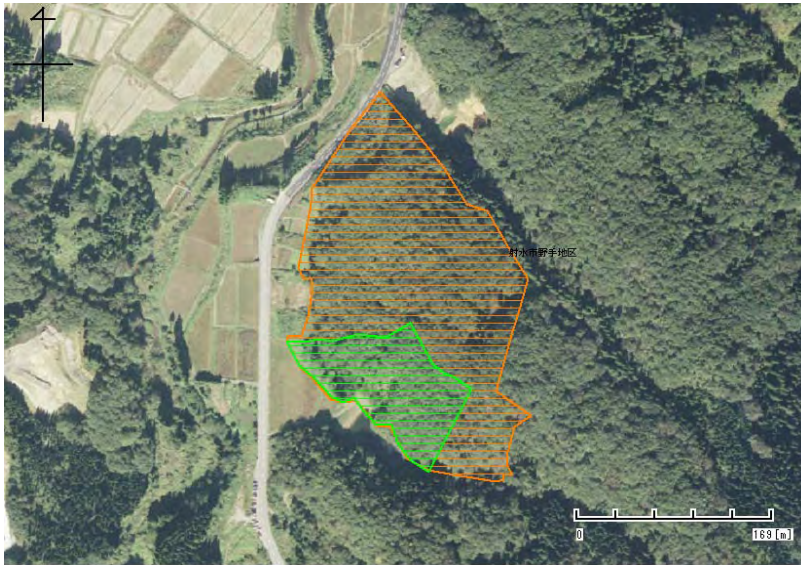
位置図



凡例

計画区域	（ハッチング）
整備区域	（緑）
保安林	（水色）
対象外区域	（赤）

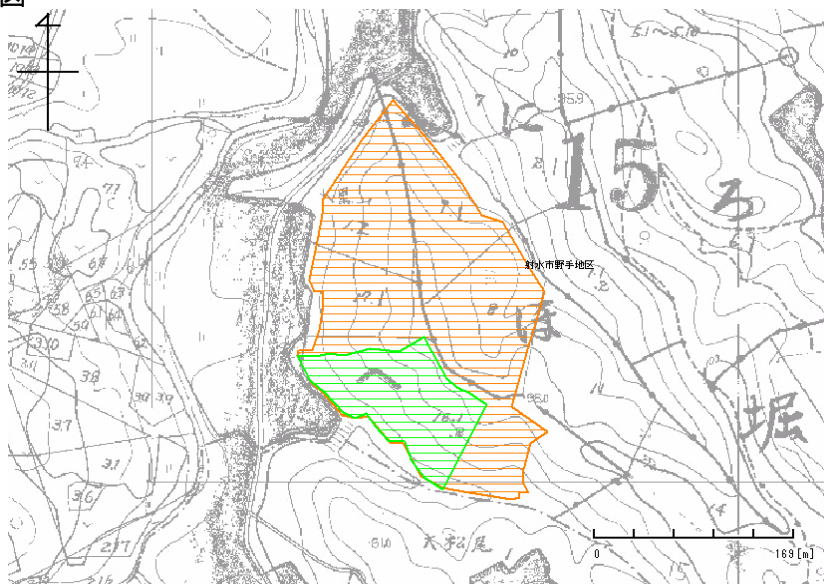
航空写真



凡例

計画区域	（ハッチング）
整備区域	（緑）
保安林	（水色）
対象外区域	（赤）

計画概要図



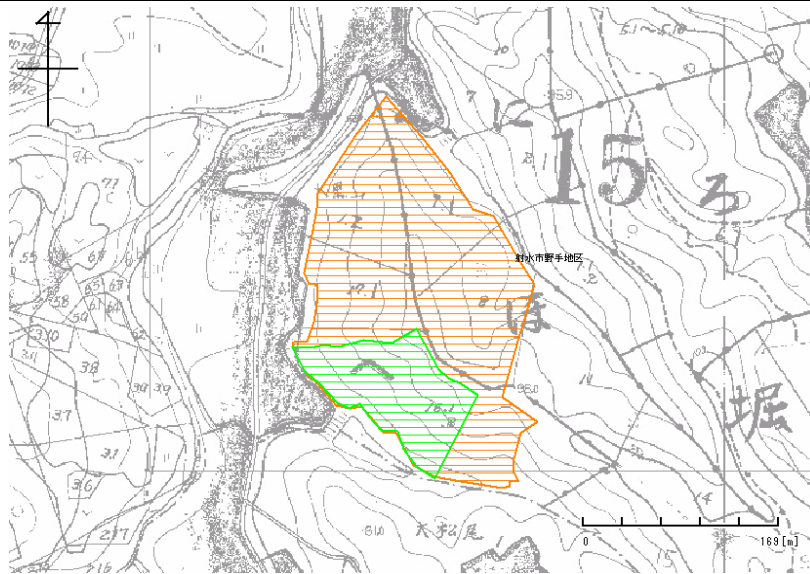
凡例

計画区域	（ハッチング）
整備区域	（緑）
保安林	（水色）
対象外区域	（赤）



# 平成19年度実施状況

平面図



凡例

計画区域	オレンジ色
整備区域	緑色
保安林	青色
対象外区域	赤色

実施状況写真



整備後の状況



整備後の状況



整備後の状況



事業PR看板の設置

**特記事項**

(整備方針)

- ・都市近郊型の里山林として、森林活動の拠点となるよう整備を進める。

(事業実施内容)

- ・本事業をPRする看板を設置した。

## 里山再生整備事業 地区別実施調書

No. 36 地区名 砺波市 寺尾地区

### 全体計画

#### 区域面積

区 分	人工林	天然林	その他 (竹林等)	合計
面 積	4.0ha	4.0ha	2.0	10.0ha

#### 整備の目的

・長年放置されている竹林や広葉樹林の整備を図り、見通しが良く人が入り込みやすい森づくりを行う。

#### 管理利用の計画

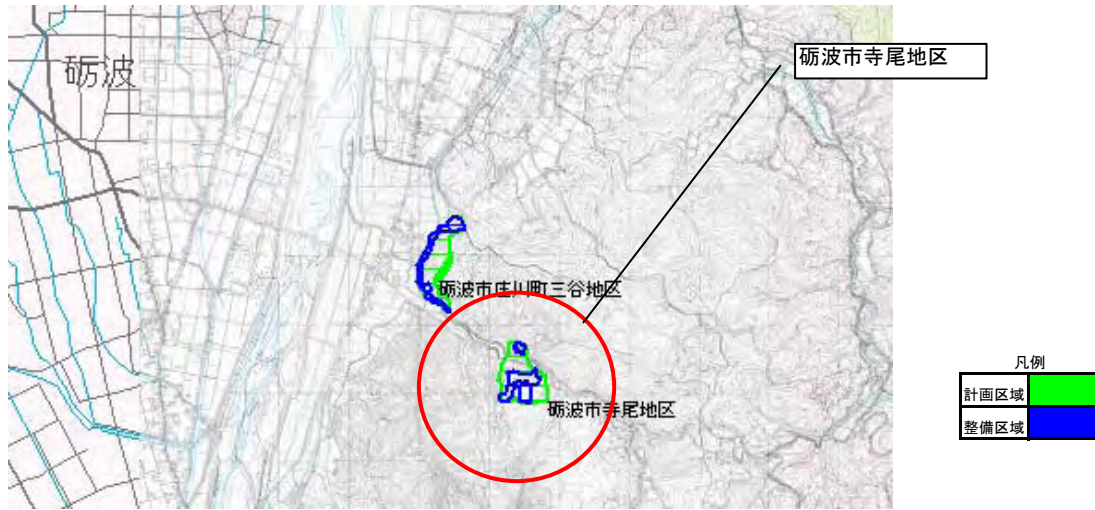
区 分	内 容
管 理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・竹林の伐採跡地については、地域住民主体による再発生した筍の除去を行い、広葉樹等の侵入を促す。</li> <li>・広葉樹林整備の跡地についても、地域住民主体により林縁部の定期的な刈り払いを行う。</li> <li>・管理は、整備の翌年から実施する。</li> </ul>
利 用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・森林浴が楽しめる場として活用する。</li> </ul>

#### 年度別事業計画

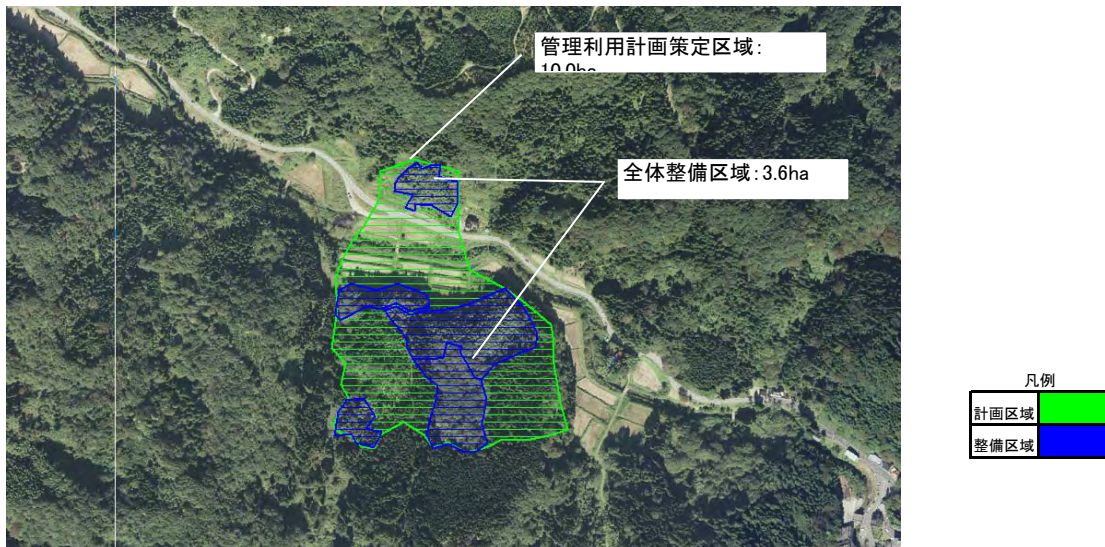
事業期間:平成 19 年度 ~ 平成 21 年度

年 度	全体計画	H19	H20	H21	備 考
		計画 実績	計画 実績	計画 実績	
管理利用計画策定	10.0ha	10.0ha 10.0ha	<del>10.0ha</del>	<del>10.0ha</del>	
里山 林 整 備	広葉樹林等 整 備	2.0ha 1.6ha			
	竹 林 整 備	2.0ha 2.0ha			
	被害林等整備				
	そ の 他				
	合 計	4.0ha	4.0ha 3.6ha		
県民参加の森づくり	2年		1	1	住民等の参加 実績
里山活用促進事業					

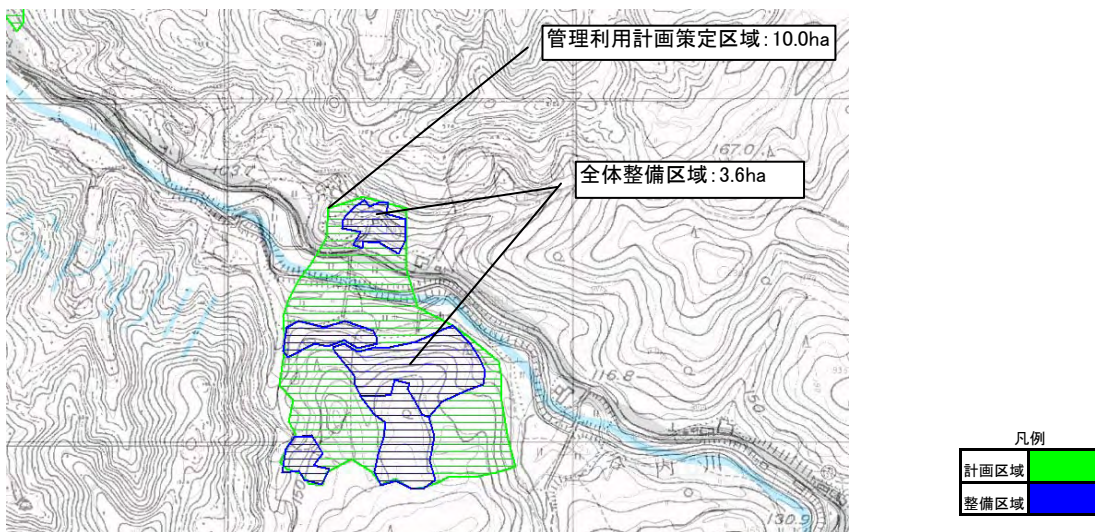
位置図



航空写真

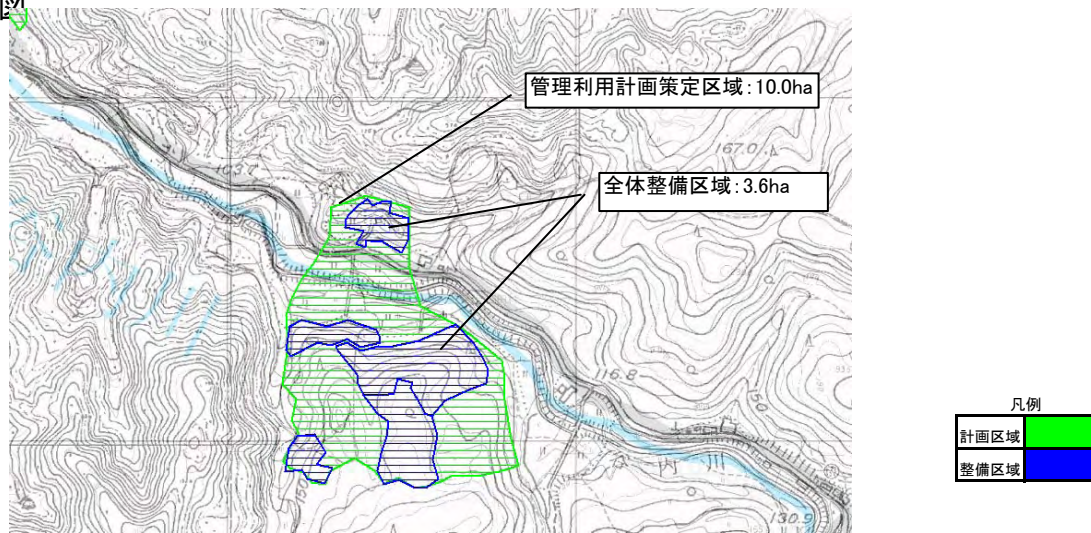


計画概要図



# 平成19年度実施状況

平面図



実施状況写真



整備後の状況(竹林)



整備後の状況(竹林)



整備後の状況(広葉樹林)



事業PR看板の設置

## 特記事項

### (整備方針)

- ・県道を挟んで分布している竹林については、見通しも悪く森林の各機能が十分に発揮されないため、除伐の実施により広葉樹の侵入を促す。
- ・斜面中腹から尾根部に分布している広葉樹林は、リョウブ、コナラ、カエデ類が密生していることから、見通しが悪く森林の各機能も低下しているため、除伐の実施により健全な森林の育成を図る。

### (事業実施内容)

- ・本地区は手入れが相当年数行われていない竹林と広葉樹林を除伐したことで明るい森林となった。

里山再生整備事業 地区別実施調書

No. 37 地区名 砺波市 三谷地区

全体計画

区域面積

区 分	人工林	天然林	その他 (竹林等)	合計
面 積	3.0ha	4.5ha	0.5	8.0ha

整備の目的

・長年放置されている竹林や広葉樹林の整備を図り、見通しが良く人が入りこみやすい森づくりを行う。

管理利用の計画

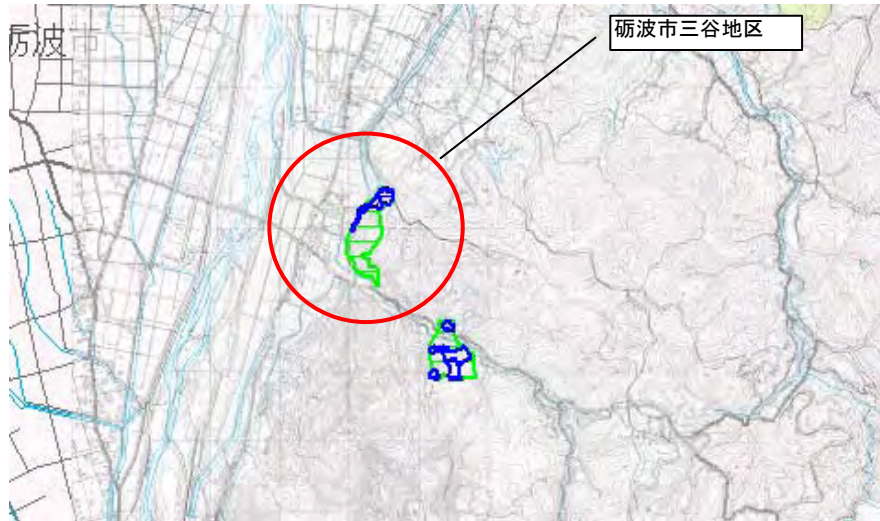
区 分	内 容
管 理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・竹林の伐採跡地については、地域住民主体による再発生した筍の除去を行い、広葉樹等の侵入を促す。</li> <li>・広葉樹林整備の跡地についても、地域住民主体により林縁部の定期的な刈り払いを行う。</li> <li>・管理は、整備の翌年から実施する。</li> </ul>
利 用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・森林浴が楽しめる場として活用する。</li> </ul>

年度別事業計画

事業期間:平成 19 年度 ~ 平成 21 年度

年 度	全体計画	H19	H20	H21	備 考
		計画 実績	計画 実績	計画 実績	
管理利用計画策定	7.5ha	7.5ha 8.0ha	<del>1.0ha</del>	<del>1.0ha</del>	
里山 林 整 備	広葉樹林等 整 備	2.0ha	1.0ha 0.7ha	1.0ha	
	竹 林 整 備	1.3ha	1.0ha 1.0ha	0.3ha	
	被害林等整備				
	そ の 他				
	合 計	3.3ha	2.0ha 1.7ha	1.3ha	
県民参加の森づくり	2年		1	1	住民等の参加 実績
里山活用促進事業					

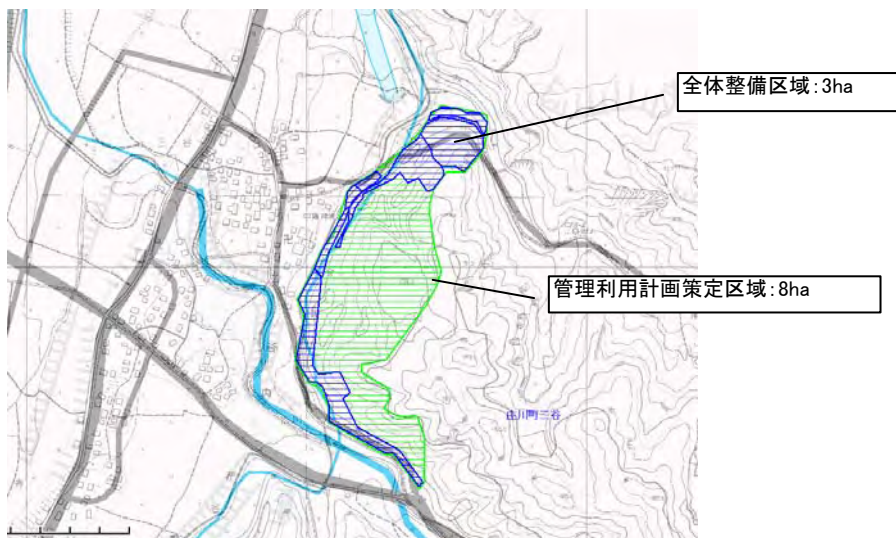
位置図



航空写真

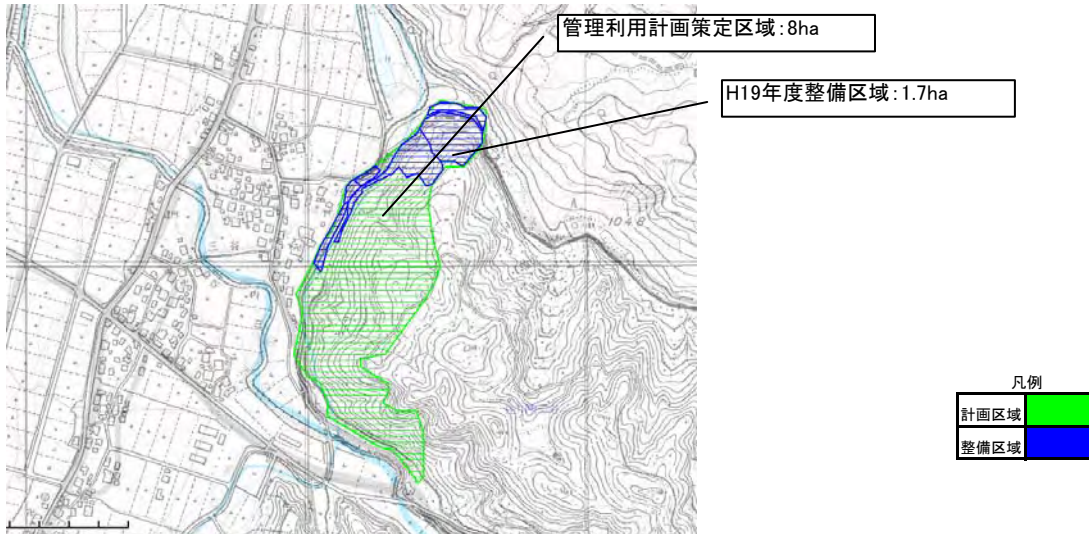


計画概要図



# 平成19年度実施状況

## 平面図



## 実施状況写真



整備後の状況



整備後の状況



整備後の状況



事業PR看板の設置

## 特記事項

### (整備方針)

- ・竹林については、ha当たり約8000本の密度で成立しており、見通しも悪く森林の各機能が十分に発揮されないため、除伐の実施により広葉樹の侵入を促す。
- ・斜面中腹から尾根部に分布している広葉樹林については、リョウブ、サワフタギなどが密生していることから、見通しが悪く森林の各機能も低下しているため、除伐の実施により健全な森林の育成を図る。

### (事業実施内容)

- ・本地区は手入れが相当年数行われていない竹林と広葉樹林を除伐したことで明るい森林となった。

里山再生整備事業 地区別実施調書

No. 38 地区名 南砺市 七村地区

全体計画

区域面積

区 分	人工林	天然林	その他 (竹林等)	合計
面 積	0.4ha	4.8ha	(3.6)	5.2ha

整備の目的

放置された荒廃竹林(モウソウ竹)を整備し、健全な森林育成を目指す。

管理利用の計画

区 分	内 容
管 理	・荒廃竹林の整備後は地域住民が主体となって再発生した筍の除去や中刈及び管理歩道の整備を行う。
利 用	・再生された竹林を継続的な維持管理をするため、モウソウ竹の管理技術の講習会や地元子供達に筍堀を体験させ里山林についての総合学習の場として活用する。

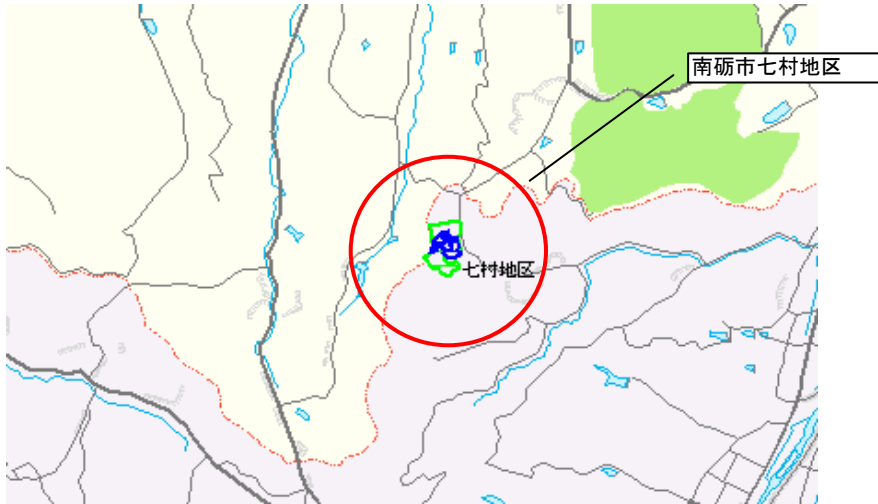
年度別事業計画

事業期間:平成 19 年度 ~ 平成 21 年度

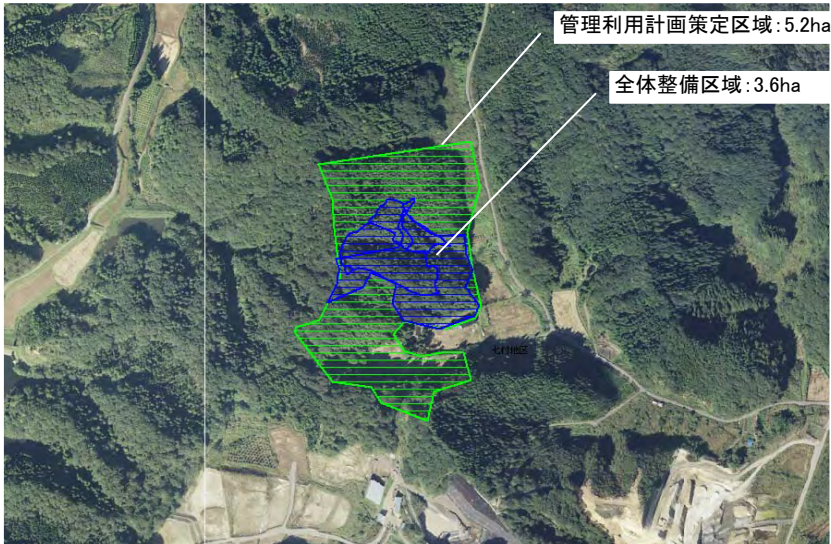
年 度		全体計画	H19 計画 実績	H20 計画 実績	H21 計画 実績	備 考
管理利用計画策定		5.2ha	5.2ha 5.2ha	<del>5.2ha</del>	<del>5.2ha</del>	
里 山 林 整 備	広葉樹林等整備					
	竹林整備	3.6ha	1.8ha 1.8ha	1.8ha		
	被害林等整備					
	そ の 他					
	合 計	3.6ha	1.8ha 1.8ha	1.8ha		
県民参加の森づくり		2年		1	1	住民等の参加実績
里山活用促進事業						



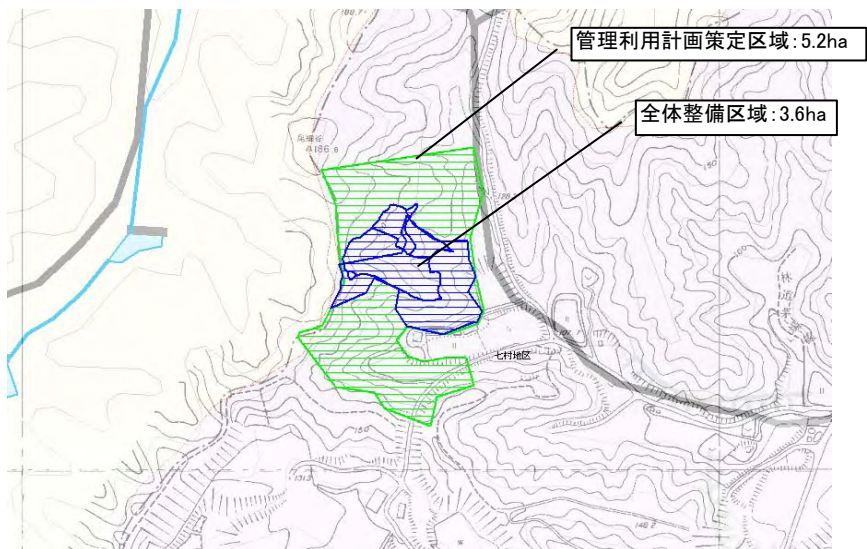
位置図



航空写真

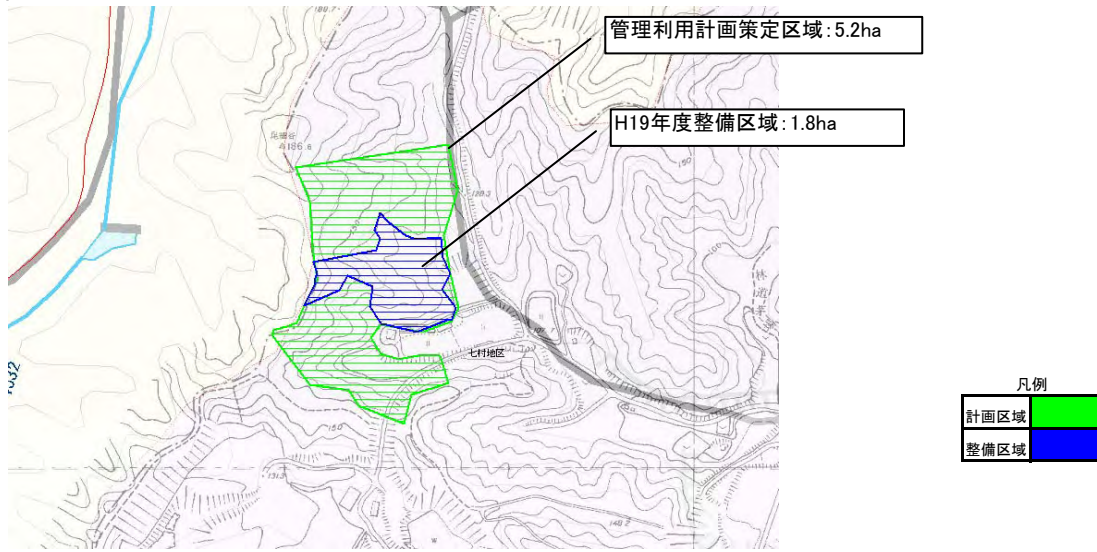


計画概要図



# 平成19年度実施状況

## 平面図



## 実施状況写真



整備後の状況



整備後の状況



整備後の状況



事業PR看板の設置

## 特記事項

(整備方針)

・竹密度を低下させ、明るい森林に整備する。

(事業実施内容)

・竹を40%除伐を行い、明るい森林へ整備した。

## 里山再生整備事業 地区別実施調書

No. 39 地区名 南砺市 能美地区

### 全体計画

#### 区域面積

区 分	人工林	天然林	その他 (竹林等)	合計
面 積	2.4ha	4.0ha	(1.0)	6.4ha

#### 整備の目的

・クマ出没による人身被害の危険回避等、野生生物との棲み分けを図るため、林内を明るくし、見通しのよい里山を目指すもの。

#### 管理利用の計画

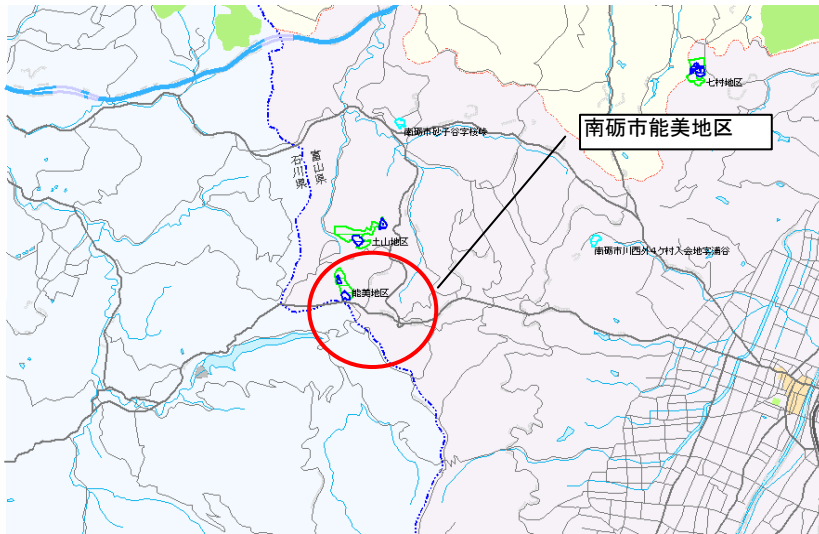
区 分	内 容
管 理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・荒廃竹林の整備後は地域住民が主体となって再発生した筍の除去や竹林、広葉樹林の中刈を実施する。</li> <li>・管理歩道の整備を行う。</li> </ul>
利 用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・再生された竹林を継続的な維持管理をするため、モウソウ竹の管理技術の講習会を実施し里山林について意識の高揚を図る。</li> </ul>

#### 年度別事業計画

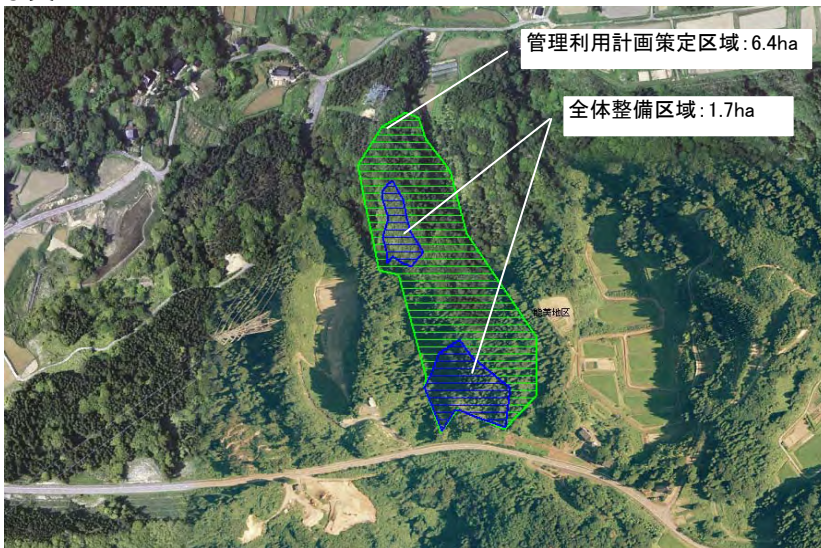
事業期間:平成 19 年度 ~ 平成 21 年度

年 度	全体計画	H19	H20	H21	備 考
		計画 実績	計画 実績	計画 実績	
管理利用計画策定	6.4ha	6.4ha	<del>6.4ha</del>	<del>6.4ha</del>	
里 山 林 整 備	広葉樹林等整備	0.7ha	0.7ha		
	竹林整備	1.0ha	1.0ha		
	被害林等整備				
	そ の 他				
	合 計	1.7ha	1.7ha		
県民参加の森づくり	3年	1 4人(全戸)	1	1	住民等の参加 実績
里山活用促進事業					

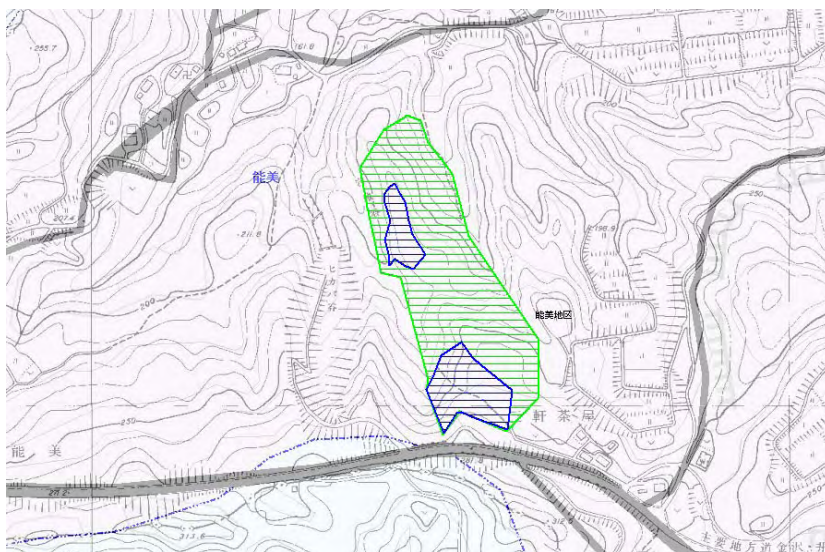
位置図



航空写真

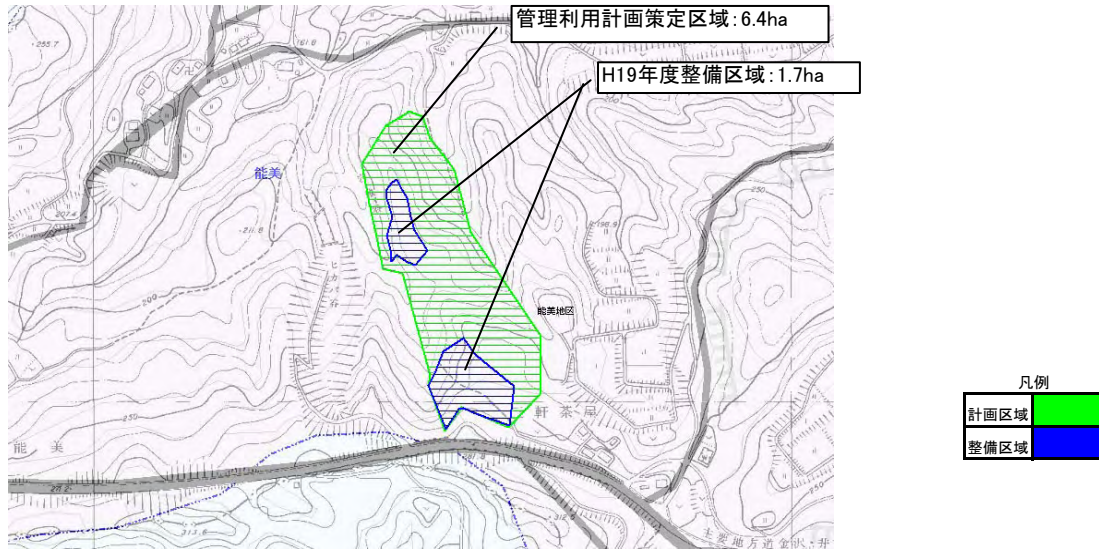


計画概要図



# 平成19年度実施状況

## 平面図



## 実施状況写真



整備後の状況



整備後の状況



整備後の状況



事業PR看板の設置

## 特記事項

### (整備方針)

- ・広葉樹林については、コナラが優先種となっているが密度が高い上森林病虫害被害が著しいため、除伐の実施により健全な森林の育成を図る。
- ・竹林については、ほぼ竹の一斉林となっているエリア、また、スギ人工林を被圧しており各機能が十分に発揮されないため、除伐の実施により健全な森林の育成を図る。

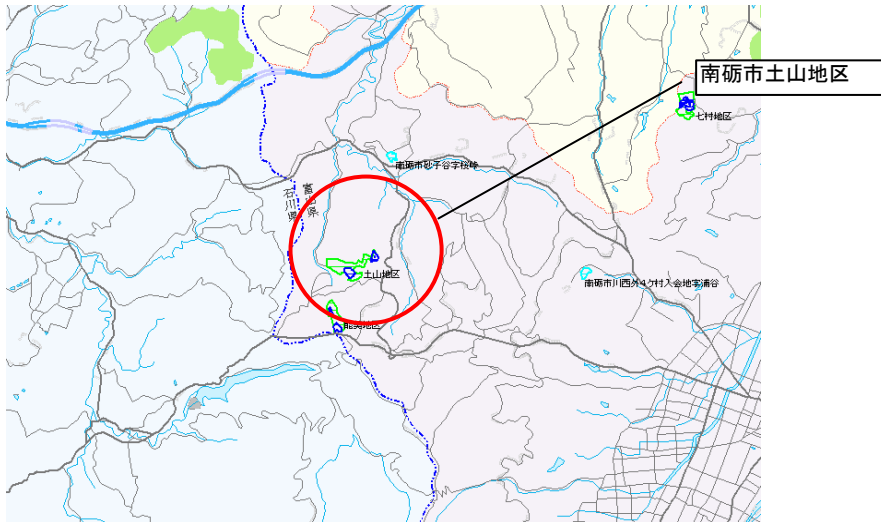
### (事業実施内容)

- ・竹林の駆逐エリアと除伐エリアで整備を実施。広葉樹林は病虫害被害木や過密林分を除伐したことで明るい森林となった。
- ・県民参加の森づくりとして、刈払いや枝打ち作業を実施した。

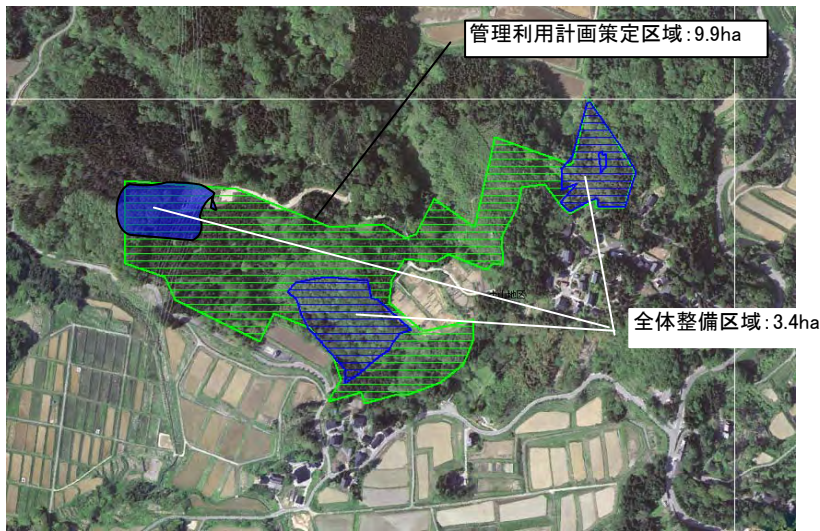
里山再生整備事業 地区別実施調書

No. 40	地区名 南砺市 土山地区				
全体計画					
区域面積					
区 分	人工林 天然林 その他(竹林等) 合計				
面 積	2.9ha 7.0ha (2.0) 9.9ha				
整備の目的					
<p>・放置された荒廃竹林(モウソウ竹)を整備し、見通しのよい森づくりを目指す。現存する有用広葉樹を育成し、多様な樹種構成の森づくりを目指す。</p>					
管理利用の計画					
区 分	内 容				
管 理	<ul style="list-style-type: none"> <li>・荒廃竹林の整備後は地域住民が主体となって再発生した筍の除去や中刈を実施する。</li> <li>・管理歩道の整備を行う。</li> </ul>				
利 用	<ul style="list-style-type: none"> <li>・再生された竹林を継続的に維持管理をするため、モウソウ竹の管理技術の講習会や地元子供達に筍堀を体験させ里山林についての総合学習の場として活用。また、地元にある炭焼き施設で竹炭焼き体験を開催し里山林について意識の高揚を図る。</li> </ul>				
年度別事業計画					
事業期間:平成 19 年度 ~ 平成 21 年度					
年 度	全体計画	H19 計画 実績	H20 計画 実績	H21 計画 実績	備 考
管理利用計画策定	10.0ha	10.0ha 9.9ha			
里山整備	広葉樹林等整備	1.4ha 1.4ha			
	竹林整備	2.0ha 1.0ha	1.0ha		
	被害林等整備				
	そ の 他				
	合 計	3.4ha	2.4ha 2.4ha	1.0ha	
県民参加の森づくり	3年	1 10人	1	1	住民等の参加実績
里山活用促進事業					

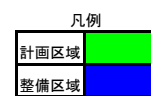
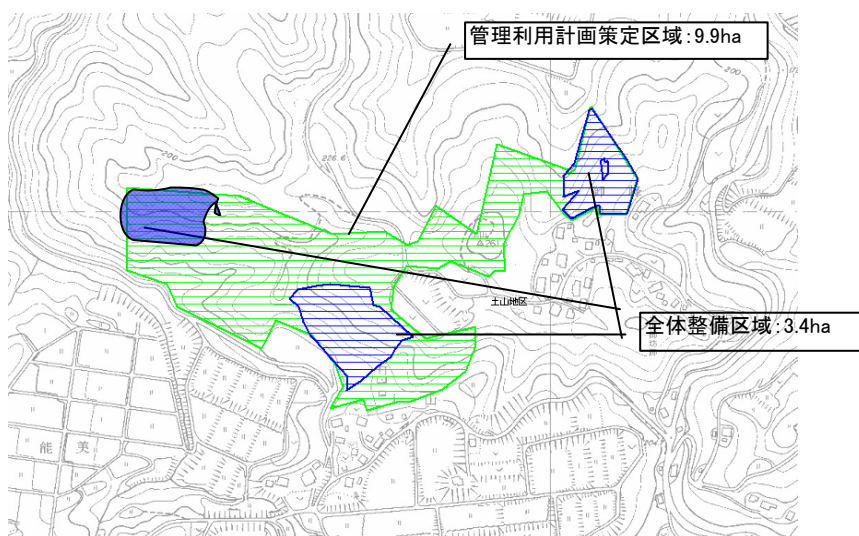
位置図



航空写真

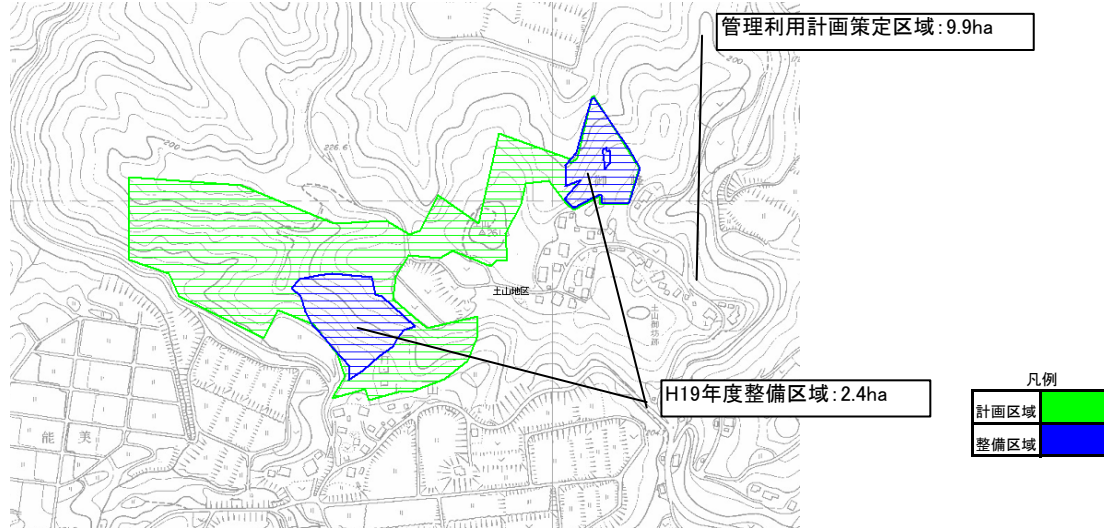


計画概要図



# 平成19年度実施状況

## 平面図



## 実施状況写真



整備後の状況



整備後の状況



住民参加による森林整備の実施状況



作業が終わって皆で記念撮影のひとコマ

## 特記事項

### (整備方針)

・広葉樹林については、コナラが優先種となっているが密度が高いため、除伐の実施により健全な森林の育成を図る。

・竹林については、ほぼ竹の一斉林となっているエリア、また、スギ人工林を被圧しており各機能が十分に発揮されないため、除伐の実施により健全な森林の育成を図る。

### (事業実施内容)

・竹林の駆逐エリアと除伐エリアで整備を実施。広葉樹林は病虫害被害木や過密林分を除伐したことで明るい森林となった。

・県民参加の森づくりとして、森林組合の協力のもとスギ人工林林縁部の除伐などを実施した。



里山再生整備事業 地区別実施調書

No. 41 地区名 南砺市 小院瀬見地区

全体計画

区域面積

区 分	人工林	天然林	その他 (竹林等)	合計
面 積	1.5ha	5.0ha	(0.1)	6.5ha

整備の目的

これまでも熊の出没情報が多い地域で、集落背後に広がる森林も手入れがされておらず、野生動物が潜みやすい環境なため、住民にとって不安なエリアとなっている。そこで、野生生物との棲み分けができるような見通しのよい明るい森づくりを目的とする。

管理利用の計画

区 分	内 容
管 理	・広葉樹林の整備後は林内の下刈等を定期的実施するとともに、竹林の整備後は地域住民が主体となって竹の除去を行う。
利 用	・伐採した木については、薪の材料として地域やボランティアの交流イベントなどで活用する。

年度別事業計画

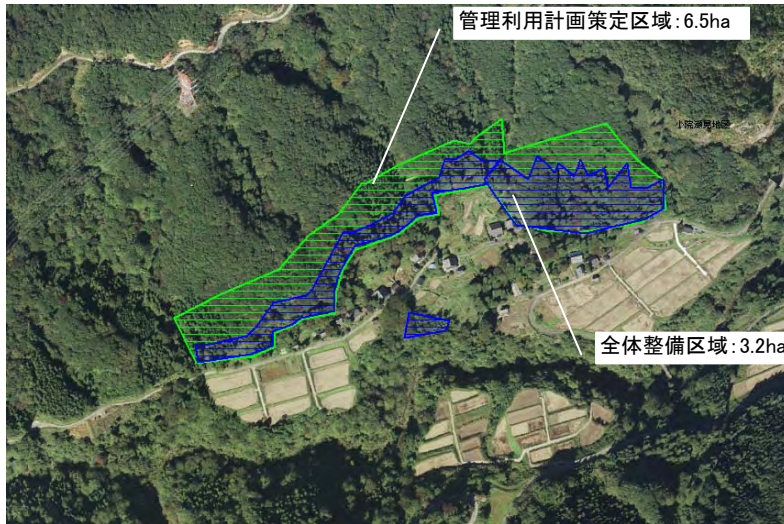
事業期間:平成 19 年度 ~ 平成 21 年度

年 度	全体計画	H19	H20	H21	備 考
		計画 実績	計画 実績	計画 実績	
管理利用計画策定	6.5ha	6.5ha	<del>6.5ha</del>	<del>6.5ha</del>	
里山 林 整 備	広葉樹林等整備	5.0ha	1.5ha 1.5ha	1.6ha	
	竹林整備	0.1ha	0.1ha 0.1ha		
	被害林等整備				
	そ の 他				
	合 計	5.1ha	1.6ha 1.6ha	1.6ha	
県民参加の森づくり	2年		1	1	住民等の参加実績
里山活用促進事業					

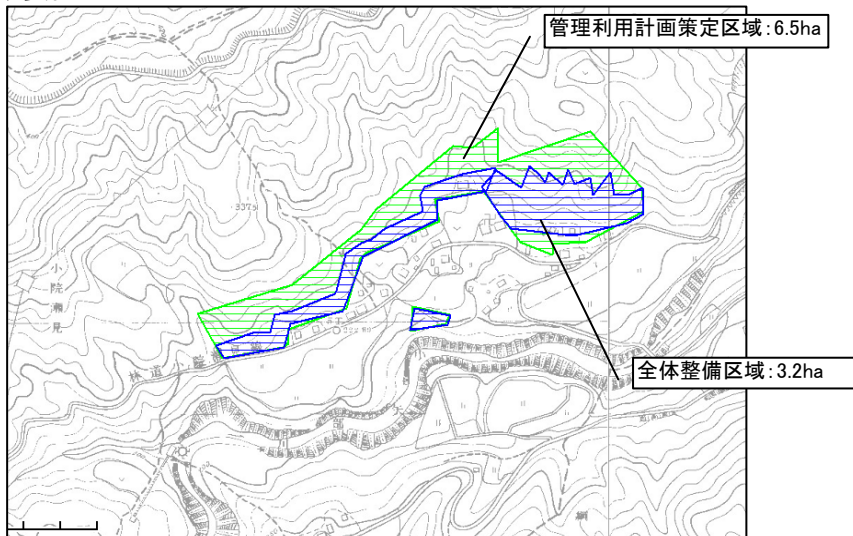
位置図



航空写真

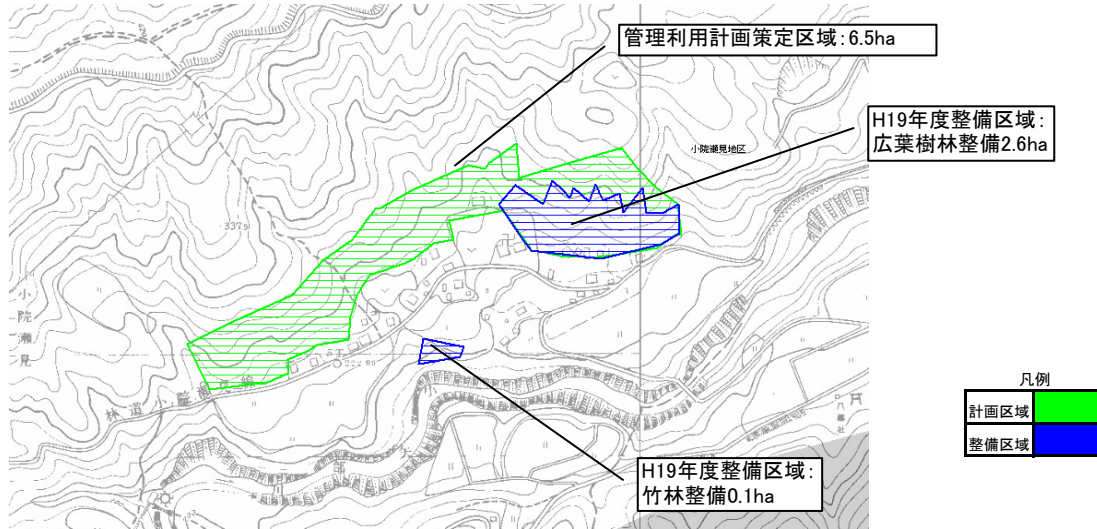


計画概要図



# 平成19年度実施状況

## 平面図



## 実施状況写真



事業PR看板



整備後の状況



整備後の状況



整備後の状況

## 特記事項

(整備の方針)

- ・集落背後に分布する広葉樹林は、手入れがされなくなって50年以上経過し人も入れない状態で中低木が繁茂していることから、中低木を主体に40%の除伐を実施し明るい森とする。
- ・熊などの野生動物が潜んでいる竹林はha当たり8000本の密度まで密生していたが、80%以上を伐採することにより、明るい竹林とする。

(事業の実績)

- ・これまで、地区周辺で熊の出没情報が出るたびに集落背後の森林に住民の方々が不安を抱いていた。今回の整備により、森林の見通しが良く明るくなったことで安心感が持てるようになったと住民から喜ばれている。

里山再生整備事業 地区別実施調書

No. 42 地区名 南砺市 塔尾地区

全体計画

区域面積

区 分	人工林	天然林	その他 (竹林等)	合計
面 積	2.1ha	4.0ha	(1.5)	6.1ha

整備の目的

- ・放置された荒廃竹林(モウソウ竹)を整備し、見通しのよい森づくりを目指す。
- ・現存する中低木層を育成し、広葉樹の森づくりを目指す。

管理利用の計画

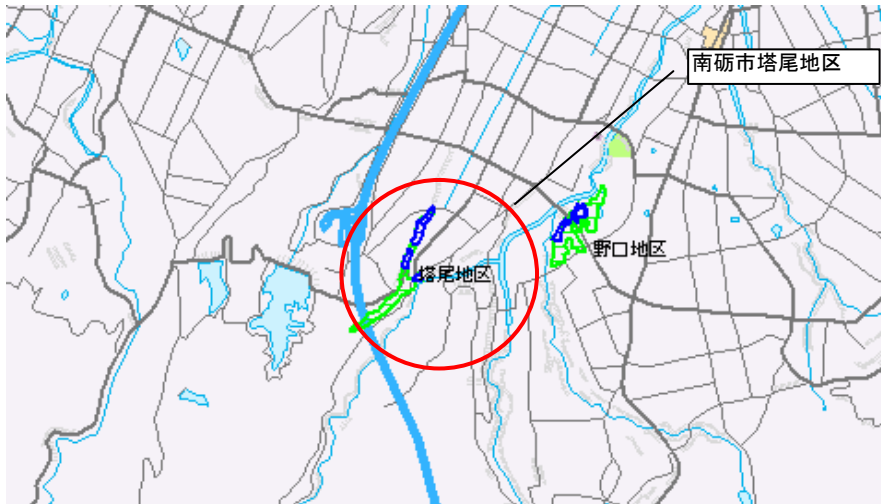
区 分	内 容
管 理	・荒廃竹林の整備後は地域住民が主体となって再発生した筍の除去や竹林、広葉樹林の下層木の刈払いを実施する。
利 用	・再生された竹林を継続的な維持管理をするため、モウソウ竹の管理技術の講習会を実施し里山林について意識の高揚を図る。

年度別事業計画

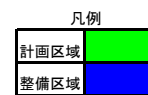
事業期間:平成 19 年度 ~ 平成 21 年度

年 度	全体計画	H19	H20	H21	備 考
		計画 実績	計画 実績	計画 実績	
管理利用計画策定	6.1ha	6.1ha			
里 山 林 整 備	広葉樹林等整備	0.5ha			
	竹林整備	1.5ha			
	被害林等整備				
	そ の 他				
	合 計	2.0ha	2.0ha		
県民参加の森づくり	2年		1	1	住民等の参加実績
里山活用促進事業					

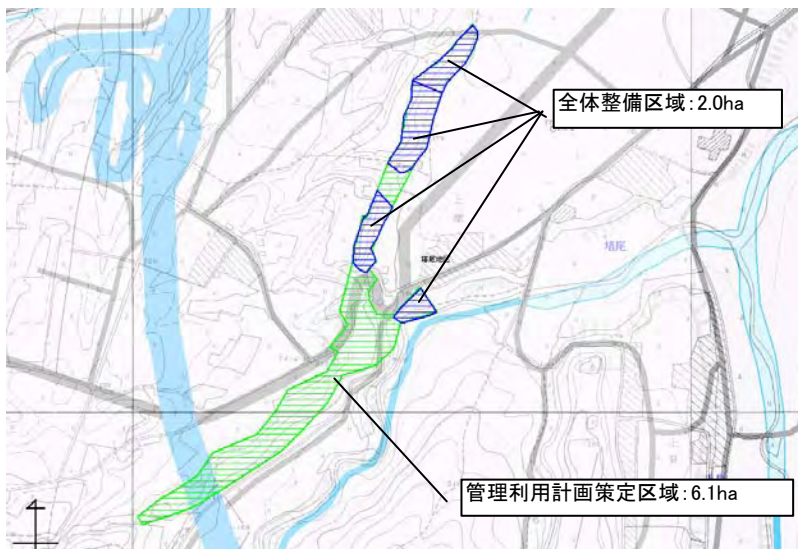
位置図



航空写真

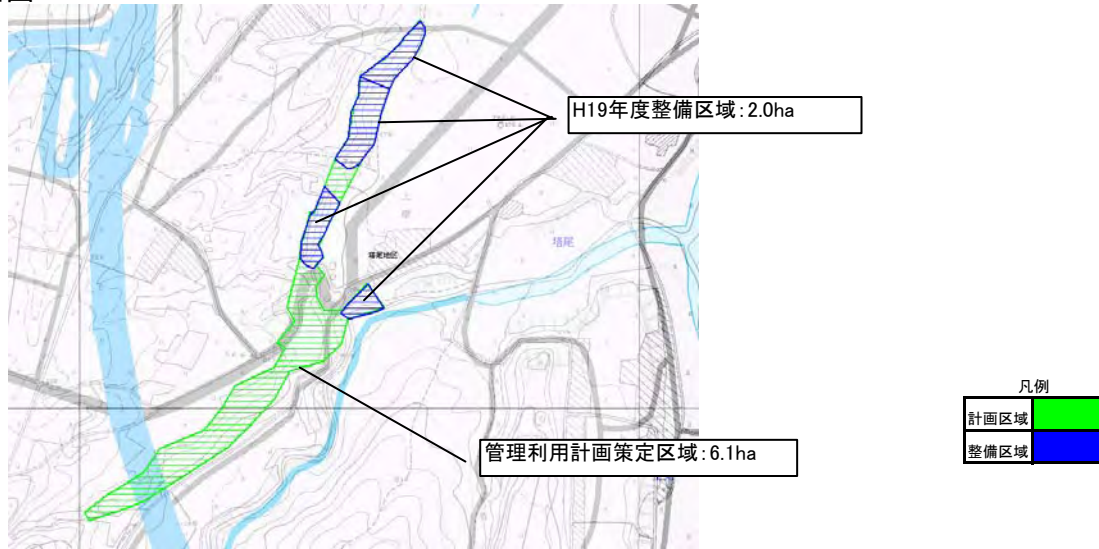


計画概要図



# 平成19年度実施状況

## 平面図



## 実施状況写真



整備後の状況



整備後の状況



整備後の状況



事業PR看板の設置

## 特記事項

### (整備方針)

- ・広葉樹林については、コナラが優先種で中低木層にはリョウブ、アオキ、ツツジ類などの密度が高くなっているため、中低木層を主体に除伐を実施し健全な森林の育成を図る。
- ・竹林については、一斉林となっているエリアは除伐の実施により広葉樹の侵入を促し健全な森林の育成を図る。スギ人工林を被圧しているエリアは除伐の実施により見通しのよい明るい森林づくりを行う。

### (事業実施内容)

- ・広葉樹林は中低木層の除伐を実施した。
- ・竹林は駆逐するエリアと竹林として維持するエリアを分けて実施した。

## 里山再生整備事業 地区別実施調書

No. 43 地区名 南砺市 野口地区

### 全体計画

#### 区域面積

区 分	人工林	天然林	その他 (竹林等)	合計
面 積	6.2ha	0.7ha	(0.6)	6.9ha

#### 整備の目的

・スギ林に拡大しているモウソウ竹を整備し、見通しのよい森づくりを目指す。  
 ・単一的な高木層だけでなく、現存する中低木層も除伐し、見通しのよい森づくりを目指す。

#### 管理利用の計画

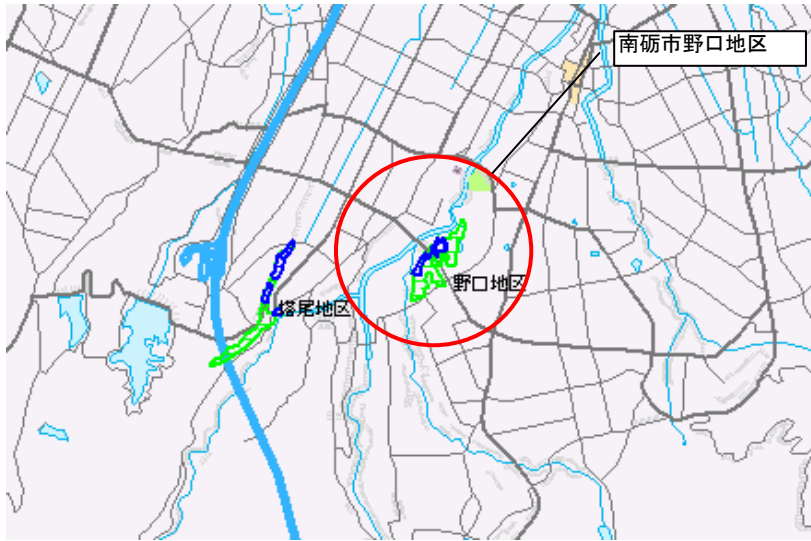
区 分	内 容
管 理	・進入竹林の整備後は地域住民が主体となって再発生した筍の除去や林内の下草刈を行う。
利 用	・ボランティアや地域住民により、林内の草刈やスギの枝打等交流イベントなどで活用する。

#### 年度別事業計画

事業期間:平成 19 年度 ~ 平成 21 年度

年 度	全体計画	H19	H20	H21	備 考
		計画 実績	計画 実績	計画 実績	
管理利用計画策定	6.9ha	6.9ha	<del>6.9ha</del>	<del>6.9ha</del>	
里山 林 整 備	広葉樹林等整備	0.8ha	0.8ha		
	竹林整備	0.6ha	0.6ha		
	被害林等整備				
	そ の 他				
	合 計	1.4ha	1.4ha		
県民参加の森づくり	3年	1 14人	1	1	住民等の参加実績
里山活用促進事業					

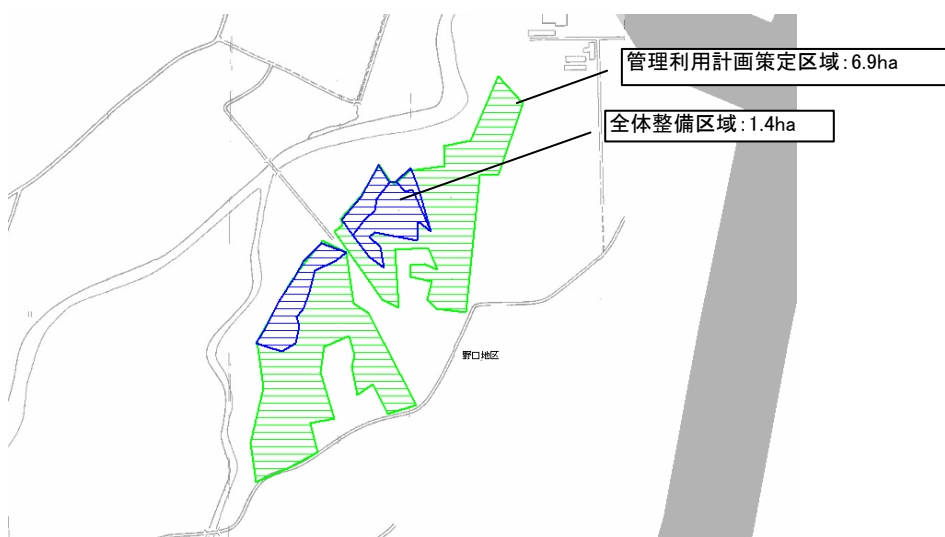
位置図



航空写真



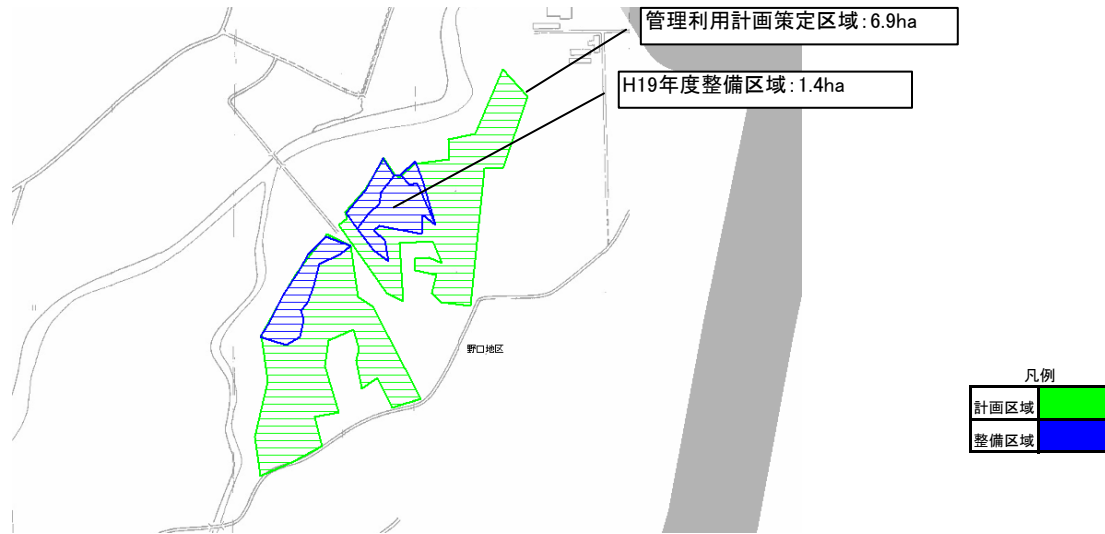
計画概要図





# 平成19年度実施状況

## 平面図



## 実施状況写真



整備後の状況



整備後の状況



住民参加による森林整備の実施状況



事業PR看板の設置

## 特記事項

### (整備方針)

- ・広葉樹林については、中低木層にリョウブ、アオキ、ツツジ類などの密度が高くなっているため、中低木層を主体に除伐を実施し健全な森林の育成を図る。
- ・竹林については、駆逐により見通しのよい明るい森林の育成を図る。

### (事業実施内容)

- ・広葉樹林は中低木層の除伐を実施した。
- ・竹林は駆逐により見通しのよい明るい森林となった。
- ・住民により、スギ人工林内の下刈を実施し、見通しを確保した。

里山再生整備事業 地区別実施調書

No. 44 地区名 南砺市 上百瀬地区

全体計画

区域面積

区 分	人工林	天然林	その他 (竹林等)	合計
面 積	1.0ha	8.0ha		9.0ha

整備の目的

・放置された広葉樹林を整理し、見通しのよい森づくりを実施する。キャンプ場、イベント施設が森林に隣接するので、利用者に安心して施設利用、森林散策のできる野生生物と棲み分けをした里山づくりを進める。

管理利用の計画

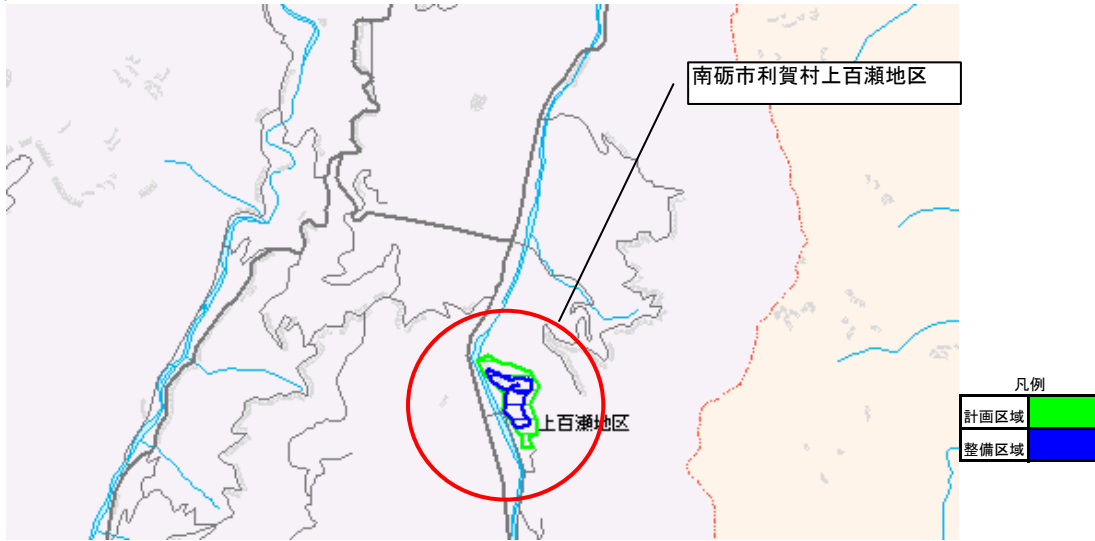
区 分	内 容
管 理	・整備後は、住民が主体となって定期的な刈払い、歩道管理を行う。 ・管理は整備の翌年から2年以上行う。
利 用	・キャンプ利用者に森林体験の提供など自然とふれあえる森づくりを目指す。

年度別事業計画

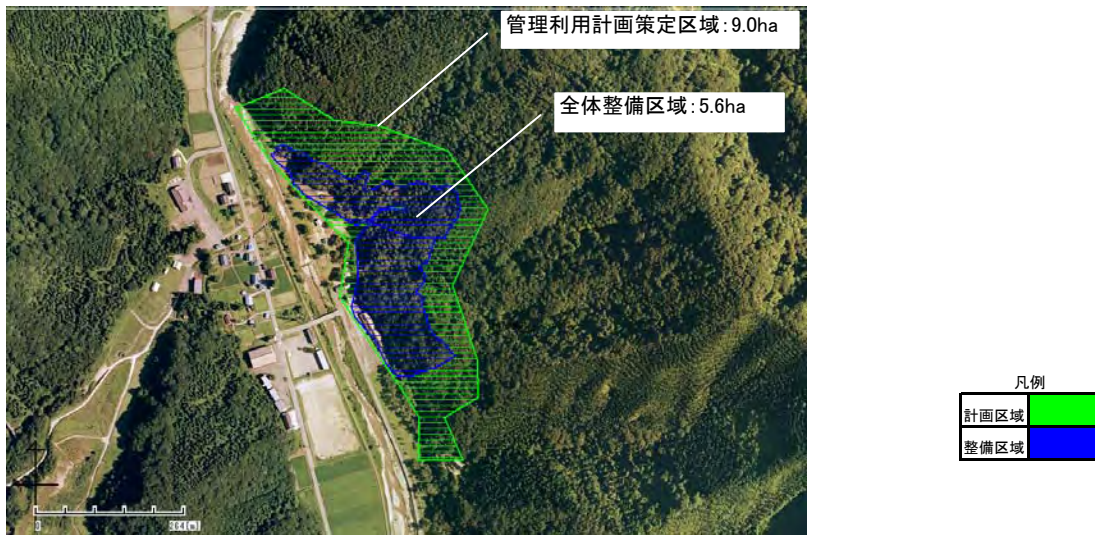
事業期間:平成 19 年度 ~ 平成 21 年度

年 度	全体計画	H19	H20	H21	備 考
		計画 実績	計画 実績	計画 実績	
管理利用計画策定	9.0ha	9.0ha	<del>9.0ha</del>	<del>9.0ha</del>	
里 山 林 整 備	広葉樹林等 整備	6.1ha	3.0ha 2.5ha	3.1ha	
	竹林整備				
	被害林等整備				
	そ の 他				
	合 計	6.1ha	3.0ha 2.5ha	3.1ha	
県民参加の森づくり	2年		1	1	住民等の参加 実績
里山活用促進事業					

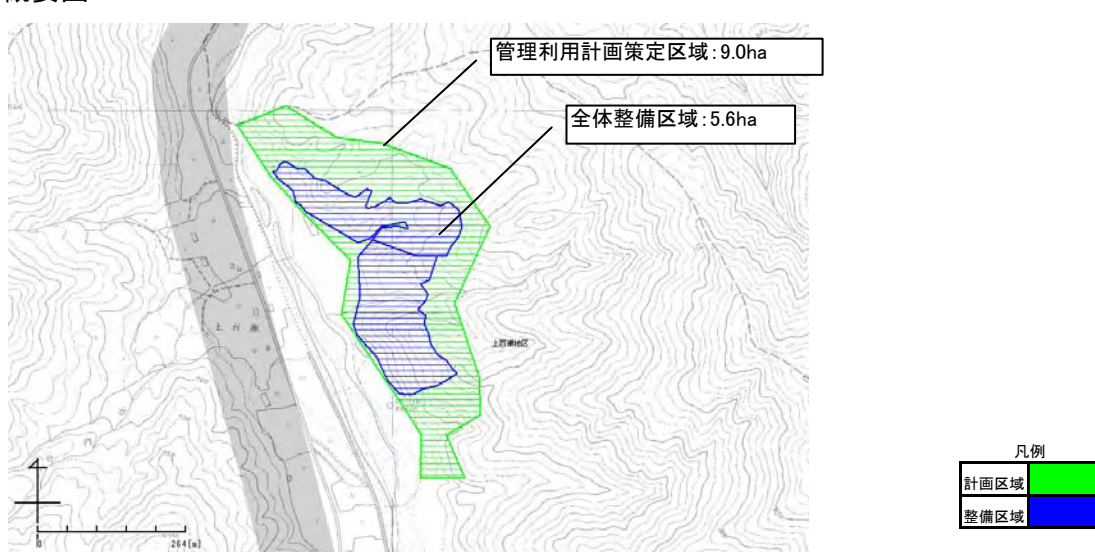
位置図



航空写真

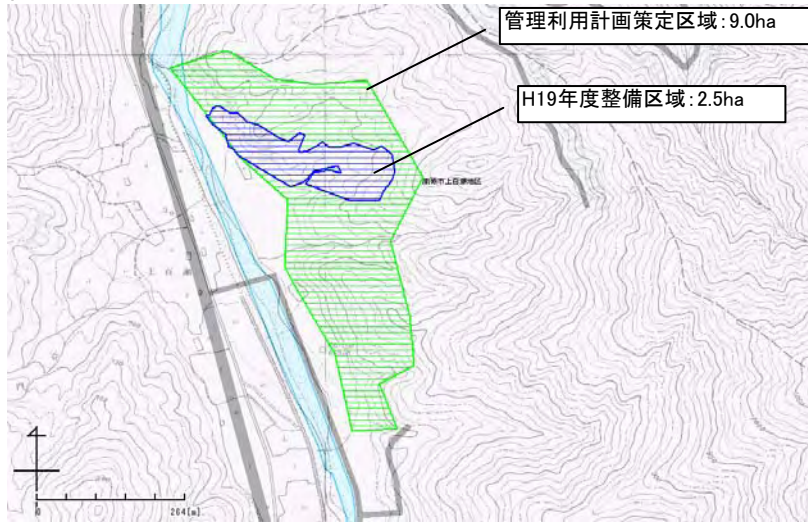


計画概要図



# 平成19年度実施状況

## 平面図



凡例

計画区域	■
整備区域	■

## 実施状況写真



整備後の状況



整備後の状況



整備後の状況



事業PR看板の設置

## 特記事項